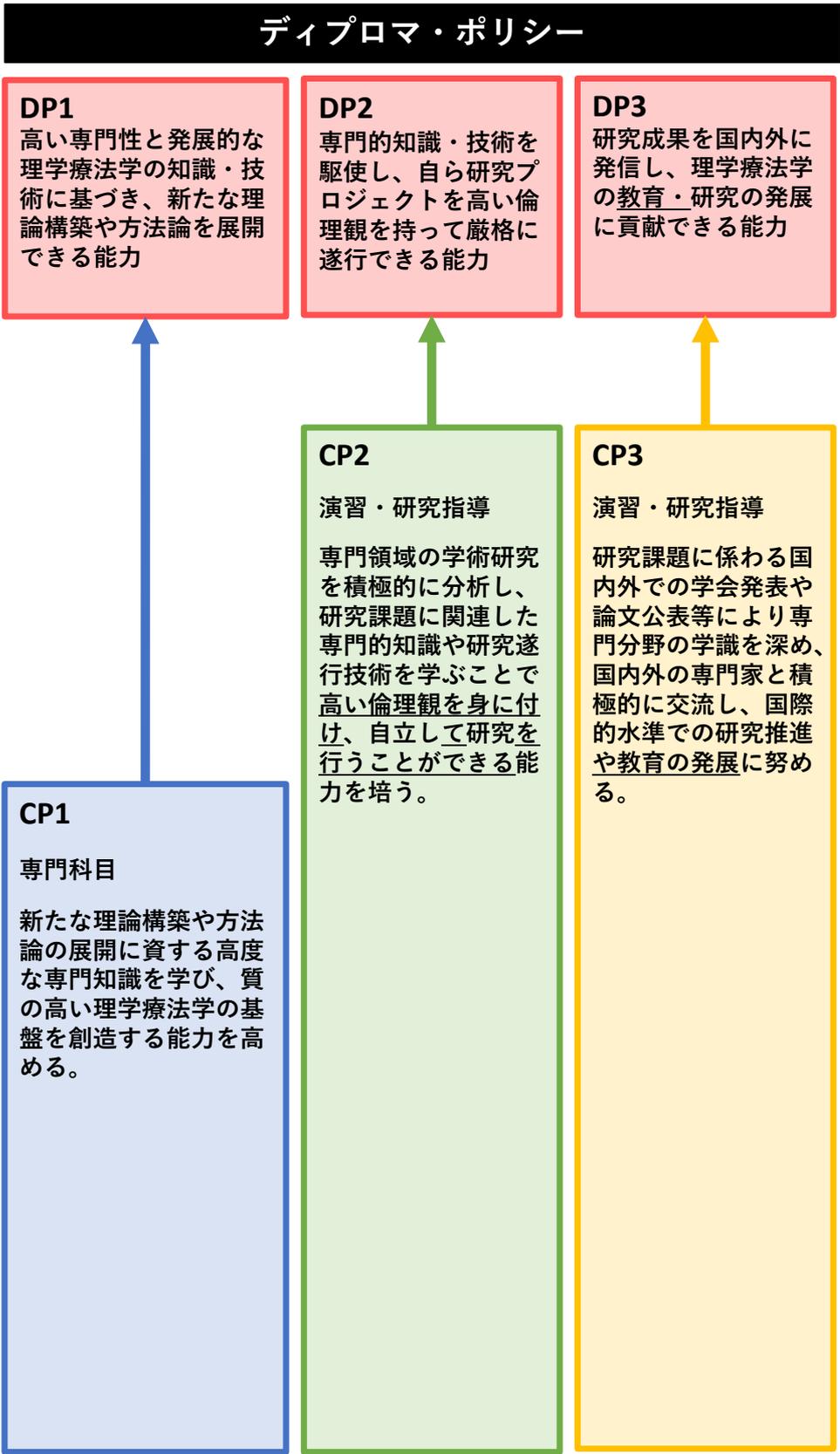


## 審査意見への対応を記載した書類（6月）（資料）目次

- 別添資料1 設置の趣旨等を記載した書類 資料  
【資料12】ディプロマ・ポリシーとカリキュラム・ポリシーの関係
- 別添資料2 設置の趣旨等を記載した書類 資料  
【資料13】カリキュラム・マップ、カリキュラム・ツリー
- 別添資料3 設置の趣旨等を記載した書類 資料  
【資料20】博士前期課程の3つのポリシーとの対比
- 別添資料4 シラバス
- 別添資料5 設置の趣旨等を記載した書類 資料  
【資料19】基礎となる博士前期課程との関係図



### アドミッション・ポリシー

**求める学生像**

AP1.博士前期課程等で修得した専門領域の基盤となる知識・技能、柔軟な思考力と倫理観を兼ね備えている人

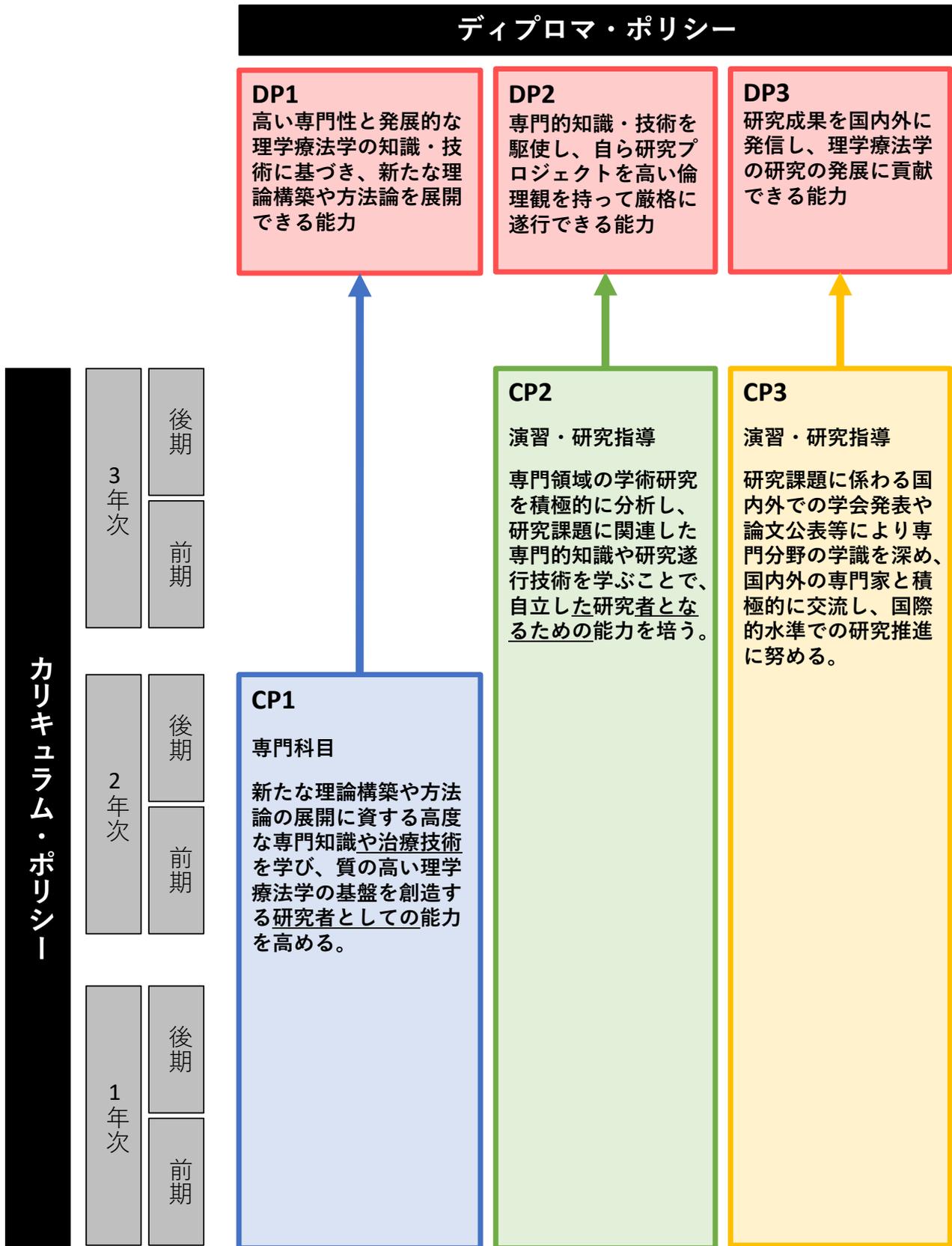
AP2.豊かな人間性と強い探求心を持ち、理学療学分野の発展のため、自立して研究に取り組む姿勢がある人

AP3.理学療学分野に高い知的関心を持ち、最先端の研究に目を向け、研究をやり遂げ、研究成果を国内外に発信する英語力のある人

AP4.博士後期課程で修得した高度な教育研究能力を活用し、理学療法学の発展に貢献する強い意志のある人

— 審査意見(6月)(資料) — 2 —

ディプロマ・ポリシー



アドミッション・ポリシー

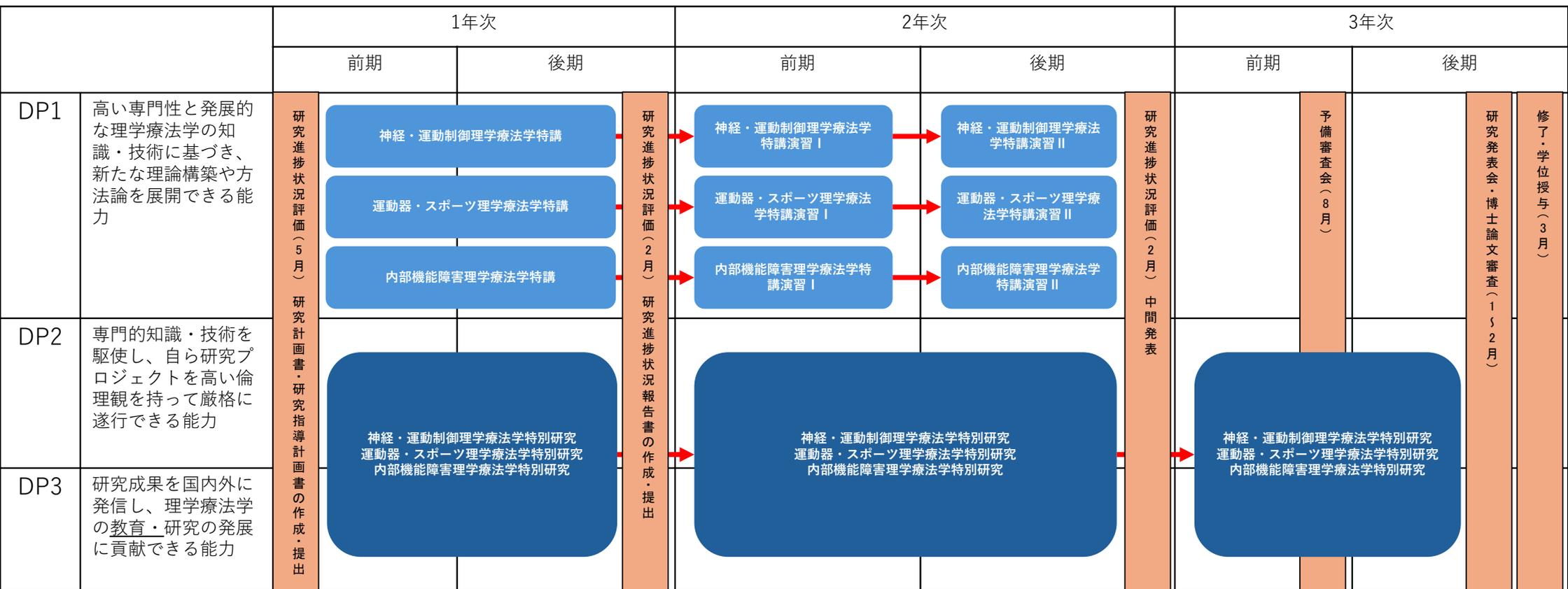
求める学生像

- AP1.博士前期課程等で修得した専門領域の基盤となる知識・技能、柔軟な思考力を兼ね備えている人
- AP2.豊かな人間性と強い探求心を持ち、理学療学分野の発展のため、自立して研究に取り組む姿勢がある人
- AP3.理学療学分野に高い知的関心を持ち、最先端の研究に目を向け、研究をやり遂げる意欲のある人
- AP4.博士後期課程で修得した高度な教育研究能力を活用し、教育者、研究者、指導者として、理学療法学の発展に貢献する強い意志のある人

## 理学療法学専攻博士後期課程カリキュラム・マップ

区分	授業科目	年次	開講時期	DP1	DP2	DP3
				高い専門性と発展的な理学療法学の知識・技術に基づき、新たな理論構築や方法論を展開できる能力	専門的知識・技術を駆使し、自ら研究プロジェクトを高い倫理観を持って厳格に遂行できる能力	研究成果を国内外に発信し、理学療法学の教育・研究の発展に貢献できる能力
専門科目	神経・運動制御理学療法学特講	1年次	通年	○		
	神経・運動制御理学療法学特講演習Ⅰ	2年次	前期	○		
	神経・運動制御理学療法学特講演習Ⅱ	2年次	後期	○		
	運動器・スポーツ理学療法学特講	1年次	通年	○		
	運動器・スポーツ理学療法学特講演習Ⅰ	2年次	前期	○		
	運動器・スポーツ理学療法学特講演習Ⅱ	2年次	後期	○		
	内部機能障害理学療法学特講	1年次	通年	○		
	内部機能障害理学療法学特講演習Ⅰ	2年次	前期	○		
	内部機能障害理学療法学特講演習Ⅱ	2年次	後期	○		
演習・研究指導	神経・運動制御理学療法学特別研究	1～3年次	通年		○	○
	運動器・スポーツ理学療法学特別研究	1～3年次	通年		○	○
	内部機能障害理学療法学特別研究	1～3年次	通年		○	○

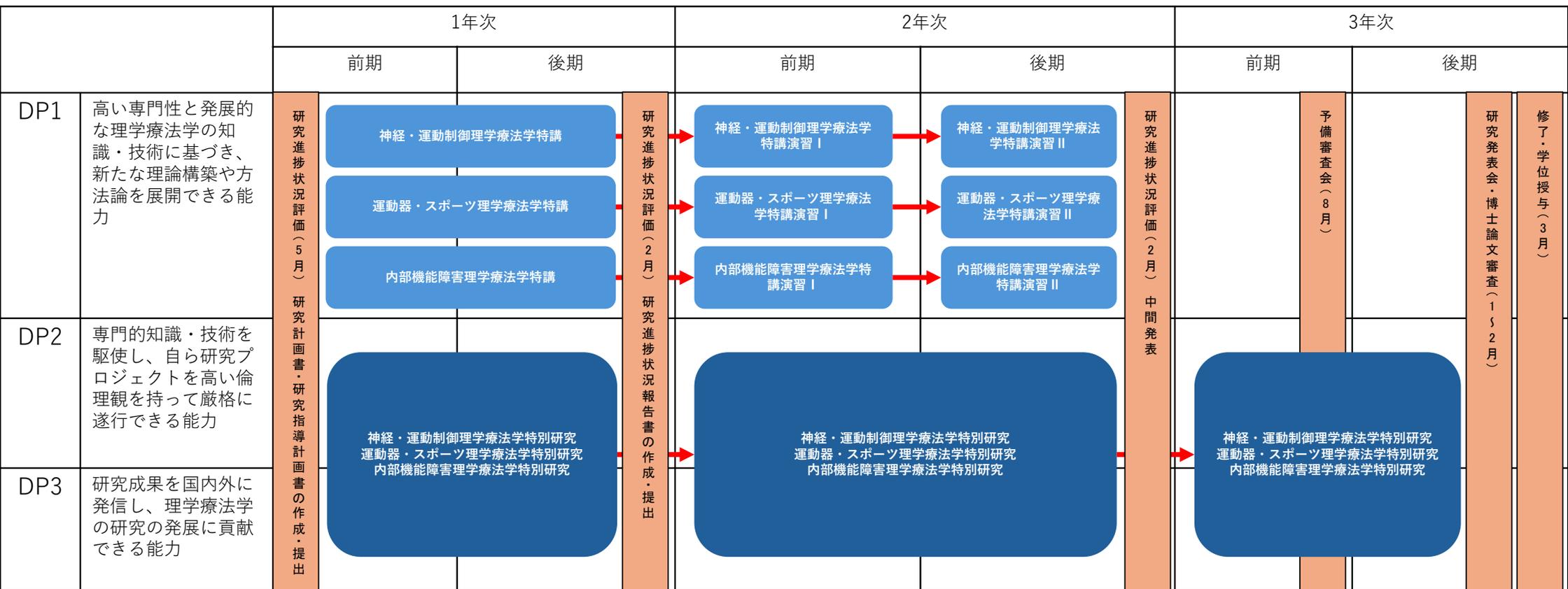
理学療法学専攻博士後期課程カリキュラム・ツリー



## 理学療法学専攻博士後期課程カリキュラム・マップ

区分	授業科目	年次	開講時期	DP1	DP2	DP3
				高い専門性と発展的な理学療法学の知識・技術に基づき、新たな理論構築や方法論を展開できる能力	専門的知識・技術を駆使し、自ら研究プロジェクトを高い倫理観を持って厳格に遂行できる能力	研究成果を国内外に発信し、理学療法学の研究の発展に貢献できる能力
専門科目	神経・運動制御理学療法学特講	1年次	通年	○		
	神経・運動制御理学療法学特講演習Ⅰ	2年次	前期	○		
	神経・運動制御理学療法学特講演習Ⅱ	2年次	後期	○		
	運動器・スポーツ理学療法学特講	1年次	通年	○		
	運動器・スポーツ理学療法学特講演習Ⅰ	2年次	前期	○		
	運動器・スポーツ理学療法学特講演習Ⅱ	2年次	後期	○		
	内部機能障害理学療法学特講	1年次	通年	○		
	内部機能障害理学療法学特講演習Ⅰ	2年次	前期	○		
	内部機能障害理学療法学特講演習Ⅱ	2年次	後期	○		
演習・研究指導	神経・運動制御理学療法学特別研究	1～3年次	通年		○	○
	運動器・スポーツ理学療法学特別研究	1～3年次	通年		○	○
	内部機能障害理学療法学特別研究	1～3年次	通年		○	○

理学療法学専攻博士後期課程カリキュラム・ツリー



## 大学院保健医療学研究科

### 教育理念

本学は学是「仁」の精神を基に、「不断前進」を教育研究の理念とし、他者を思いやり理解する心・感性を持ち、現状に満足せず、常に高い目標を目指して努力を続ける人材を育成していくことを目指している。

順天堂大学大学院保健医療学研究科では、学是である「仁」の心を兼ね備え、国内外を問わず多様な場で社会に還元・貢献できる高度な専門知識と専門技術を有する指導的高度医療専門職者や、理学療法学、診療放射線学の研究を積極的に推進し、質の高い理学療法学、診療放射線学の基盤を創造する教育・研究者の養成を目的とする。

## ディプロマ・ポリシー（学位授与方針）

### 理学療法学専攻

#### 〈博士前期課程〉

標準修業年限（2年）以上4年以内在籍し、修了要件となる30単位以上を取得し、次の資質・能力を身に付けるとともに、必要な研究指導を受けた上で修士論文の審査及び試験に合格した者に対し、修士（理学療法学）の学位を授与します。

- DP1. 人体の機能・構造を多面的に理解し、理学療法学に関する研究に高い倫理観をもって取り組み遂行できる能力
- DP2. 理学療法学分野のリーダーや管理者、または教育・研究者としての役割を理解し、理学療法学の研究動向を理解し、最新のエビデンスを分析する能力
- DP3. 科学的根拠に裏付けされた理学療法学の専門的知識や技術の基本を応用できる能力
- DP4. 理学療法学分野における問題に対して、体系的に整理し客観的に分析する能力

#### 〈博士後期課程〉

標準修業年限（3年）以上6年以内在籍し、修了要件となる10単位以上を取得し、次の資質・能力を身に付けるとともに、必要な研究指導を受けた上で博士論文の審査及び試験に合格した者に対し、博士（理学療法学）の学位を授与します。

- DP1. 高い専門性と発展的な理学療法学の知識・技術に基づき、新たな理論構築や方法論を展開できる能力
- DP2. 専門的知識・技術を駆使し、自ら研究プロジェクトを高い倫理観を持って厳格に遂行できる能力
- DP3. 研究成果を国内外に発信し、理学療法学の教育・研究の発展に貢献できる能力

## カリキュラム・ポリシー（教育課程編成・実施方針）

## 理学療法学専攻

## 〈博士前期課程〉

- CP1. 人体の機能・構造の専門的知識や高度の倫理観、保健医療分野の専門的な研究方法論を修得するために、共通科目に特論科目を配置します。成果は履修科目の成績により評価します。
- CP2. リーダーや管理者、または教育・研究者としての必要な知識や、理学療法学の研究動向を理解し、最新のエビデンスを分析する方法を修得するために、共通科目と専門基礎科目に特論科目を配置します。成果は履修科目の成績により評価します。
- CP3. 理学療法学の基幹領域での科学的根拠に裏付けされた理学療法学の専門的知識や技術の応用力を修得するために、専門科目に特論科目及び特論演習科目を配置する。成果は履修科目の成績により評価します。
- CP4. 理学療法学における課題を見極め、研究計画立案から研究実施、さらに結果を分析する能力を修得するために、演習・研究指導科目に特別研究を配置します。成果は修士論文審査により評価します。

## 〈博士後期課程〉

- CP1. 新たな理論構築や方法論の展開に資する高度な専門知識を学び、質の高い理学療法学の基盤を創造する能力を高めます。
- CP2. 専門領域の学術研究を積極的に分析し、研究課題に関連した専門的知識や研究遂行技術を学ぶことで高い倫理観を身に付け、自立して研究を行うことができる能力を培います。
- CP3. 研究課題に係わる国内外での学会発表や論文公表等により専門分野の学識を深め、国内外の専門家と積極的に交流し、国際的水準での研究推進や教育の発展に努めます。

## アドミッション・ポリシー（入学者受入方針）

## 理学療法学専攻

## 〈博士前期課程〉

理学療法学専攻（博士前期課程）は、理学療法学の教育を受けた学生や社会人などに対して、高い専門性と発展的な理学療法学の知識を教授し、社会に貢献できる人材を育成することを目的としています。生涯にわたって理学療法学と向き合う姿勢を持ち続け、「仁」の心を兼ね備えた教育・研究者、高度専門職業人を育成するため、次のような志のある人物を求めます。

- AP1. 豊かな人間性をもち、理学療法学分野の発展のため、大学院で学修・研究する明確な意思と、そのために必要な学力を持つ人
- AP2. 保健・医療・福祉の臨床・教育現場で活動しており、理学療法士の資格を持つ者として向上心のある人
- AP3. 理学療法学に高い関心を持ち、入学後の学修・研究活動に積極的に取り組む意欲のある人
- AP4. 理学療法学における研究・教育活動を通じて社会に貢献する強い意志のある人

## 〈博士後期課程〉

理学療法学専攻（博士後期課程）は、学是である「仁」の心を兼ね備え、国内外を問わず多様な場で社会に還元・貢献できる専門知識と専門技術、及び高度な研究能力を有し、理学療法学の研究を積極的に推進し、質の高い理学療法学の基盤を創造、ならびに後進の指導を行い得る人材を養成することを目的としています。そのため、次のような志のある人物を求めます。

- AP1. 博士前期課程等で修得した専門領域の基盤となる知識・技能、柔軟な思考力と倫理観を兼ね備えている人
- AP2. 豊かな人間性と強い探求心をもち、理学療法学分野の発展のため、自立して研究に取り組む姿勢がある人
- AP3. 理学療法学分野に高い知的関心を持ち、最先端の研究に目を向け、研究をやり遂げ、研究成果を国内外に発信する英語力のある人
- AP4. 博士後期課程で修得した高度な教育研究能力を活用し、理学療法学の発展に貢献する強い意志のある人

## 大学院保健医療学研究科

### 教育理念

本学は学是「仁」の精神を基に、「不断前進」を教育研究の理念とし、他者を思いやり理解する心・感性を持ち、現状に満足せず、常に高い目標を目指して努力を続ける人材を育成していくことを目指している。

順天堂大学大学院保健医療学研究科では、学是である「仁」の心を兼ね備え、国内外を問わず多様な場で社会に還元・貢献できる高度な専門知識と専門技術を有する指導的高度医療専門職者や、理学療法学、診療放射線学の研究を積極的に推進し、質の高い理学療法学、診療放射線学の基盤を創造する教育・研究者の養成を目的とする。

## ディプロマ・ポリシー（学位授与方針）

### 理学療法学専攻

#### 〈博士前期課程〉

標準修業年限（2年）以上4年以内在籍し、修了要件となる30単位以上を取得し、次の資質・能力を身に付けるとともに、必要な研究指導を受けた上で修士論文の審査及び試験に合格した者に対し、修士（理学療法学）の学位を授与します。

- DP1. 人体の機能・構造を多面的に理解し、理学療法学に関する研究に高い倫理観をもって取り組み遂行できる能力
- DP2. 理学療法学分野のリーダーや管理者、または教育・研究者としての役割を理解し、理学療法学の研究動向を理解し、最新のエビデンスを分析する能力
- DP3. 科学的根拠に裏付けされた理学療法学の専門的知識や技術の基本を応用できる能力
- DP4. 理学療法学分野における問題に対して、体系的に整理し客観的に分析する能力

#### 〈博士後期課程〉

標準修業年限（3年）以上6年以内在籍し、修了要件となる10単位以上を取得し、次の資質・能力を身に付けるとともに、必要な研究指導を受けた上で博士論文の審査及び試験に合格した者に対し、博士（理学療法学）の学位を授与します。

- DP1. 高い専門性と発展的な理学療法学の知識・技術に基づき、新たな理論構築や方法論を展開できる能力
- DP2. 専門的知識・技術を駆使し、自ら研究プロジェクトを高い倫理観を持って厳格に遂行できる能力
- DP3. 研究成果を国内外に発信し、理学療法学の研究の発展に貢献できる能力

## カリキュラム・ポリシー（教育課程編成・実施方針）

## 理学療法学専攻

## 〈博士前期課程〉

- CP1. 人体の機能・構造の専門的知識や高度の倫理観、保健医療分野の専門的な研究方法論を修得するために、共通科目に特論科目を配置します。成果は履修科目の成績により評価します。
- CP2. リーダーや管理者、または教育・研究者としての必要な知識や、理学療法学の研究動向を理解し、最新のエビデンスを分析する方法を修得するために、共通科目と専門基礎科目に特論科目を配置します。成果は履修科目の成績により評価します。
- CP3. 理学療法学の基幹領域での科学的根拠に裏付けされた理学療法学の専門的知識や技術の応用力を修得するために、専門科目に特論科目及び特論演習科目を配置する。成果は履修科目の成績により評価します。
- CP4. 理学療法学における課題を見極め、研究計画立案から研究実施、さらに結果を分析する能力を修得するために、演習・研究指導科目に特別研究を配置します。成果は修士論文審査により評価します。

## 〈博士後期課程〉

- CP1. 新たな理論構築や方法論の展開に資する高度な専門知識や治療技術を学び、質の高い理学療法学の基盤を創造する研究者としての能力を高めます。
- CP2. 専門領域の学術研究を積極的に分析し、研究課題に関連した専門的知識や研究遂行技術を学ぶことで、自立した研究者となるための能力を培います。
- CP3. 研究課題に係わる国内外での学会発表や論文公表等により専門分野の学識を深め、国内外の専門家と積極的に交流し、国際的水準での研究推進に努めます。

## アドミッション・ポリシー（入学者受入方針）

## 理学療法学専攻

## 〈博士前期課程〉

理学療法学専攻（博士前期課程）は、理学療法学の教育を受けた学生や社会人などに対して、高い専門性と発展的な理学療法学の知識を教授し、社会に貢献できる人材を育成することを目的としています。生涯にわたって理学療法学と向き合う姿勢を持ち続け、「仁」の心を兼ね備えた教育・研究者、高度専門職業人を育成するため、次のような志のある人物を求めます。

- AP1. 豊かな人間性をもち、理学療法学分野の発展のため、大学院で学修・研究する明確な意思と、そのために必要な学力を持つ人
- AP2. 保健・医療・福祉の臨床・教育現場で活動しており、理学療法士の資格を持つ者として向上心のある人
- AP3. 理学療法学に高い関心を持ち、入学後の学修・研究活動に積極的に取り組む意欲のある人
- AP4. 理学療法学における研究・教育活動を通じて社会に貢献する強い意志のある人

## 〈博士後期課程〉

理学療法学専攻（博士後期課程）は、学是である「仁」の心を兼ね備え、国内外を問わず多様な場で社会に還元・貢献できる高度な専門知識と専門技術を有する指導的高度医療専門職者や、理学療法学の研究を積極的に推進し、質の高い理学療法学の基盤を創造する教育者・研究者を養成することを目的としています。そのため、次のような志のある人物を求めます。

- AP1. 博士前期課程等で修得した専門領域の基盤となる知識・技能、柔軟な思考力を兼ね備えている人
- AP2. 豊かな人間性と強い探求心をもち、理学療法学分野の発展のため、自立して研究に取り組む姿勢がある人
- AP3. 理学療法学分野に高い知的関心を持ち、最先端の研究に目を向け、研究をやり遂げる意欲のある人
- AP4. 博士後期課程で修得した高度な教育研究能力を活用し、教育者、研究者、指導者として、理学療法学の発展に貢献する強い意志のある人

## シラバス (目次)

神経・運動制御理学療法学特講 .....	2
神経・運動制御理学療法学特講演習 I .....	5
神経・運動制御理学療法学特講演習 II .....	9
運動器・スポーツ理学療法学特講 .....	13
運動器・スポーツ理学療法学特講演習 I .....	17
運動器・スポーツ理学療法学特講演習 II .....	20
内部機能障害理学療法学特講 .....	24
内部機能障害理学療法学特講演習 I .....	28
内部機能障害理学療法学特講演習 II .....	31
神経・運動制御理学療法学特別研究 .....	35
運動器・スポーツ理学療法学特別研究 .....	40
内部機能障害理学療法学特別研究 .....	46

## 別添資料4(新)

科目名	神経・運動制御理学療法学特講		授業形態	講義
英語科目名	Advanced Lecture on Physical Therapy for Neuroscience and Motor control		開講学期	通年
対象学年	1年		単位数	2
代表教員	藤原俊之			
担当教員	藤原俊之、松田雅弘、春山幸志郎、高橋容子、藤野雄次			
<b>授業概要（全体内容）</b>				
<p>神経・運動制御理学療法学における新たな理論構築や方法論の展開に資する高度な専門知識や治療技術を学ぶために、中枢神経疾患における機能障害、能力障害、高次脳機能障害といった各種神経症状についての病態の理解を深めるとともに、中枢神経疾患に関連する臨床的課題について最新の研究を探索し、神経科学的、神経生理学的、病態生理学的、認知科学的な視点からの批判的な討議を通して、最新の知見について理解を深める。</p>				
<b>達成目標</b>				
<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 神経・運動制御理学療法学の最新の研究動向や特徴を説明することができる。</li> <li>2. 中枢神経疾患における各種神経症状の病態について、最新の研究動向を説明することができる。</li> <li>3. 中枢神経疾患に対する最新の研究論文を批判的に吟味し、研究の課題や展望を見出すことができる。</li> </ol>				
<b>ディプロマ・ポリシー（学位授与の方針）との関連</b>				
理学 DP-1				
<b>履修上の注意、履修要件</b>				
実施日程は、受講者と協議して決定する。				
<b>成績評価の方法</b>				
プレゼンテーション及び作成資料（70%）、ショートレクチャー（30%）				
<b>試験・課題等に対するフィードバック方法</b>				
プレゼンテーション及びレクチャーに対するフィードバックは毎回の発表時に行う。毎回、担当制で最新のレビューをショートレクチャーする。				
<b>テキスト・参考文献</b>				
特に指定しないが、授業に必要な資料や参考書は、適宜、配布、または指示する。				
<b>連絡先・オフィスアワー</b>				
各担当教員がメールで連絡を受け付け、随時対応する。 藤原 (t-fujiwara@juntendo.ac.jp)、松田 (t.matsuda.ye@juntendo.ac.jp)、春山 (k.haruyama.us@juntendo.ac.jp) 高橋 (y.takahashi.jk@juntendo.ac.jp)、藤野 (y.fujino.pb@juntendo.ac.jp)。				
<b>授業計画【授業内容と授業時間外の指導等】</b>				
授業回	担当者	授業内容	授業方法	予習・復習・レポート課題等と学習時間
1	藤原俊之	【初回ガイダンス、神経・運動制御理学療法の総論】 授業計画と進め方について説明する。神経・運動制御理学療法の最新トピックスを学び、得られた知見についてディスカッションする。	講義	【予習】(90分) 神経・運動制御理学療法の知見について文献を検索し、少なくとも論文を1本読む。 【復習】(90分) 授業の内容を復習する。
2	藤原俊之	【電気生理学的検査①】	講義	【予習】(90分)

## 別添資料4(新)

		中枢神経疾患の表面筋電図や誘発筋電図を扱った <u>中枢神経系疾患の理学療法研究</u> や最新のトピックスについて学ぶ。それから得られた知見や研究手法についてディスカッションする。		中枢神経疾患の表面筋電図や誘発筋電図を扱った論文を探索し、抄読する。 【復習】(90分) 授業の内容を復習する。
3	藤原俊之	【電気生理学的検査②】 中枢神経疾患の経頭蓋磁気刺激と脳波を扱った <u>中枢神経系疾患の理学療法研究</u> や最新のトピックスについて学ぶ。それから得られた知見や研究手法についてディスカッションする。	講義	【予習】(90分) 中枢神経疾患の経頭蓋磁気刺激と脳波を扱った論文を探索し、抄読する。 【復習】(90分) 授業の内容を復習する。
4	松田雅弘	【運動学・運動力学的分析手法①】 中枢神経疾患の加速度計、3次元解析装置、床反力計を扱った <u>中枢神経系疾患の理学療法研究</u> や最新のトピックスについて学ぶ。それから得られた知見や研究手法についてディスカッションする。	講義	【予習】(90分) 中枢神経疾患の加速度計、3次元解析装置、床反力計を扱った論文を探索し、抄読する。 【復習】(90分) 授業の内容を復習する。
5	松田雅弘	【運動学・運動力学的分析手法②】 中枢神経疾患の動作筋電図を扱った <u>中枢神経系疾患の理学療法研究</u> や最新のトピックスについて学ぶ。それから得られた知見や研究手法についてディスカッションする。	講義	【予習】(90分) 中枢神経疾患の動作筋電図を扱った論文を探索し、抄読する。 【復習】(90分) 授業の内容を復習する。
6	松田雅弘	【工学的分析手法①】 工学的な分析手法(特にセンシング技術、深層学習、AI)を扱った <u>中枢神経系疾患の理学療法研究</u> や最新のトピックスについて学ぶ。それから得られた知見や研究手法についてディスカッションする。	講義	【予習】(90分) 工学的な分析手法(特にセンシング技術、深層学習、AI)を扱った論文を探索し、抄読する。 【復習】(90分) 授業の内容を復習する。
7	春山幸志郎	【ニューロリハビリテーション治療①】 ニューロモデュレーション(反復経頭蓋磁気刺激・経頭蓋直流電気刺激・電気刺激療法)を扱った <u>中枢神経系疾患の理学療法研究</u> や最新のトピックスについて学ぶ。それから得られた知見や研究手法についてディスカッションする。	講義	【予習】(90分) ニューロモデュレーションを扱った論文を探索し、抄読する。 【復習】(90分) 授業の内容を復習する。
8	春山幸志郎	【電気生理学的検査③】 中枢神経疾患の表面筋電図による周波数解析を扱った <u>中枢神経系疾患の理学療法研究</u> や最新のトピックスについて学ぶ。それから得られた知見や研究手法についてディスカッションする。	講義	【予習】(90分) 中枢神経疾患の表面筋電図による周波数解析を扱った論文を探索し、抄読する。 【復習】(90分) 授業の内容を復習する。

## 別添資料4(新)

9	春山幸志郎	<p><b>【脳波筋電図コヒーレンス】</b></p> <p>脳波筋電図コヒーレンスを扱った<u>中枢神経系疾患の理学療法研究</u>や最新のトピックスについて学ぶ。それから得られた知見や研究手法についてディスカッションする。</p>	講義	<p><b>【予習】(90分)</b></p> <p>脳波筋電図コヒーレンスを扱った論文を探索し、抄読する。</p> <p><b>【復習】(90分)</b></p> <p>授業の内容を復習する。</p>
10	高橋容子	<p><b>【ニューロリハビリテーション治療②】</b></p> <p>ロボティクスによるリハビリテーションを扱った<u>中枢神経系疾患の理学療法研究</u>や最新のトピックスについて学ぶ。それから得られた知見や研究手法についてディスカッションする。</p>	講義	<p><b>【予習】(90分)</b></p> <p>ロボティクスによるリハビリテーションを扱った論文を探索し、抄読する。</p> <p><b>【復習】(90分)</b></p> <p>授業の内容を復習する。</p>
11	高橋容子	<p><b>【歩行のシナジー性と非線形性】</b></p> <p>中枢神経系疾患の歩行のシナジー性と非線形性を扱った理学療法研究や最新のトピックスについて学ぶ。それから得られた知見や研究手法についてディスカッションする。</p>	講義	<p><b>【予習】(90分)</b></p> <p>中枢神経疾患の歩行のシナジー性と非線形性を扱った論文を探索し、抄読する。</p> <p><b>【復習】(90分)</b></p> <p>授業の内容を復習する。</p>
12	高橋容子	<p><b>【電気生理学的検査④】</b></p> <p>中枢神経系疾患の神経生理学的検査による神経活動データを扱った理学療法研究や最新のトピックスについて学ぶ。それから得られた知見や研究手法についてディスカッションする。</p>	講義	<p><b>【予習】(90分)</b></p> <p>中枢神経疾患の神経生理学的検査による神経活動データを扱った論文を探索し、抄読する。</p> <p><b>【復習】(90分)</b></p> <p>授業の内容を復習する。</p>
13	藤野雄次	<p><b>【工学的分析手法】</b></p> <p>工学的な分析手法(特に視覚・体性感覚)を扱った<u>中枢神経系疾患の理学療法研究</u>や最新のトピックスについて学ぶ。それから得られた知見や研究手法についてディスカッションする。</p>	講義	<p><b>【予習】(90分)</b></p> <p>工学的な分析手法(特に視覚・体性感覚)を扱った論文を探索し、抄読する。</p> <p><b>【復習】(90分)</b></p> <p>授業の内容を復習する。</p>
14	藤野雄次	<p><b>【ニューロリハビリテーション治療③】</b></p> <p>直流前庭刺激や振動刺激療法を扱った<u>中枢神経系疾患の理学療法研究</u>や最新のトピックスについて学ぶ。それから得られた知見や研究手法についてディスカッションする。</p>	講義	<p><b>【予習】(90分)</b></p> <p>直流前庭刺激や振動刺激療法を扱った論文を探索し、抄読する。</p> <p><b>【復習】(90分)</b></p> <p>授業の内容を復習する。</p>
15	藤野雄次	<p><b>【ニューロリハビリテーション治療④】</b></p> <p>Virtual reality やプリズム療法を扱った<u>高次脳機能障害に対する理学療法研究</u>や最新のトピックスについて学ぶ。それから得られた知見や研究手法についてディスカッションする。</p>	講義	<p><b>【予習】(90分)</b></p> <p>Virtual reality やプリズム療法を扱った論文を探索し、抄読する。</p> <p><b>【復習】(90分)</b></p> <p>授業の内容を復習する。</p>

## 別添資料4(新)

科目名	神経・運動制御理学療法学特講演習 I		授業形態	演習
英語科目名	Advanced Seminar on Physical Therapy for Neuroscience and Motor control I		開講学期	前期
対象学年	2年		単位数	2
代表教員	藤原俊之			
担当教員	藤原俊之、松田雅弘、春山幸志郎、高橋容子、藤野雄次			
授業概要 (全体内容)	<p>神経・運動制御理学療法学領域に関連する学術研究を積極的に分析し、研究課題に関連した専門的知識や研究遂行技術を学ぶため、神経生理学的、病態生理学的、認知科学的、神経科学に関連する研究論文や最先端テクノロジーに関連する研究動向を広く探索し、論文レビューや臨床的疑問に基づき研究課題を決定し、研究の仮説、研究方法、解析方法、結果の解釈について論理的に討議し、各自の研究に応用できる研究遂行能力を養成する。</p> <p>授業は演習形態で行い、自身の研究の考察に生きる内容についてまとめる。討議の資料作成を通して図表の作成方法など研究成果発表に必要な技術を学修することで、汎用性の高いテクニックを身につける。</p>			
達成目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>論文レビューおよび批判的吟味から研究課題や展望を論理的に説明することができる。</li> <li>論文レビューや臨床的疑問に基づいて研究課題を決定し、適切な研究デザインおよび検証方法を立案できる。</li> <li>討議の資料作成を通して図表の作成、成果発表ができる。</li> </ul>			
ディプロマ・ポリシー (学位授与の方針) との関連	理学 DP-1			
履修上の注意、履修要件	実施日程は、受講者と協議して決定する。			
成績評価の方法	プレゼンテーション 100%：方法、内容、巧拙、理解度について口頭試問を判断基準とする。			
試験・課題等に対するフィードバック方法	講義内で、教員と学生間のディスカッションを通して、フィードバックする。			
テキスト・参考文献	特に指定しないが、授業に必要な資料や参考書は、適宜、配布、または指示する。			
連絡先・オフィスアワー	<p>各担当教員がメールで連絡を受け付け、随時対応する。</p> <p>藤原 (t-fujiwara@juntendo.ac.jp)、松田 (t.matsuda.ye@juntendo.ac.jp)、春山 (k.haruyama.us@juntendo.ac.jp) 高橋 (y.takahashi.jk@juntendo.ac.jp)、藤野 (y.fujino.pb@juntendo.ac.jp)。</p>			
授業計画【授業内容と授業時間外の指導等】				
授業回	担当者	授業内容	授業方法	予習・復習・レポート課題等と学習時間
1	藤原俊之	<p>【電気生理学的検査①】</p> <p>電気生理学的検査（特に表面筋電図や誘発筋電図）を用いた<u>中枢神経系疾患</u>の理学療法に関連する英語論文を抄読し、研究方法、解析方法、結果の解釈について議論する。</p>	演習	<p>【予習】(90分)</p> <p>電気生理学的検査を扱った論文を探索し、抄読する。</p> <p>【復習】(90分)</p> <p>当日の議論の内容について各自で復習する。</p>
2	藤原俊之	<p>【電気生理学的検査②】</p>	演習	<p>【予習】(90分)</p>

## 別添資料4(新)

		電気生理学的検査（特に経頭蓋磁気刺激と脳波）を用いた <u>中枢神経系疾患</u> の理学療法に関連する英語論文を抄読し、研究方法、解析方法、結果の解釈について議論する。		電気生理学的検査を扱った論文を探索し、抄読する。 【復習】(90分) 当日の議論の内容について各自で復習する。
3	松田雅弘	【最先端テクノロジー①】 最先端テクノロジー（特にセンシング技術、深層学習、AI）を用いた <u>中枢神経系疾患</u> の理学療法に関連する英語論文を抄読し、研究方法、解析方法、結果の解釈について議論する。	演習	【予習】(90分) 最先端テクノロジーを扱った論文を探索し、抄読する。 【復習】(90分) 当日の議論の内容について各自で復習する。
4	松田雅弘	【最先端テクノロジー②】 最先端テクノロジー（特に遠隔操作技術）を用いた <u>中枢神経系疾患</u> の理学療法に関連する英語論文を抄読し、研究方法、解析方法、結果の解釈について議論する。	演習	【予習】(90分) 最先端テクノロジーを扱った論文を探索し、抄読する。 【復習】(90分) 当日の議論の内容について各自で復習する。
5	春山幸志郎	【運動学・運動力学的分析①】 運動学・運動力学的分析（特に加速度計、3次元解析装置、床反力計）を用いた <u>中枢神経系疾患</u> の理学療法に関連する英語論文を抄読し、研究方法、解析方法、結果の解釈について議論する。	演習	【予習】(90分) 運動学・運動力学的分析を扱った論文を探索し、抄読する。 【復習】(90分) 当日の議論の内容について各自で復習する。
6	春山幸志郎	【運動学・運動力学的分析②】 運動学・運動力学的分析（特に動作筋電図）を用いた <u>中枢神経系疾患</u> の理学療法に関連する英語論文を抄読し、研究方法、解析方法、結果の解釈について議論する。	演習	【予習】(90分) 運動学・運動力学的分析を扱った論文を探索し、抄読する。 【復習】(90分) 当日の議論の内容について各自で復習する。
7	高橋容子	【ニューロリハビリテーション治療①】 ニューロリハビリテーション治療（特にニューロモデュレーション）を用いた <u>中枢神経系疾患</u> の理学療法に関連する英語論文を抄読し、研究方法、解析方法、結果の解釈について議論する。	演習	【予習】(90分) ニューロリハビリテーション治療を扱った論文を探索し、抄読する。 【復習】(90分) 当日の議論の内容について各自で復習する。
8	高橋容子	【ニューロリハビリテーション治療②】 ニューロリハビリテーション治療（特にロボティクス）を用いた <u>中枢神経系疾患</u> の理学療法に関連する英語論文を抄読し、研究方法、解析方法、結果の解釈について議論する。	演習	【予習】(90分) ニューロリハビリテーション治療を扱った論文を探索し、抄読する。 【復習】(90分)

別添資料4(新)

		る。		当日の議論の内容について各自で復習する。
9	藤野雄次	【ニューロリハビリテーション治療③】 ニューロリハビリテーション治療（特にVirtual reality、プリズム療法）を用いた高次脳機能障害に対する理学療法に関連する英語論文を抄読し、研究方法、解析方法、結果の解釈について議論する。	演習	【予習】(90分) ニューロリハビリテーション治療を扱った論文を探索し、抄読する。 【復習】(90分) 当日の議論の内容について各自で復習する。
10	藤野雄次	【工学的分析】 工学的な分析手法（特に視覚・体性感覚）を用いた中枢神経系疾患の理学療法に関連する英語論文を抄読し、研究方法、解析方法、結果の解釈について議論する。	演習	【予習】(90分) 工学的な分析手法を扱った論文を探索し、抄読する。 【復習】(90分) 当日の議論の内容について各自で復習する。
11	藤原俊之 松田雅弘 春山幸志郎 高橋容子 藤野雄次	【プレゼンテーション：電気生理学的検査】 電気生理学的検査に関する論文レビューおよび臨床的疑問に基づいて研究課題を設定し、研究計画について議論する。	演習	【予習】(90分) プレゼンテーションの資料準備。 【復習】(90分) 各プレゼンテーション内容について補足的に調べ、理解を深める。
12	藤原俊之 松田雅弘 春山幸志郎 高橋容子 藤野雄次	【プレゼンテーション：最先端テクノロジー】 最先端テクノロジーに関する論文レビューおよび臨床的疑問に基づいて研究課題を設定し、研究計画について議論する。	演習	【予習】(90分) プレゼンテーションの資料準備。 【復習】(90分) 各プレゼンテーション内容について補足的に調べ、理解を深める。
13	藤原俊之 松田雅弘 春山幸志郎 高橋容子 藤野雄次	【プレゼンテーション：運動学・運動力学的分析】 運動学・運動力学的分析に関する論文レビューおよび臨床的疑問に基づいて研究課題を設定し、研究計画について議論する。	演習	【予習】(90分) プレゼンテーションの資料準備。 【復習】(90分) 各プレゼンテーション内容について補足的に調べ、理解を深める。
14	藤原俊之 松田雅弘 春山幸志郎 高橋容子 藤野雄次	【プレゼンテーション：運動学・ニューロリハビリテーション治療】 ニューロリハビリテーション治療に関する論文レビューおよび臨床的疑問に基づいて研究課題を設定し、研究計画について議論	演習	【予習】(90分) プレゼンテーションの資料準備。 【復習】(90分) 各プレゼンテーション内容に

## 別添資料4(新)

		する。		ついて補足的に調べ、理解を深める。
15	藤原俊之 松田雅弘 春山幸志郎 高橋容子 藤野雄次	<p><b>【プレゼンテーション：工学的分析】</b></p> <p>工学的分析に関する論文レビューおよび臨床的疑問に基づいて研究課題を設定し、研究計画について議論する。</p>	演習	<p><b>【予習】(90分)</b></p> <p>プレゼンテーションの資料準備。</p> <p><b>【復習】(90分)</b></p> <p>各プレゼンテーション内容について補足的に調べ、理解を深める。</p>

## 別添資料4(新)

科目名	神経・運動制御理学療法学特講演習Ⅱ		授業形態	演習
英語科目名	Advanced Seminar on Physical Therapy for Neuroscience and Motor control Ⅱ		開講学期	後期
対象学年	2年		単位数	2
代表教員	藤原俊之			
担当教員	藤原俊之、松田雅弘、春山幸志郎、高橋容子、藤野雄次			
<b>授業概要（全体内容）</b>				
<p>神経・運動制御理学療法学領域に関連する学術研究を積極的に分析し、研究課題に関連した専門的知識や研究遂行技術を学ぶため、具体的に立案した研究計画について、教員ならびに学生間で互いに研究の手法や計画について批判的に吟味し、中枢神経疾患の理学療法領域における意義についても議論する。また、研究の実現可能性、新規性、再現性、妥当性について討議することにより、神経・運動制御理学療法領域の研究を深く探求するとともに、各自の研究計画の質や研究遂行能力の向上を促す。</p> <p>授業は演習形態で行い、自身の研究の考察に生きる内容についてまとめる。サマリーやレビュー論文のまとめを通して研究課題に関連した専門的知識や研究探索能力を身につける。</p>				
<b>達成目標</b>				
<ul style="list-style-type: none"> <li>立案した研究計画について、研究仮説の立証方法について論理的に説明することができる。</li> <li>立案した研究計画の実現可能性、新規性、再現性、妥当性について論理的に説明することができる。</li> <li>討議の資料作成を通して図表の作成、成果発表ができる。</li> </ul>				
<b>ディプロマ・ポリシー（学位授与の方針）との関連</b>				
理学 DP-1				
<b>履修上の注意、履修要件</b>				
実施日程は、受講者と協議して決定する。				
<b>成績評価の方法</b>				
プレゼンテーション 100%：方法、内容、巧拙、理解度について口頭試問を判断基準とする。				
<b>試験・課題等に対するフィードバック方法</b>				
講義内で、教員と学生間のディスカッションを通して、フィードバックする。				
<b>テキスト・参考文献</b>				
特に指定しないが、授業に必要な資料や参考書は、適宜、配布、または指示する。				
<b>連絡先・オフィスアワー</b>				
各担当教員がメールで連絡を受け付け、随時対応する。				
藤原 (t-fujiwara@juntendo.ac.jp)、松田 (t.matsuda.ye@juntendo.ac.jp)、春山 (k.haruyama.us@juntendo.ac.jp) 高橋 (y.takahashi.jk@juntendo.ac.jp)、藤野 (y.fujino.pb@juntendo.ac.jp)。				
<b>授業計画【授業内容と授業時間外の指導等】</b>				
授業回	担当者	授業内容	授業方法	予習・復習・レポート課題等と学習時間
1	藤原俊之	<p><b>【電気生理学的検査①】</b></p> <p>電気生理学的検査（特に表面筋電図や誘発筋電図）を用いた<u>中枢神経系疾患の理学療法</u>に関連する英語論文を抄読し、新たに検証すべき内容や方法、発展的取り組みについて議論する。</p>	演習	<p><b>【予習】</b> (90分)</p> <p>電気生理学的検査を扱った論文を探索し、抄読する。</p> <p><b>【復習】</b> (90分)</p> <p>当日の議論の内容について各自で復習する。</p>

## 別添資料4(新)

2	藤原俊之	<p><b>【電気生理学的検査②】</b></p> <p>電気生理学的検査（特に経頭蓋磁気刺激と脳波）を用いた<u>中枢神経系疾患</u>の理学療法に関連する英語論文を抄読し、新たに検証すべき内容や方法、発展的取り組みについて議論する。</p>	演習	<p><b>【予習】(90分)</b></p> <p>電気生理学的検査を扱った論文を探索し、抄読する。</p> <p><b>【復習】(90分)</b></p> <p>当日の議論の内容について各自で復習する。</p>
3	松田雅弘	<p><b>【最先端テクノロジー①】</b></p> <p>最先端テクノロジー（特にセンシング技術、深層学習、AI）を用いた<u>中枢神経系疾患</u>の理学療法に関連する英語論文を抄読し、新たに検証すべき内容や方法、発展的取り組みについて議論する。</p>	演習	<p><b>【予習】(90分)</b></p> <p>最先端テクノロジーを扱った論文を探索し、抄読する。</p> <p><b>【復習】(90分)</b></p> <p>当日の議論の内容について各自で復習する。</p>
4	松田雅弘	<p><b>【最先端テクノロジー②】</b></p> <p>最先端テクノロジー（特に遠隔操作技術）を用いた<u>中枢神経系疾患</u>の理学療法に関連する英語論文を抄読し、新たに検証すべき内容や方法、発展的取り組みについて議論する。</p>	演習	<p><b>【予習】(90分)</b></p> <p>最先端テクノロジーを扱った論文を探索し、抄読する。</p> <p><b>【復習】(90分)</b></p> <p>当日の議論の内容について各自で復習する。</p>
5	春山幸志郎	<p><b>【運動学・運動力学的分析①】</b></p> <p>運動学・運動力学的分析（特に加速度計、3次元解析装置、床反力計）を用いた<u>中枢神経系疾患</u>の理学療法に関連する英語論文を抄読し、新たに検証すべき内容や方法、発展的取り組みについて議論する。</p>	演習	<p><b>【予習】(90分)</b></p> <p>運動学・運動力学的分析を扱った論文を探索し、抄読する。</p> <p><b>【復習】(90分)</b></p> <p>当日の議論の内容について各自で復習する。</p>
6	春山幸志郎	<p><b>【運動学・運動力学的分析②】</b></p> <p>運動学・運動力学的分析（特に動作筋電図）を用いた<u>中枢神経系疾患</u>の理学療法に関連する英語論文を抄読し、新たに検証すべき内容や方法、発展的取り組みについて議論する。</p>	演習	<p><b>【予習】(90分)</b></p> <p>運動学・運動力学的分析を扱った論文を探索し、抄読する。</p> <p><b>【復習】(90分)</b></p> <p>当日の議論の内容について各自で復習する。</p>
7	高橋容子	<p><b>【ニューロリハビリテーション治療①】</b></p> <p>ニューロリハビリテーション治療（特にニューロモデュレーション）を用いた<u>中枢神経系疾患</u>の理学療法に関連する英語論文を抄読し、新たに検証すべき内容や方法、発展的取り組みについて議論する。</p>	演習	<p><b>【予習】(90分)</b></p> <p>ニューロリハビリテーション治療を扱った論文を探索し、抄読する。</p> <p><b>【復習】(90分)</b></p> <p>当日の議論の内容について各自で復習する。</p>
8	高橋容子	<p><b>【ニューロリハビリテーション治療②】</b></p> <p>ニューロリハビリテーション治療（特にロボティクス）を用いた<u>中枢神経系疾患</u>の理学療法に関連する英語論文を抄読し、新た</p>	演習	<p><b>【予習】(90分)</b></p> <p>ニューロリハビリテーション治療を扱った論文を探索し、抄読する。</p>

## 別添資料4(新)

		に検証すべき内容や方法、発展的取り組みについて議論する。		【復習】(90分) 当日の議論の内容について各自で復習する。
9	藤野雄次	【ニューロリハビリテーション治療③】 ニューロリハビリテーション治療（特にVirtual reality、プリズム療法）を用いた高次脳機能障害に対する理学療法に関連する英語論文を抄読し、新たに検証すべき内容や方法、発展的取り組みについて議論する。	演習	【予習】(90分) ニューロリハビリテーション治療を扱った論文を探索し、抄読する。 【復習】(90分) 当日の議論の内容について各自で復習する。
10	藤野雄次	【工学的分析】 工学的な分析手法（特に視覚・体性感覚）を用いた中枢神経系疾患の理学療法に関連する英語論文を抄読し、新たに検証すべき内容や方法、発展的取り組みについて議論する。	演習	【予習】(90分) 工学的な分析手法を扱った論文を探索し、抄読する。 【復習】(90分) 当日の議論の内容について各自で復習する。
11	藤原俊之 松田雅弘 春山幸志郎 高橋容子 藤野雄次	【研究計画のプレゼンテーション①】 自身の研究テーマに関する論文をレビューし、立案した研究計画について議論する。	演習	【予習】(90分) 自身の研究テーマに関連する論文を探索し、抄読する。 【復習】(90分) 当日の議論の内容について各自で復習する。
12	藤原俊之 松田雅弘 春山幸志郎 高橋容子 藤野雄次	【研究計画のプレゼンテーション②】 自身の研究テーマに関する論文をレビューし、立案した研究計画について議論する。	演習	【予習】(90分) 自身の研究テーマに関連する論文を探索し、抄読する。 【復習】(90分) 当日の議論の内容について各自で復習する。
13	藤原俊之 松田雅弘 春山幸志郎 高橋容子 藤野雄次	【研究計画のプレゼンテーション③】 自身の研究テーマに関する論文をレビューし、立案した研究計画について議論する。	演習	【予習】(90分) 自身の研究テーマに関連する論文を探索し、抄読する。 【復習】(90分) 当日の議論の内容について各自で復習する。
14	藤原俊之 松田雅弘 春山幸志郎 高橋容子 藤野雄次	【研究計画のプレゼンテーション④】 自身の研究テーマに関する論文をレビューし、立案した研究計画について議論する。	演習	【予習】(90分) 自身の研究テーマに関連する論文を探索し、抄読する。 【復習】(90分) 当日の議論の内容について各自で復習する。
15	藤原俊之	【まとめ】	演習	【予習】(90分)

## 別添資料4(新)

	松田雅弘 春山幸志郎 高橋容子 藤野雄次	本特講演習のまとめを行う。学生が立案した研究計画を教員が講評するとともに、全体でディスカッションする。	これまでの授業やフィードバックの内容を総復習し、知識を整理する。 <b>【復習】</b> (90分) 当日の議論の内容について各自で復習する。
--	-------------------------------	---	---

## 別添資料4(新)

科目名	運動器・スポーツ理学療法学特講		授業形態	講義
英語科目名	Advanced Lecture on Physical Therapy for Musculoskeletal and Sports Disorders		開講学期	通年
対象学年	1年		単位数	2
代表教員	相澤純也			
担当教員	池田浩、相澤純也、飛山義憲、宮森隆行			
<b>授業概要（全体内容）</b>				
運動器・スポーツ理学療法学における新たな理論構築や方法論の展開に資する高度な専門知識や治療技術を学ぶために、関節疾患を中心とした運動器疾患や脊椎、下肢を中心としたスポーツ外傷・障害の発症メカニズムや病態の理解を深めるとともに、関節疾患やスポーツ外傷・障害に関連する臨床的課題について最新の研究を探求し、臨床的・社会的・運動生理学的な視点からの批判的な討議を通して、最新知見についての理解を深める。				
<b>達成目標</b>				
運動器・スポーツ理学療法の特徴を説明することができる。 関節疾患やスポーツ外傷・障害の発症メカニズムや病態について最新の研究動向を説明することができる。 運動器・スポーツ理学療法に関連する臨床的課題について説明することができる。				
<b>ディプロマ・ポリシー（学位授与の方針）との関連</b>				
理学 DP-1				
<b>履修上の注意、履修要件</b>				
<ul style="list-style-type: none"> <li>各回の授業前後には必ず予習、復習を行うこと。</li> <li>授業中や授業終了後、わからない部分があれば、必ず担当教員に質問すること。</li> <li>授業中は積極的に発言すること。</li> </ul>				
<b>成績評価の方法</b>				
授業中の課題を評価し（100%）、最終評価を行う。				
<b>試験・課題等に対するフィードバック方法</b>				
授業内や Juntendo Passport を使用してフィードバックを返却する。				
<b>テキスト・参考文献</b>				
適宜、資料を配布する。				
<b>連絡先・オフィスアワー</b>				
事前メールにて随時対応。 メールアドレス：j.aizawa.ue@juntendo.ac.jp				
<b>授業計画【授業内容と授業時間外の指導等】</b>				
授業回	担当者	授業内容	授業方法	予習・復習・レポート課題等と学習時間
1	池田浩	<u>変形性膝関節症について、最新の研究論文から最新かつ高度な医学的診断、検査方法、治療について学ぶ</u>	講義	<b>【予習】（90分）</b> <u>変形性膝関節症に対する現状の医学的診断、検査方法、治療について予習する</u> <b>【復習】（90分）</b> 授業の内容を復習する
2	池田浩	<u>前十字靭帯損傷について、最新の研究論文から最新かつ高度な医学的診断、検査方法、</u>	講義	<b>【予習】（90分）</b> 前十字靭帯損傷に対する現状

別添資料4(新)

		<u>治療について学ぶ</u>		<u>の医学的診断、検査方法、治療について予習する</u> 【復習】(90分) 授業の内容を復習する
3	池田浩	<u>下肢の疲労骨折について、最新の研究論文から最新かつ高度な医学的診断、検査方法、治療について学ぶ</u>	講義	【予習】(90分) <u>下肢の疲労骨折に対する現状の医学的診断、検査方法、治療について予習する</u> 【復習】(90分) 授業の内容を復習する
4	相澤純也	<u>膝関節のスポーツ外傷・障害(前十字靭帯損傷、側副靭帯損傷、半月板・軟骨損傷、膝蓋腱症など)の発症メカニズムや病態について先行研究から理解を深め、これらの疾患に対する最新かつ高度な理学療法を学ぶ</u>	講義	【予習】(90分) <u>膝関節のスポーツ外傷・障害(前十字靭帯損傷、側副靭帯損傷、半月板・軟骨損傷、膝蓋腱症など)の発症メカニズムや病態についてこれまでに学習してきたことを復習して臨む</u> 【復習】(90分) 授業の内容を復習する
5	相澤純也	<u>第4回で学習した膝関節のスポーツ外傷・障害(前十字靭帯損傷、側副靭帯損傷、半月板・軟骨損傷、膝蓋腱症など)に対する最新かつ高度な理学療法においても解決できていない課題を理解する</u>	講義	【予習】(90分) <u>第4回で学習した最新かつ高度な理学療法について、どのような課題があるかを検討する</u> 【復習】(90分) 授業の内容を復習する
6	相澤純也	<u>第5回で学習した膝関節のスポーツ外傷・障害(前十字靭帯損傷、側副靭帯損傷、半月板・軟骨損傷、膝蓋腱症など)に対する最新かつ高度な理学療法において残存する課題を解決するための新たな理学療法の理論、方法について学ぶ</u>	講義	【予習】(90分) <u>第5回で学習した最新かつ高度な理学療法において解決できていない課題をまとめる</u> 【復習】(90分) 授業の内容を復習する
7	相澤純也	<u>第6回で学習した膝関節のスポーツ外傷・障害(前十字靭帯損傷、側副靭帯損傷、半月板・軟骨損傷、膝蓋腱症など)に対する新たな理学療法の理論、方法を展開するための研究を学ぶ</u>	講義	【予習】(90分) <u>第6回で学習した新たな理学療法の理論、方法についてまとめる</u> 【復習】(90分) 授業の内容を復習する
8	飛山義憲	<u>変形性膝関節症の発症メカニズムや病態、また変形性膝関節症に対する手術後の病態について先行研究から理解を深め、これらに対する最新かつ高度な理学療法を学ぶ</u>	講義	【予習】(90分) <u>変形性膝関節症の発症メカニズムや病態、変形性膝関節症に対する手術後の病態について</u>

別添資料4(新)

				<p>これまでに学習してきたことを復習して臨む</p> <p>【復習】(90分)</p> <p>授業の内容を復習する</p>
9	飛山義憲	<p>第8回で学習した変形性膝関節症およびその術後に対する最新かつ高度な理学療法においても解決できていない課題を理解する</p>	講義	<p>【予習】(90分)</p> <p>第8回で学習した最新かつ高度な理学療法について、どのような課題があるかを検討する</p> <p>【復習】(90分)</p> <p>授業の内容を復習する</p>
10	飛山義憲	<p>第9回で学習した変形性膝関節症およびその術後に対する最新かつ高度な理学療法において残存する課題を解決するための新たな理学療法の理論、方法について学ぶ</p>	講義	<p>【予習】(90分)</p> <p>第9回で学習した最新かつ高度な理学療法において解決できていない課題をまとめる</p> <p>【復習】(90分)</p> <p>授業の内容を復習する</p>
11	飛山義憲	<p>第10回で学習した変形性膝関節症およびその術後に対する新たな理学療法の理論、方法を展開するための研究を学ぶ</p>	講義	<p>【予習】(90分)</p> <p>第10回で学習した新たな理学療法の理論、方法についてまとめる</p> <p>【復習】(90分)</p> <p>授業の内容を復習する</p>
12	宮森隆行	<p>脊椎の運動器疾患(頸椎、腰椎椎間板ヘルニア)、足部のスポーツ外傷・障害(足関節捻挫)の発症メカニズムや病態について先行研究から理解を深め、これらの疾患に対する最新かつ高度な理学療法を学ぶ</p>	講義	<p>【予習】(90分)</p> <p>脊椎の運動器疾患(頸椎、腰椎椎間板ヘルニア)、足部のスポーツ外傷・障害(足関節捻挫)の発症メカニズムや病態、変形性膝関節症に対する手術後の病態についてこれまでに学習してきたことを復習して臨む</p> <p>【復習】(90分)</p> <p>授業の内容を復習する</p>
13	宮森隆行	<p>第12回で学習した脊椎の運動器疾患(頸椎、腰椎椎間板ヘルニア)、足部のスポーツ外傷・障害(足関節捻挫)に対する最新かつ高度な理学療法においても解決できていない課題を理解する</p>	講義	<p>【予習】(90分)</p> <p>第12回で学習した最新かつ高度な理学療法について、どのような課題があるかを検討する</p> <p>【復習】(90分)</p> <p>授業の内容を復習する</p>
14	宮森隆行	<p>第13回で学習した脊椎の運動器疾患(頸椎、腰椎椎間板ヘルニア)、足部のスポーツ外傷・障害(足関節捻挫)に対する最新かつ高</p>	講義	<p>【予習】(90分)</p> <p>第13回で学習した最新かつ高度な理学療法において解決で</p>

別添資料4(新)

		<u>度な理学療法において残存する課題を解決するための新たな理学療法の理論、方法について学ぶ</u>		<u>きていない課題をまとめる</u> 【復習】(90分) 授業の内容を復習する
15	宮森隆行	<u>第14回で学習した脊椎の運動器疾患(頸椎、腰椎椎間板ヘルニア)、足部のスポーツ外傷・障害(足関節捻挫)に対する新たな理学療法の理論、方法を展開するための研究を学ぶ</u>	講義	【予習】(90分) 第14回で学習した新たな理学療法の理論、方法についてまとめる 【復習】(90分) 授業の内容を復習する

## 別添資料4(新)

科目名	運動器・スポーツ理学療法学特講演習 I		授業形態	演習
英語科目名	Advanced Seminar on Physical Therapy for Musculoskeletal and Sports Disorders I		開講学期	前期
対象学年	2年		単位数	2
代表教員	飛山義憲			
担当教員	池田浩、相澤純也、飛山義憲、宮森隆行			
<b>授業概要（全体内容）</b>				
<p>運動器・スポーツ理学療法領域に関連する学術研究を積極的に分析し、研究課題に関連した専門的知識や研究遂行技術を学ぶため、医学的診断方法から理学療法にわたる最新の研究論文を広く検索し、研究論文の批判的吟味を行い、学術的専門知識と研究のトレンドについて理解を深める。これらの理解を通し、各自の研究に応用できる運動器・スポーツ理学療法領域の研究を遂行する。</p> <p>授業は演習形態で行い、各自の研究課題に関連する最新の研究論文に関する研究方法、解析方法、結果の解釈について論理的解釈に基づく討議を行うとともに、図表を含む研究成果発表に必要な技術を学修し、研究遂行技術を養う。</p>				
<b>達成目標</b>				
<ul style="list-style-type: none"> <li>・運動器・スポーツ理学療法に関連する最新の研究論文を広く検索することができる。</li> <li>・運動器・スポーツ理学療法に関連する研究論文の批判的吟味を行うことができる。</li> <li>・討議の資料作成を通して図表の作成、成果発表ができる。</li> </ul>				
<b>ディプロマ・ポリシー（学位授与の方針）との関連</b>				
理学 DP-1				
<b>履修上の注意、履修要件</b>				
<ul style="list-style-type: none"> <li>・運動器・スポーツ理学療法学特講の復習を十分に行い、各回の授業前後には必ず予習、復習を行うこと。</li> <li>・授業中や授業終了後、わからない部分があれば、必ず担当教員に質問すること。</li> <li>・授業中は積極的に発言すること。</li> </ul>				
<b>成績評価の方法</b>				
授業中の課題を評価し（100%）、最終評価を行う。				
<b>試験・課題等に対するフィードバック方法</b>				
授業内や Juntendo Passport を使用してフィードバックを返却する。				
<b>テキスト・参考文献</b>				
適宜、資料を配布する。				
<b>連絡先・オフィスアワー</b>				
事前メールにて随時対応。				
メールアドレス：y.hiyama.cj@juntendo.ac.jp				
<b>授業計画【授業内容と授業時間外の指導等】</b>				
授業回	担当者	授業内容	授業方法	予習・復習・レポート課題等と学習時間
1	池田浩	<u>変形性膝関節症に対する医学的診断や検査方法、治療に関連する最新の英語論文の検索方法を学び、検索した英語論文を購読し討議する</u>	演習	<p>【予習】（90分）</p> <p><u>変形性膝関節症に対する最新の医学的診断や検査方法、治療について復習して臨む</u></p> <p>【復習】（90分）</p> <p>授業の内容を復習する。</p>

別添資料4(新)

2	池田浩	<u>前十字靭帯損傷に対する医学的診断や検査方法、治療に関連する最新の英語論文の検索方法を学び、検索した英語論文を購読し討議する</u>	演習	【予習】(90分) 前十字靭帯損傷に対する最新の医学的診断や検査方法、治療について復習して臨む 【復習】(90分) 授業の内容を復習する。
3	池田浩	<u>下肢の疲労骨折に対する医学的診断や検査方法、治療に関連する最新の英語論文の検索方法を学び、検索した英語論文を購読し討議する</u>	演習	【予習】(90分) 下肢の疲労骨折に対する最新の医学的診断や検査方法、治療について復習して臨む 【復習】(90分) 授業の内容を復習する。
4	相澤純也	<u>膝関節のスポーツ外傷・障害(前十字靭帯損傷、側副靭帯損傷、半月板・軟骨損傷、膝蓋腱症など)に対する理学療法に関連する最新の英語論文の検索方法を学び、検索した英語論文を購読する</u>	演習	【予習】(90分) 膝関節のスポーツ外傷・障害(前十字靭帯損傷、側副靭帯損傷、半月板・軟骨損傷、膝蓋腱症など)に対する最新の理学療法について復習して臨む 【復習】(90分) 授業の内容を復習する。
5	相澤純也	<u>第4回で購読した英語論文を批判的に吟味する方法について理解し、実際に英語論文の批判的吟味を行う</u>	演習	【予習】(90分) 第4回で購読した英語論文について要約しまとめる 【復習】(90分) 授業の内容を復習する。
6	相澤純也	<u>第5回で批判的吟味を行った英語論文について、その内容および理学療法の理論や方法を展開するための自身の研究や今後の研究について報告するための資料作成を行う</u>	演習	【予習】(90分) 第5回で批判的吟味を行った英語論文について、その批判的吟味の内容をまとめる 【復習】(90分) 授業の内容を復習する。
7	相澤純也	<u>第6回で作成した資料を用いて最新の英語論文についての批判的吟味および理学療法の理論や方法を展開する研究の発展性について発表する</u>	演習	【予習】(90分) 第6回で作成した発表資料を完成させ、発表準備を行う 【復習】(90分) 授業の内容を復習する。
8	飛山義憲	<u>変形性膝関節症およびその術後に対する理学療法に関連する最新の英語論文の検索方法を学び、検索した英語論文を購読する</u>	演習	【予習】(90分) 変形性膝関節症およびその術後に対する最新の理学療法について復習して臨む 【復習】(90分)

別添資料4(新)

				授業の内容を復習する。
9	飛山義憲	<u>第 8 回で購読した英語論文を批判的に吟味する方法について理解し、実際に英語論文の批判的吟味を行う</u>	演習	【予習】(90分) 第 8 回で購読した英語論文について要約しまとめる 【復習】(90分) 授業の内容を復習する。
10	飛山義憲	<u>第 9 回で批判的吟味を行った英語論文について、その内容および理学療法の理論や方法を展開するための自身の研究や今後の研究について報告するための資料作成を行う</u>	演習	【予習】(90分) 第 9 回で批判的吟味を行った英語論文について、その批判的吟味の内容をまとめる 【復習】(90分) 授業の内容を復習する。
11	飛山義憲	<u>第 10 回で作成した資料を用いて最新の英語論文についての批判的吟味および理学療法の理論や方法を展開する研究の発展性について発表する</u>	演習	【予習】(90分) 第 10 回で作成した発表資料を完成させ、発表準備を行う 【復習】(90分) 授業の内容を復習する。
12	宮森隆行	<u>脊椎の運動器疾患（頸椎、腰椎椎間板ヘルニア）、足部のスポーツ外傷・障害（足関節捻挫）に対する理学療法に関連する最新の英語論文の検索方法を学び、検索した英語論文を購読する</u>	演習	【予習】(90分) 脊椎の運動器疾患（頸椎、腰椎椎間板ヘルニア）、足部のスポーツ外傷・障害（足関節捻挫）に対する最新の理学療法について復習して臨む 【復習】(90分) 授業の内容を復習する。
13	宮森隆行	<u>第 12 回で購読した英語論文を批判的に吟味する方法について理解し、実際に英語論文の批判的吟味を行う</u>	演習	【予習】(90分) 第 12 回で購読した英語論文について要約しまとめる 【復習】(90分) 授業の内容を復習する。
14	宮森隆行	<u>第 13 回で批判的吟味を行った英語論文について、その内容および理学療法の理論や方法を展開するための自身の研究や今後の研究について報告するための資料作成を行う</u>	演習	【予習】(90分) 第 13 回で批判的吟味を行った英語論文について、その批判的吟味の内容をまとめる 【復習】(90分) 授業の内容を復習する。
15	宮森隆行	<u>第 14 回で作成した資料を用いて最新の英語論文についての批判的吟味および理学療法の理論や方法を展開する研究の発展性について発表する</u>	演習	【予習】(90分) 第 14 回で作成した発表資料を完成させ、発表準備を行う 【復習】(90分) 授業の内容を復習する。

## 別添資料4(新)

科目名	運動器・スポーツ理学療法学特講演習Ⅱ	授業形態	演習	
英語科目名	Advanced Seminar on Physical Therapy for Musculoskeletal and Sports Disorders II	開講学期	後期	
対象学年	2年	単位数	2	
代表教員	宮森隆行			
担当教員	池田浩、相澤純也、飛山義憲、宮森隆行			
<b>授業概要（全体内容）</b>				
<p>運動器・スポーツ理学療法領域に関連する学術研究を積極的に分析し、研究課題に関連した専門的知識や研究遂行技術を学ぶため、最新の診療ガイドラインを広く検索し、学術的専門知識を深める。また、診療ガイドラインの内容から今後の臨床的課題を理解し、その臨床的課題を解決するための研究デザインや、方法、解析方法を考察し、論理的解釈に基づく討議を行い、各自の研究に応用できる運動器・スポーツ理学療法領域の研究を遂行する能力を養成する。</p> <p>授業は演習形態で行い、診療ガイドラインから推察される今後の臨床的課題から、自身の研究に応用できる研究デザインや考察についてまとめる。サマリーやレビュー論文のまとめを通して研究課題に関連した専門的知識や研究探索能力を身につける。</p>				
<b>達成目標</b>				
<ul style="list-style-type: none"> <li>・運動器・スポーツ理学療法に関連する最新の診療ガイドラインを広く検索することができる。</li> <li>・診療ガイドラインの内容から今後の臨床的課題を理解し、解決するための研究デザインや方法、解析方法を提案できる。</li> <li>・討議の資料作成を通して図表の作成、成果発表ができる。</li> </ul>				
<b>ディプロマ・ポリシー（学位授与の方針）との関連</b>				
理学 DP-1				
<b>履修上の注意、履修要件</b>				
<ul style="list-style-type: none"> <li>・運動器・スポーツ理学療法学特講、運動器・スポーツ理学療法学特講演習Ⅰの復習を十分に行い、各回の授業前後には必ず予習、復習を行うこと。</li> <li>・授業中や授業終了後、わからない部分があれば、必ず担当教員に質問すること。</li> <li>・授業中は積極的に発言すること。</li> </ul>				
<b>成績評価の方法</b>				
授業中の課題を評価し（100%）、最終評価を行う。				
<b>試験・課題等に対するフィードバック方法</b>				
授業内や Juntendo Passport を使用してフィードバックを返却する。				
<b>テキスト・参考文献</b>				
適宜、資料を配布する。				
<b>連絡先・オフィスアワー</b>				
事前メールにて随時対応。				
メールアドレス：y.hiyama.cj@juntendo.ac.jp				
<b>授業計画【授業内容と授業時間外の指導等】</b>				
授業回	担当者	授業内容	授業方法	予習・復習・レポート課題等と学習時間
1	池田浩	<u>変形性膝関節症に対する医学的診断や検査方法、治療に関連する国内外の最新診療ガイドラインを購読し、専門的知識を深める</u>	演習	【予習】（90分） <u>変形性膝関節症に対する診療ガイドラインを検索し内容を</u>

別添資料4(新)

				<p>まとめる</p> <p>【復習】(90分)</p> <p>授業の内容を復習する。</p>
2	池田浩	<p><u>前十字靭帯に対する医学的診断や検査方法、治療に関連する国内外の最新診療ガイドラインを購読し、専門的知識を深める</u></p>	演習	<p>【予習】(90分)</p> <p><u>前十字靭帯に対する診療ガイドラインを検索し内容をまとめる</u></p> <p>【復習】(90分)</p> <p>授業の内容を復習する。</p>
3	池田浩	<p><u>下肢の疲労骨折に対する医学的診断や検査方法、治療に関連する国内外の最新診療ガイドラインを購読し、専門的知識を深める</u></p>	演習	<p>【予習】(90分)</p> <p><u>下肢の疲労骨折に対する診療ガイドラインを検索し内容をまとめる</u></p> <p>【復習】(90分)</p> <p>授業の内容を復習する。</p>
4	相澤純也	<p><u>膝関節のスポーツ外傷・障害(前十字靭帯損傷、側副靭帯損傷、半月板・軟骨損傷、膝蓋腱症など)に対する理学療法に関連する国内外の最新診療ガイドラインの検索方法を学び、購読し専門的知識を深める</u></p>	演習	<p>【予習】(90分)</p> <p><u>膝関節のスポーツ外傷・障害(前十字靭帯損傷、側副靭帯損傷、半月板・軟骨損傷、膝蓋腱症など)に対する理学療法に関連する診療ガイドラインを検索し内容をまとめる</u></p> <p>【復習】(90分)</p> <p>授業の内容を復習する。</p>
5	相澤純也	<p><u>第4回で購読した診療ガイドラインの内容から、臨床的課題を抜粋し討議する</u></p>	演習	<p>【予習】(90分)</p> <p><u>第4回で購読した診療ガイドラインを要約しまとめる</u></p> <p>【復習】(90分)</p> <p>授業の内容を復習する。</p>
6	相澤純也	<p><u>第5回で討議した臨床的課題を解決するための研究デザインや方法、解析方法を立案し、発表資料へまとめる</u></p>	演習	<p>【予習】(90分)</p> <p><u>第5回で診療ガイドラインから抜粋した臨床的課題についてまとめる</u></p> <p>【復習】(90分)</p> <p>授業の内容を復習する。</p>
7	相澤純也	<p><u>第6回で作成した資料を用いて臨床的課題を解決するための研究デザインや方法、解析方法を発表する</u></p>	演習	<p>【予習】(90分)</p> <p><u>第6回で立案した臨床的課題を解決するための研究デザインや方法、解析方法についての発表資料を完成させ、発表準備を行う</u></p>

別添資料4(新)

				【復習】(90分) 授業の内容を復習する。
8	飛山義憲	<u>変形性膝関節症およびその術後に対する理学療法に関連する国内外の最新診療ガイドラインの検索方法を学び、購読し専門的知識を深める</u>	演習	【予習】(90分) <u>変形性膝関節症およびその術後に対する理学療法に関連する診療ガイドラインを検索し内容をまとめる</u> 【復習】(90分) 授業の内容を復習する。
9	飛山義憲	<u>第8回で購読した診療ガイドラインの内容から、臨床的課題を抜粋し討議する</u>	演習	【予習】(90分) <u>第8回で購読した診療ガイドラインを要約しまとめる</u> 【復習】(90分) 授業の内容を復習する。
10	飛山義憲	<u>第9回で討議した臨床的課題を解決するための研究デザインや方法、解析方法を立案し、発表資料へまとめる</u>	演習	【予習】(90分) <u>第9回で診療ガイドラインから抜粋した臨床的課題についてまとめる</u> 【復習】(90分) 授業の内容を復習する。
11	飛山義憲	<u>第10回で作成した資料を用いて臨床的課題を解決するための研究デザインや方法、解析方法を発表する</u>	演習	【予習】(90分) <u>第10回で立案した臨床的課題を解決するための研究デザインや方法、解析方法についての発表資料を完成させ、発表準備を行う</u> 【復習】(90分) 授業の内容を復習する。
12	宮森隆行	<u>脊椎の運動器疾患(頸椎、腰椎椎間板ヘルニア)、足部のスポーツ外傷・障害(足関節捻挫)に対する理学療法に関連する国内外の最新診療ガイドラインの検索方法を学び、購読し専門的知識を深める</u>	演習	【予習】(90分) <u>脊椎の運動器疾患(頸椎、腰椎椎間板ヘルニア)、足部のスポーツ外傷・障害(足関節捻挫)に対する理学療法に関連する診療ガイドラインを検索し内容をまとめる</u> 【復習】(90分) 授業の内容を復習する。
13	宮森隆行	<u>第12回で購読した診療ガイドラインの内容から、臨床的課題を抜粋し討議する</u>	演習	【予習】(90分) <u>第12回で購読した診療ガイドラインを要約しまとめる</u> 【復習】(90分)

## 別添資料4(新)

				授業の内容を復習する。
14	宮森隆行	<u>第13回で討議した臨床的課題を解決するための研究デザインや方法、解析方法を立案し、発表資料へまとめる</u>	演習	<p>【予習】(90分)</p> <p><u>第13回で診療ガイドラインから抜粋した臨床的課題についてまとめる</u></p> <p>【復習】(90分)</p> <p>授業の内容を復習する。</p>
15	宮森隆行	<u>第14回で作成した資料を用いて臨床的課題を解決するための研究デザインや方法、解析方法を発表する</u>	演習	<p>【予習】(90分)</p> <p><u>第14回で立案した臨床的課題を解決するための研究デザインや方法、解析方法についての発表資料を完成させ、発表準備を行う</u></p> <p>【復習】(90分)</p> <p>授業の内容を復習する。</p>

## 別添資料4(新)

科目名	内部機能障害理学療法学特講		授業形態	講義
英語科目名	Advanced Lecture on Physical Therapy for Internal Disorders		開講学期	通年
対象学年	1年		単位数	2
代表教員	高橋哲也			
担当教員	高橋哲也、森沢知之、齊藤正和			
授業概要 (全体内容)	内部障害理学療法学における新たな理論構築や方法論の展開に資する高度な専門知識や治療技術を学ぶために、内部障害の原因となる各種疾患についての病態の理解を深めるとともに、内部障害に関連する臨床的課題について最新の研究を探究し、臨床的・社会的・運動生理学的な視点からの批判的な討議を通して、最新知見についての理解を深める。			
達成目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>内部障害理学療法の最新研究の特徴を説明することができる。</li> <li>内部障害の原因となる各種疾患について最新の研究動向を説明することができる。</li> <li>内部障害理学療法に関連する臨床的課題について説明することができる。</li> </ul>			
ディプロマ・ポリシー (学位授与の方針) との関連	理学 DP-1			
履修上の注意、履修要件	<ul style="list-style-type: none"> <li>各回の講義前後には必ず予習、復習を行うこと。</li> <li>講義中や講義終了後、わからない部分があれば、必ず担当教員に質問すること。</li> <li>講義中は積極的に発言すること。</li> </ul>			
成績評価の方法	授業中の課題を評価し (100%)、最終評価を行う			
試験・課題等に対するフィードバック方法	授業内や Juntendo Passport を使用してフィードバックを返却する。			
テキスト・参考文献	適宜、資料を配布する。			
連絡先・オフィスアワー	<ul style="list-style-type: none"> <li>事前メールにて随時対応。</li> </ul> メールアドレス : te-takahashi@juntendo.ac.jp			
授業計画【授業内容と授業時間外の指導等】				
授業回	担当者	授業内容	授業方法	予習・復習・レポート課題等と学習時間
1	高橋 哲也	<u>動脈硬化疾患の発症メカニズムや病態、また冠動脈バイパス術前術後の病態について</u> 先行研究から理解を深め、これらに対する最新かつ高度な理学療法を学ぶ	講義	<b>【予習】 (90 分)</b> <u>動脈硬化疾患の発症メカニズムや病態、また冠動脈バイパス術前術後の病態についてこれまでに学習してきたことを復習して臨む</u> <b>【復習】 (90 分)</b> 授業の内容を復習する
2	高橋 哲也	<u>心不全の発症メカニズムや病態について</u> 先行研究から理解を深め、これらに対する最	講義	<b>【予習】 (90 分)</b> <u>心不全の発症メカニズムや病</u>

別添資料4(新)

		<u>新かつ高度な理学療法を学ぶ</u>		態についてこれまでに学習してきたことを復習して臨む 【復習】(90分) 授業の内容を復習する
3	高橋 哲也	<u>敗血症の発症メカニズムや病態、評価法や治療内容について先行研究から理解を深め、これらに対する最新かつ高度な理学療法を学ぶ</u>	講義	【予習】(90分) <u>敗血症の発症メカニズムや病態、評価法や治療内容についてこれまでに学習してきたことを復習して臨む</u> 【復習】(90分) 授業の内容を復習する
4	高橋 哲也	<u>手術侵襲が身体各所に及ぼす影響のメカニズム、評価法や治療内容について先行研究から理解を深め、これらに対する最新かつ高度な理学療法を学ぶ</u>	講義	【予習】(90分) <u>手術侵襲が身体各所に及ぼす影響のメカニズム、評価法や治療内容について、これまでに学習してきたことを復習して臨む</u> 【復習】(90分) 授業の内容を復習する
5	高橋 哲也	<u>循環器疾患や集中治療分野において、最新かつ高度な理学療法においても解決できていない課題を理解する</u>	講義	【予習】(90分) <u>循環器疾患や集中治療分野において、解決できていない課題について、これまでに学習してきたことを復習して臨む</u> 【復習】(90分) 授業の内容を復習する
6	森沢 知之	<u>呼吸器疾患の発症メカニズムや病態、また治療後の病態について先行研究から理解を深め、これらに対する最新かつ高度な理学療法を学ぶ</u>	講義	【予習】(90分) <u>呼吸器疾患の発症メカニズムや病態、また治療後の病態について、これまでに学習してきたことを復習して臨む</u> 【復習】(90分) 授業の内容を復習する
7	森沢 知之	<u>入院関連能力低下の発症メカニズムや予防法について先行研究から理解を深め、これらに対する最新かつ高度な理学療法を学ぶ</u>	講義	【予習】(90分) <u>入院関連能力低下の発症メカニズムや予防法について、これまでに学習してきたことを復習して臨む</u> 【復習】(90分) 授業の内容を復習する
8	森沢 知之	<u>内部障害患者の回復期リハビリテーション</u>	講義	【予習】(90分)

別添資料4(新)

		<u>について、先行研究から理解を深め、これらに対する最新かつ高度な理学療法を学ぶ</u>		内部障害患者の回復期リハビリテーションについて、これまでに学習してきたことを復習して臨む 【復習】(90分) 授業の内容を復習する
9	森沢 知之	<u>呼吸筋力低下の発症メカニズムや病態、また呼吸筋トレーニングの効果のメカニズムについて先行研究から理解を深め、これらに対する最新かつ高度な理学療法を学ぶ</u>	講義	【予習】(90分) <u>呼吸筋力低下の発症メカニズムや病態、また呼吸筋トレーニングの効果のメカニズムについて、これまでに学習してきたことを復習して臨む</u> 【復習】(90分) 授業の内容を復習する
10	森沢 知之	<u>遠隔リハビリテーションについて先行研究から理解を深め、これらに対する最新かつ高度な理学療法を学ぶ</u>	講義	【予習】(90分) <u>遠隔リハビリテーションについて、これまでに学習してきたことを復習して臨む</u> 【復習】(90分) 授業の内容を復習する
11	齊藤 正和	<u>慢性腎臓病の発症メカニズムや病態、また透析について先行研究から理解を深め、これらに対する最新かつ高度な理学療法を学ぶ</u>	講義	【予習】(90分) <u>慢性腎臓病の発症メカニズムや病態、また透析について、これまでに学習してきたことを復習して臨む</u> 【復習】(90分) 授業の内容を復習する
12	齊藤 正和	<u>腎疾患合併症の発症メカニズムや病態、また治療について先行研究から理解を深め、これらに対する最新かつ高度な理学療法を学ぶ</u>	講義	【予習】(90分) <u>腎疾患合併症の発症メカニズムや病態、また治療について、これまでに学習してきたことを復習して臨む</u> 【復習】(90分) 授業の内容を復習する
13	齊藤 正和	<u>内部障害患者の生活期リハビリテーションについて、先行研究から理解を深め、これらに対する最新かつ高度な理学療法を学ぶ</u>	講義	【予習】(90分) <u>内部障害患者の生活期リハビリテーションについて、これまでに学習してきたことを復習して臨む</u> 【復習】(90分) 授業の内容を復習する

## 別添資料4(新)

14	齊藤 正和	<u>糖尿病の発症メカニズムや病態、合併症の病態について先行研究から理解を深め、これらに対する最新かつ高度な理学療法を学ぶ</u>	講義	<p>【予習】(90分)  <u>糖尿病の発症メカニズムや病態、合併症の病態について、これまでに学習してきたことを復習して臨む</u></p> <p>【復習】(90分)            授業の内容を復習する</p>
15	齊藤 正和	<u>サルコペニア・フレイルの発症メカニズムや病態、また予後への影響について先行研究から理解を深め、これらに対する最新かつ高度な理学療法を学ぶ</u>	講義	<p>【予習】(90分)  <u>サルコペニア・フレイルの発症メカニズムや病態、また予後への影響について、これまでに学習してきたことを復習して臨む</u></p> <p>【復習】(90分)            授業の内容を復習する</p>

## 別添資料4(新)

科目名	内部機能障害理学療法学特講演習 I		授業形態	演習
英語科目名	Advanced Seminar on Physical Therapy for Internal Disorders I		開講学期	前期
対象学年	2年		単位数	2
代表教員	森沢知之			
担当教員	高橋哲也、森沢知之、齊藤正和			
<b>授業概要（全体内容）</b>				
<p>内部障害理学療法領域に関連する学術研究を積極的に分析し、研究課題に関連した専門的知識や研究遂行技術を学ぶため、最新の研究論文を広く検索し、研究論文の批判的吟味を行い、学術的専門知識と研究のトレンドについて理解を深める。また、自身の研究課題に関連するトピックスについて、研究方法、解析方法、結果の解釈について論理的解釈に基づく討議を行い、各自の研究に応用できる内部障害理学療法領域の研究を遂行する能力を養成する。</p> <p>授業は演習形態で行い、自身の研究の考察に生きる内容についてまとめる。討議の資料作成を通して図表の作成方法など研究成果発表に必要な技術を学修することで、汎用性の高いテクニックを身につける。</p>				
<b>達成目標</b>				
<ul style="list-style-type: none"> <li>内部障害理学療法領域に関連する最新の研究論文を広く検索することができる。</li> <li>内部障害理学療法領域に関連する研究論文の批判的吟味を行うことができる</li> <li>討議の資料作成を通して図表の作成、成果発表ができる。</li> </ul>				
<b>ディプロマ・ポリシー（学位授与の方針）との関連</b>				
理学 DP-1				
<b>履修上の注意、履修要件</b>				
<ul style="list-style-type: none"> <li>各回の講義前後には必ず予習、復習を行うこと。</li> <li>講義中や講義終了後、わからない部分があれば、必ず担当教員に質問すること。</li> <li>講義中は積極的に発言すること。</li> </ul>				
<b>成績評価の方法</b>				
授業中の課題を評価し（100%）、最終評価を行う				
<b>試験・課題等に対するフィードバック方法</b>				
授業内や Juntendo Passport を使用してフィードバックを返却する。				
<b>テキスト・参考文献</b>				
適宜、資料を配布する。				
<b>連絡先・オフィスアワー</b>				
<ul style="list-style-type: none"> <li>事前メールにて随時対応。</li> </ul> メールアドレス：t.morisawa.ul@juntendo.ac.jp				
<b>授業計画【授業内容と授業時間外の指導等】</b>				
授業回	担当者	授業内容	授業方法	予習・復習・レポート課題等と学習時間
1	高橋 哲也	<u>循環器疾患や集中治療の理学療法に関連する最新の英語論文の検索方法を学び、検索した英語論文を購読する</u>	演習	<b>【予習】</b> (90 分) <u>循環器疾患や集中治療に対する最新の理学療法について復習して臨む</u> <b>【復習】</b> (90 分) 授業の内容を復習する
2	高橋 哲也	<u>第 1 回で購読した英語論文を批判的に吟味</u>	演習	<b>【予習】</b> (90 分)

別添資料4(新)

		<u>する方法について理解し、実際に英語論文の批判的吟味を行う</u>		第 1 回で購読した英語論文について要約しまとめる 【復習】(90分) 授業の内容を復習する
3	高橋 哲也	<u>第 2 回で批判的吟味を行った英語論文について、その内容および理学療法の理論や方法を展開するための自身の研究や今後の研究について報告するための資料作成を行う</u>	演習	【予習】(90分) 第 2 回で批判的吟味を行った英語論文について、その批判的吟味の内容をまとめる 【復習】(90分) 授業の内容を復習する
4	高橋 哲也	<u>第 3 回で作成した資料を用いて最新の英語論文についての批判的吟味および理学療法の理論や方法を展開する研究の発展性について発表する</u>	演習	【予習】(90分) 第 3 回で作成した発表資料を完成させ、発表準備を行う 【復習】(90分) 授業の内容を復習する
5	高橋 哲也	<u>第 4 回で発表した資料を用いて新しい理学療法の理論や方法について議論する</u>	演習	【予習】(90分) 第 4 回で発表した資料を再度確認する 【復習】(90分) 授業の内容を復習する
6	森沢 知之	<u>内部障害患者の回復期理学療法に関連する最新の英語論文の検索方法を学び、検索した英語論文を購読する</u>	演習	【予習】(90分) 内部障害患者の最新の回復期理学療法について復習して臨む 【復習】(90分) 授業の内容を復習する
7	森沢 知之	<u>第 6 回で購読した英語論文を批判的に吟味する方法について理解し、実際に英語論文の批判的吟味を行う</u>	演習	【予習】(90分) 第 6 回で購読した英語論文について要約しまとめる 【復習】(90分) 授業の内容を復習する
8	森沢 知之	<u>第 7 回で批判的吟味を行った英語論文について、その内容および理学療法の理論や方法を展開するための自身の研究や今後の研究について報告するための資料作成を行う</u>	演習	【予習】(90分) 第 7 回で批判的吟味を行った英語論文について、その批判的吟味の内容をまとめる 【復習】(90分) 授業の内容を復習する
9	森沢 知之	<u>第 8 回で作成した資料を用いて最新の英語論文についての批判的吟味および理学療法の理論や方法を展開する研究の発展性について発表する</u>	演習	【予習】(90分) 第 8 回で作成した発表資料を完成させ、発表準備を行う 【復習】(90分)

別添資料4(新)

				授業の内容を復習する
10	森沢 知之	<u>第9回で発表した資料を用いて新しい理学療法の理論や方法について議論する</u>	演習	【予習】(90分) 第9回で発表した資料を再度確認する 【復習】(90分) 授業の内容を復習する
11	齊藤 正和	<u>腎臓疾患の理学療法や内部障害患者の生活期理学療法に関連する最新の英語論文の検索方法を学び、検索した英語論文を購読する</u>	演習	【予習】(90分) 腎臓疾患や内部障害患者の最新の生活期理学療法について復習して臨む 【復習】(90分) 授業の内容を復習する
12	齊藤 正和	<u>第11回で購読した英語論文を批判的に吟味する方法について理解し、実際に英語論文の批判的吟味を行う</u>	演習	【予習】(90分) 第11回で購読した英語論文について要約しまとめる 【復習】(90分) 授業の内容を復習する
13	齊藤 正和	<u>第12回で批判的吟味を行った英語論文について、その内容および理学療法の理論や方法を展開するための自身の研究や今後の研究について報告するための資料作成を行う</u>	演習	【予習】(90分) 第12回で批判的吟味を行った英語論文について、その批判的吟味の内容をまとめる 【復習】(90分) 授業の内容を復習する
14	齊藤 正和	<u>第13回で作成した資料を用いて最新の英語論文についての批判的吟味および理学療法の理論や方法を展開する研究の発展性について発表する</u>	演習	【予習】(90分) 第13回で作成した発表資料を完成させ、発表準備を行う 【復習】(90分) 授業の内容を復習する
15	齊藤 正和	<u>第14回で発表した資料を用いて新しい理学療法の理論や方法について議論する</u>	演習	【予習】(90分) 第14回で発表した資料を再度確認する 【復習】(90分) 授業の内容を復習する

## 別添資料4(新)

科目名	内部機能障害理学療法学特講演習Ⅱ	授業形態	演習	
英語科目名	Advanced Seminar on Physical Therapy for Internal Disorders Ⅱ	開講学期	後期	
対象学年	2年	単位数	2	
代表教員	齊藤正和			
担当教員	高橋哲也、森沢知之、齊藤正和			
<b>授業概要（全体内容）</b>				
<p>内部障害理学療法領域に関連する学術研究を積極的に分析し、研究課題に関連した専門的知識や研究遂行技術を学ぶため、最新の診療ガイドラインを広く検索し、学術的専門知識を深める。また、診療ガイドラインの内容から今日的臨床の課題に関連するトピックスについて、研究方法、解析方法、結果の解釈について論理的解釈に基づく討議を行い、各自の研究に応用できる内部障害理学療法領域の研究を遂行する能力を養成する。</p> <p>授業は演習形態で行い、自身の研究の考察に生きる内容についてまとめる。サマリーやレビュー論文のまとめを通して研究課題に関連した専門的知識や研究探索能力を身につける。</p>				
<b>達成目標</b>				
<ul style="list-style-type: none"> <li>内部障害理学療法領域に関連する最新の診療ガイドラインを広く検索することができる。</li> <li>診療ガイドラインの内容から今日的臨床の課題に関連するトピックスを抽出することができる</li> <li>討議の資料作成を通して図表の作成、成果発表ができる。</li> </ul>				
<b>ディプロマ・ポリシー（学位授与の方針）との関連</b>				
理学 DP-1				
<b>履修上の注意、履修要件</b>				
<ul style="list-style-type: none"> <li>各回の講義前後には必ず予習、復習を行うこと。</li> <li>講義中や講義終了後、わからない部分があれば、必ず担当教員に質問すること。</li> <li>講義中は積極的に発言すること。</li> </ul>				
<b>成績評価の方法</b>				
レポート課題（100%）で最終評価を行う				
<b>試験・課題等に対するフィードバック方法</b>				
授業内や Juntendo Passport を使用してフィードバックを返却する。				
<b>テキスト・参考文献</b>				
適宜、資料を配布する。				
<b>連絡先・オフィスアワー</b>				
<ul style="list-style-type: none"> <li>事前メールにて随時対応。</li> </ul> メールアドレス：m.saito.tl@juntendo.ac.jp				
<b>授業計画【授業内容と授業時間外の指導等】</b>				
授業回	担当者	授業内容	授業方法	予習・復習・レポート課題等と学習時間
1	高橋 哲也	救急救命・集中治療、循環器疾患の理学療法に関連する国内外の最新ガイドラインの検索方法を学び、購読し専門的知識を深める	演習	<b>【予習】（90分）</b> 救急救命・集中治療、循環器疾患の理学療法に関連する診療ガイドラインを検索し内容をまとめる <b>【復習】（90分）</b> 授業の内容を復習する

## 別添資料4(新)

2	高橋 哲也	<u>第1回で購読した診療ガイドラインの内容から、臨床的課題を抜粋し討議する</u>	演習	【予習】(90分) 第1回で購読した診療ガイドラインを要約しまとめる 【復習】(90分) 授業の内容を復習する
3	高橋 哲也	<u>第2回で討議した臨床的課題を解決するための研究デザインや方法、解析方法を立案し、発表資料へまとめる</u>	演習	【予習】(90分) 第2回で診療ガイドラインから抜粋した臨床的課題についてまとめる 【復習】(90分) 授業の内容を復習する
4	高橋 哲也	<u>第3回で作成した資料を用いて臨床的課題を解決するための研究デザインや方法、解析方法を発表する</u>	演習	【予習】(90分) 第3回で立案した臨床的課題を解決するための研究デザインや方法、解析方法についての発表資料を完成させ、発表準備を行う 【復習】(90分) 授業の内容を復習する
5	高橋 哲也	<u>第4回で発表した資料を用いて新しい理学療法の理論や方法について議論する</u>	演習	【予習】(90分) 第4回で発表した資料を再度確認する 【復習】(90分) 授業の内容を復習する
6	森沢 知之	<u>内部障害患者に対する回復期理学療法に関連する国内外の最新ガイドラインの検索方法を学び、購読し専門的知識を深める</u>	演習	【予習】(90分) 内部障害患者に対する回復期理学療法に関連する診療ガイドラインを検索し内容をまとめる 【復習】(90分) 授業の内容を復習する
7	森沢 知之	<u>第6回で購読した診療ガイドラインの内容から、臨床的課題を抜粋し討議する</u>	演習	【予習】(90分) 第6回で購読した診療ガイドラインを要約しまとめる 【復習】(90分) 授業の内容を復習する
8	森沢 知之	<u>第7回で討議した臨床的課題を解決するための研究デザインや方法、解析方法を立案し、発表資料へまとめる</u>	演習	【予習】(90分) 第7回で診療ガイドラインから抜粋した臨床的課題についてまとめる 【復習】(90分)

別添資料4(新)

				授業の内容を復習する
9	森沢 知之	<u>第8回で作成した資料を用いて臨床的課題を解決するための研究デザインや方法、解析方法を発表する</u>	演習	【予習】(90分) 第8回で立案した臨床的課題を解決するための研究デザインや方法、解析方法についての発表資料を完成させ、発表準備を行う 【復習】(90分) 授業の内容を復習する
10	森沢 知之	<u>第9回で発表した資料を用いて新しい理学療法の理論や方法について議論する</u>	演習	【予習】(90分) 第9回で発表した資料を再度確認する 【復習】(90分) 授業の内容を復習する
11	齊藤 正和	<u>内部障害患者に対する生活期理学療法に関連する国内外の最新ガイドラインの検索方法を学び、購読し専門的知識を深める</u>	演習	【予習】(90分) 内部障害患者に対する生活期理学療法に関連する診療ガイドラインを検索し内容をまとめる 【復習】(90分) 授業の内容を復習する
12	齊藤 正和	<u>第11回で購読した診療ガイドラインの内容から、臨床的課題を抜粋し討議する</u>	演習	【予習】(90分) 第11回で購読した診療ガイドラインを要約しまとめる 【復習】(90分) 授業の内容を復習する
13	齊藤 正和	<u>第12回で討議した臨床的課題を解決するための研究デザインや方法、解析方法を立案し、発表資料へまとめる</u>	演習	【予習】(90分) 第12回で診療ガイドラインから抜粋した臨床的課題についてまとめる 【復習】(90分) 授業の内容を復習する
14	齊藤 正和	<u>第13回で作成した資料を用いて臨床的課題を解決するための研究デザインや方法、解析方法を発表する</u>	演習	【予習】(90分) 第13回で立案した臨床的課題を解決するための研究デザインや方法、解析方法についての発表資料を完成させ、発表準備を行う 【復習】(90分) 授業の内容を復習する
15	齊藤 正和	<u>第14回で発表した資料を用いて新しい理学</u>	演習	【予習】(90分)

## 別添資料4(新)

		<u>療法の理論や方法について議論する</u>	<u>第14回で発表した資料を再度確認する</u> 【復習】(90分) 授業の内容を復習する
--	--	-------------------------	--

## 別添資料4(新)

科目名	神経・運動制御理学療法学特別研究		授業形態	演習
英語科目名	Doctoral Research on Physical Therapy for Neuroscience and Motor control		開講学期	通年
対象学年	1～3年		単位数	4
代表教員	藤原俊之			
担当教員	藤原俊之、松田雅弘、春山幸志郎、高橋容子、藤野雄次			
<b>授業概要（全体内容）</b>				
<p>理学療法とそれをめぐる課題、臨床的問題等を取り上げた理学療法学研究の指導を行う。本科目では、主研究指導教員と副研究指導教員の2名体制によって、理学療法学研究の指導を行う。主副2名の研究指導教員は、同一分野の教員が当たる。主研究指導教員は、研究のオリジナリティー、背景因子の探索、テーマ決定、研究計画の立案、研究実施、学会発表、論文執筆等を一貫して指導する。副研究指導教員は専門的見地から研究の幅を広げるための補助的指導を行う。研究課題に係わる国内外での学会に参加して専門分野の学識を深め、国内外の専門家との積極的に交流することを目標とする。また、学会発表や論文公表等により研究結果を公表するとともに、博士論文としてまとめ、発表を行う。</p>				
<b>達成目標</b>				
<ul style="list-style-type: none"> <li>研究課題に係わる国内外での学会に参加して専門家との積極的に交流することができる</li> <li>学会発表や論文公表等により研究結果を公表することができる</li> <li>博士論文をまとめることができる</li> <li>理学療法領域の発展や専門知識・技術の向上・開発を図るために、科学的思考・論理的思考に基づき独創的な研究活動を行うことができる。</li> <li>研究を推進するに当たり、研究者に必要な研究倫理の公理に基づいて実施できる。</li> </ul>				
<b>ディプロマ・ポリシー（学位授与の方針）との関連</b>				
理学 DP-2、理学 DP-3				
<b>履修上の注意、履修要件</b>				
研究指導スケジュールに沿って研究を計画通りに進捗させること。				
<b>成績評価の方法</b>				
博士論文作成（50%）、口頭試問（50%）				
<b>試験・課題等に対するフィードバック方法</b>				
学生個人へメールや連絡システムを用いてフィードバックする。				
<b>テキスト・参考文献</b>				
指定しない				
<b>連絡先・オフィスアワー</b>				
各担当教員がメールで連絡を受け付け、随時対応する。 藤原 (t-fujiwara@juntendo.ac.jp)、松田 (t.matsuda.ye@juntendo.ac.jp)、春山 (k.haruyama.us@juntendo.ac.jp) 高橋 (y.takahashi.jk@juntendo.ac.jp)、藤野 (y.fujino.pb@juntendo.ac.jp)。				
<b>授業計画【授業内容と授業時間外の指導等】</b>				
授業回	担当者	授業内容	授業方法	予習・復習・レポート課題等と学習時間
1	藤原俊之 松田雅弘 春山幸志郎 高橋容子	研究を行う上で求められる倫理規範について学び、討論を行う	演習	【予習】(90分) <u>事前に配布する資料をよく読み、キーワードを理解しておく</u> 【復習】(90分)

## 別添資料4(新)

	藤野雄次			授業内容を復習する
2	藤原俊之 松田雅弘 春山幸志郎 高橋容子 藤野雄次	研究課題の文献考証	演習	【予習】(90分) 研究課題に関わる文献をまとめておく。 【復習】(90分) まとめた文献についてアブストラクトテーブルを作成する。
3	藤原俊之 松田雅弘 春山幸志郎 高橋容子 藤野雄次	研究課題の文献考証	演習	【予習】(90分) 研究課題に関わる文献をまとめておく。 【復習】(90分) まとめた文献についてアブストラクトテーブルを作成する。
4	藤原俊之 松田雅弘 春山幸志郎 高橋容子 藤野雄次	研究課題の文献考証	演習	【予習】(90分) 研究課題に関わる文献をまとめておく。 【復習】(90分) まとめた文献についてアブストラクトテーブルを作成する。
5	藤原俊之 松田雅弘 春山幸志郎 高橋容子 藤野雄次	博士後期課程研究計画書作成	演習	【予習】(90分) 研究デザイン、方法、解析方法等を考察すること。 【復習】(90分) 作成した計画書に対するフィードバックを基に修正する。
6	藤原俊之 松田雅弘 春山幸志郎 高橋容子 藤野雄次	研究課題の文献考証	演習	【予習】(90分) 計画書に対するフィードバックを基に研究課題に関わる文献を再度まとめる。 【復習】(90分) アブストラクトテーブルおよび計画書を修正する。
7	藤原俊之 松田雅弘 春山幸志郎 高橋容子 藤野雄次	研究課題の文献考証	演習	【予習】(90分) 計画書に対するフィードバックを基に研究課題に関わる文献を再度まとめる。 【復習】(90分) アブストラクトテーブルおよび計画書を修正する。
8	藤原俊之 松田雅弘	倫理委員会申請書作成	演習	【予習】(90分) 計画書を基に、倫理委員会申請

## 別添資料4(新)

	春山幸志郎 高橋容子 藤野雄次			書案を作成する。 【復習】(90分) フィードバックを基に修正する。
9	藤原俊之 松田雅弘 春山幸志郎 高橋容子 藤野雄次	倫理委員会申請書作成	演習	【予習】(90分) 計画書を基に、倫理委員会申請書案を作成する。 【復習】(90分) フィードバックを基に修正する。
10	藤原俊之 松田雅弘 春山幸志郎 高橋容子 藤野雄次	倫理委員会申請書作成	演習	【予習】(90分) 計画書を基に、倫理委員会申請書案を作成する。 【復習】(90分) フィードバックを基に修正する。
11	藤原俊之 松田雅弘 春山幸志郎 高橋容子 藤野雄次	調査・実験を遂行。収集したデータを解析し考察する。	演習	【予習】(90分) 計画書を基に、遂行に向けた準備を行う。 【復習】(90分) 収集したデータをまとめる。
12	藤原俊之 松田雅弘 春山幸志郎 高橋容子 藤野雄次	調査・実験を遂行。収集したデータを解析し考察する。	演習	【予習】(90分) 計画書を基に、遂行に向けた準備を行う。 【復習】(90分) 収集したデータをまとめる。
13	藤原俊之 松田雅弘 春山幸志郎 高橋容子 藤野雄次	調査・実験を遂行。収集したデータを解析し考察する。	演習	【予習】(90分) 計画書を基に、遂行に向けた準備を行う。 【復習】(90分) 収集したデータをまとめる。
14	藤原俊之 松田雅弘 春山幸志郎 高橋容子 藤野雄次	調査・実験を遂行。収集したデータを解析し考察する。	演習	【予習】(90分) 計画書を基に、遂行に向けた準備を行う。 【復習】(90分) 収集したデータをまとめる。
15	藤原俊之 松田雅弘 春山幸志郎 高橋容子 藤野雄次	調査・実験を遂行。収集したデータを解析し考察する。	演習	【予習】(90分) 計画書を基に、遂行に向けた準備を行う。 【復習】(90分) 収集したデータをまとめる。

## 別添資料4(新)

16	藤原俊之 松田雅弘 春山幸志郎 高橋容子 藤野雄次	研究進捗状況報告書作成	演習	【予習】(90分) ここまでの研究進捗状況をまとめ、報告書案を作成する。 【復習】(90分) フィードバックを基に修正する。
17	藤原俊之 松田雅弘 春山幸志郎 高橋容子 藤野雄次	調査・実験を遂行。収集したデータを解析し考察する。	演習	【予習】(90分) 計画書を基に、遂行に向けた準備を行う。 【復習】(90分) 収集したデータをまとめる。
18	藤原俊之 松田雅弘 春山幸志郎 高橋容子 藤野雄次	調査・実験を遂行。収集したデータを解析し考察する。	演習	【予習】(90分) 計画書を基に、遂行に向けた準備を行う。 【復習】(90分) 収集したデータをまとめる。
19	藤原俊之 松田雅弘 春山幸志郎 高橋容子 藤野雄次	調査・実験を遂行。収集したデータを解析し考察する。	演習	【予習】(90分) 計画書を基に、遂行に向けた準備を行う。 【復習】(90分) 収集したデータをまとめる。
20	藤原俊之 松田雅弘 春山幸志郎 高橋容子 藤野雄次	調査・実験を遂行。収集したデータを解析し考察する。	演習	【予習】(90分) 計画書を基に、遂行に向けた準備を行う。 【復習】(90分) 収集したデータをまとめる。
21	藤原俊之 松田雅弘 春山幸志郎 高橋容子 藤野雄次	調査・実験を遂行。収集したデータを解析し考察する。	演習	【予習】(90分) 計画書を基に、遂行に向けた準備を行う。 【復習】(90分) 収集したデータをまとめる。
22	藤原俊之 松田雅弘 春山幸志郎 高橋容子 藤野雄次	研究進捗状況報告書作成 研究経過発表会(中間発表会)で報告	演習	【予習】(90分) ここまでの研究進捗状況をまとめ、報告書案を作成する。 【復習】(90分) フィードバックを基に修正し、研究経過発表会に向けた資料を作成する。
23	藤原俊之 松田雅弘 春山幸志郎	調査・実験を遂行。収集したデータを解析し考察する。	演習	【予習】(90分) 計画書を基に、遂行に向けた準備を行う。

## 別添資料4(新)

	高橋容子 藤野雄次			【復習】(90分) 収集したデータをまとめる。
24	藤原俊之 松田雅弘 春山幸志郎 高橋容子 藤野雄次	調査・実験を遂行。収集したデータを解析し 考察する。	演習	【予習】(90分) 計画書を基に、遂行に向けた準備 を行う。 【復習】(90分) 収集したデータをまとめる。
25	藤原俊之 松田雅弘 春山幸志郎 高橋容子 藤野雄次	予備審査会で発表する 単位の取得見込み状況、国内外の学会での 発表及び学術誌への投稿状況、研究の進捗 状況と論文作成状況を説明する	演習	【予習】(90分) 予備審査会に向けた発表資料 を作成する。 【復習】(90分) 予備審査会で受けたフィード バックを基に博士論文の準備 を行う。
26	藤原俊之 松田雅弘 春山幸志郎 高橋容子 藤野雄次	考察を深め博士論文としてまとめる。学会 発表・論文投稿の準備	演習	【予習】(90分) 博士論文を作成する。 【復習】(90分) フィードバックを基に博士論 文を修正し、作成を進める。
27	藤原俊之 松田雅弘 春山幸志郎 高橋容子 藤野雄次	考察を深め博士論文としてまとめる。学会 発表・論文投稿の準備	演習	【予習】(90分) 博士論文を作成する。 【復習】(90分) フィードバックを基に博士論 文を修正し、作成を進める。
28	藤原俊之 松田雅弘 春山幸志郎 高橋容子 藤野雄次	考察を深め博士論文としてまとめる。学位 論文の審査を受ける	演習	【予習】(90分) 博士論文を作成する。 【復習】(90分) フィードバックを基に博士論 文を修正し、作成を進める。
29	藤原俊之 松田雅弘 春山幸志郎 高橋容子 藤野雄次	最終試験(口頭試問)を受ける	演習	【予習】(90分) 最終試験に向けた準備を行う。 【復習】(90分) フィードバックを基に博士論 文を修正し、完成させる。
30	藤原俊之 松田雅弘 春山幸志郎 高橋容子 藤野雄次	博士論文発表会で発表する	演習	【予習】(90分) 博士論文発表会に向けた準備 を行う。 【復習】(90分) フィードバックを基に博士論 文を修正し、完成させる。

## 別添資料4(新)

科目名	運動器・スポーツ理学療法学特別研究		授業形態	演習
英語科目名	Doctoral Research on Physical Therapy for Musculoskeletal and Sports Disorders		開講学期	通年
対象学年	1～3年		単位数	4
代表教員	相澤純也			
担当教員	池田浩、相澤純也、飛山義憲、宮森隆行			
<b>授業概要（全体内容）</b>				
<p>運動器・スポーツ理学療法に関わる課題、臨床の問題等を取り上げた理学療法学研究の指導を行う。本科目では、主研究指導教員と副研究指導教員の2名体制によって、理学療法学研究の指導を行う。主副2名の研究指導教員は、同一分野の教員が当たる。主研究指導教員は、研究のオリジナリティー、背景因子の探索、テーマ決定、研究計画の立案、研究実施、学会発表、論文執筆等を一貫して指導する。副研究指導教員は専門的見地から研究の幅を広げるための補助的指導を行う。研究課題に係わる国内外での学会に参加して専門分野の学識を深め、国内外の専門家との積極的に交流することを目標とする。また、学会発表や論文公表等により研究結果を公表するとともに、博士論文としてまとめ、発表を行う。</p>				
<b>達成目標</b>				
<ul style="list-style-type: none"> <li>・研究課題に係わる国内外での学会に参加して専門家との積極的に交流することができる。</li> <li>・学会発表や論文公表等により研究結果を公表することができる。</li> <li>・博士論文をまとめることができる。</li> <li>・理学療法領域の発展や専門知識・技術の向上・開発を図るために、科学的思考・論理的思考に基づき独創的な研究活動を行うことができる。</li> <li>・研究を推進するに当たり、研究者に必要な研究倫理の公理に基づいて実施できる。</li> </ul>				
<b>ディプロマ・ポリシー（学位授与の方針）との関連</b>				
理学 DP-2、理学 DP-3				
<b>履修上の注意、履修要件</b>				
研究指導スケジュールに沿って研究を計画通りに進捗させること。				
<b>成績評価の方法</b>				
博士論文作成（50%）、口頭試問（50%）				
<b>試験・課題等に対するフィードバック方法</b>				
学生個人へメールや Juntendo Passport を用いてフィードバックする。				
<b>テキスト・参考文献</b>				
指定しない				
<b>連絡先・オフィスアワー</b>				
<p>事前メールにて随時対応。</p> <p>池田浩メールアドレス：hi-ikeda@juntendo.ac.jp</p> <p>相澤純也メールアドレス：j.aizawa.ue@juntendo.ac.jp</p> <p>飛山義憲メールアドレス：y.hiyama.cj@juntendo.ac.jp</p> <p>宮森隆行メールアドレス：t.miyamori.hi@juntendo.ac.jp</p>				
<b>授業計画【授業内容と授業時間外の指導等】</b>				
授業回	担当者	授業内容	授業方法	予習・復習・レポート課題等と学習時間
1	池田浩	<u>研究を行う上で求められる倫理規範について</u>	演習	【予習】(90分)

## 別添資料4(新)

	相澤純也 飛山義憲 宮森隆行	<u>て学び、討論を行う</u>		<u>事前に配布する資料をよく読み、キーワードを理解しておく</u> 【復習】(90分) <u>授業内容を復習する</u>
2	池田浩 相澤純也 飛山義憲 宮森隆行	研究課題の文献考証	演習	【予習】(90分) 研究課題に関わる文献をまとめておく。 【復習】(90分) まとめた文献についてアブストラクトテーブルを作成する。
3	池田浩 相澤純也 飛山義憲 宮森隆行	研究課題の文献考証	演習	【予習】(90分) 研究課題に関わる文献をまとめておく。 【復習】(90分) まとめた文献についてアブストラクトテーブルを作成する。
4	池田浩 相澤純也 飛山義憲 宮森隆行	研究課題の文献考証	演習	【予習】(90分) 研究課題に関わる文献をまとめておく。 【復習】(90分) まとめた文献についてアブストラクトテーブルを作成する。
5	池田浩 相澤純也 飛山義憲 宮森隆行	博士後期課程研究計画書作成	演習	【予習】(90分) 研究デザイン、方法、解析方法等を考察すること。 【復習】(90分) 作成した計画書に対するフィードバックを基に修正する。
6	池田浩 相澤純也 飛山義憲 宮森隆行	研究課題の文献考証	演習	【予習】(90分) 計画書に対するフィードバックを基に研究課題に関わる文献を再度まとめる。 【復習】(90分) アブストラクトテーブルおよび計画書を修正する。
7	池田浩 相澤純也 飛山義憲 宮森隆行	研究課題の文献考証	演習	【予習】(90分) 計画書に対するフィードバックを基に研究課題に関わる文献を再度まとめる。 【復習】(90分) アブストラクトテーブルおよび

別添資料4(新)

				び計画書を修正する。
8	池田浩 相澤純也 飛山義憲 宮森隆行	倫理委員会申請書作成	演習	【予習】(90分) 計画書を基に、倫理委員会申請書案を作成する。 【復習】(90分) フィードバックを基に修正する。
9	池田浩 相澤純也 飛山義憲 宮森隆行	倫理委員会申請書作成	演習	【予習】(90分) 計画書を基に、倫理委員会申請書案を作成する。 【復習】(90分) フィードバックを基に修正する。
10	池田浩 相澤純也 飛山義憲 宮森隆行	倫理委員会申請書作成	演習	【予習】(90分) 計画書を基に、倫理委員会申請書案を作成する。 【復習】(90分) フィードバックを基に修正する。
11	池田浩 相澤純也 飛山義憲 宮森隆行	調査・実験を遂行。収集したデータを解析し考察する。	演習	【予習】(90分) 計画書を基に、遂行に向けた準備を行う。 【復習】(90分) 収集したデータをまとめる。
12	池田浩 相澤純也 飛山義憲 宮森隆行	調査・実験を遂行。収集したデータを解析し考察する。	演習	【予習】(90分) 計画書を基に、遂行に向けた準備を行う。 【復習】(90分) 収集したデータをまとめる。
13	池田浩 相澤純也 飛山義憲 宮森隆行	調査・実験を遂行。収集したデータを解析し考察する。	演習	【予習】(90分) 計画書を基に、遂行に向けた準備を行う。 【復習】(90分) 収集したデータをまとめる。
14	池田浩 相澤純也 飛山義憲 宮森隆行	調査・実験を遂行。収集したデータを解析し考察する。	演習	【予習】(90分) 計画書を基に、遂行に向けた準備を行う。 【復習】(90分) 収集したデータをまとめる。
15	池田浩 相澤純也	調査・実験を遂行。収集したデータを解析し考察する。	演習	【予習】(90分) 計画書を基に、遂行に向けた準備

別添資料4(新)

	飛山義憲 宮森隆行			備を行う。 【復習】(90分) 収集したデータをまとめる。
16	池田浩 相澤純也 飛山義憲 宮森隆行	研究進捗状況報告書作成	演習	【予習】(90分) ここまでの研究進捗状況をまとめ、報告書案を作成する。 【復習】(90分) フィードバックを基に修正する。
17	池田浩 相澤純也 飛山義憲 宮森隆行	調査・実験を遂行。収集したデータを解析し考察する。	演習	【予習】(90分) 計画書を基に、遂行に向けた準備を行う。 【復習】(90分) 収集したデータをまとめる。
18	池田浩 相澤純也 飛山義憲 宮森隆行	調査・実験を遂行。収集したデータを解析し考察する。	演習	【予習】(90分) 計画書を基に、遂行に向けた準備を行う。 【復習】(90分) 収集したデータをまとめる。
19	池田浩 相澤純也 飛山義憲 宮森隆行	調査・実験を遂行。収集したデータを解析し考察する。	演習	【予習】(90分) 計画書を基に、遂行に向けた準備を行う。 【復習】(90分) 収集したデータをまとめる。
20	池田浩 相澤純也 飛山義憲 宮森隆行	調査・実験を遂行。収集したデータを解析し考察する。	演習	【予習】(90分) 計画書を基に、遂行に向けた準備を行う。 【復習】(90分) 収集したデータをまとめる。
21	池田浩 相澤純也 飛山義憲 宮森隆行	調査・実験を遂行。収集したデータを解析し考察する。	演習	【予習】(90分) 計画書を基に、遂行に向けた準備を行う。 【復習】(90分) 収集したデータをまとめる。
22	池田浩 相澤純也 飛山義憲 宮森隆行	研究進捗状況報告書作成 研究経過発表会(中間発表会)で報告	演習	【予習】(90分) ここまでの研究進捗状況をまとめ、報告書案を作成する。 【復習】(90分) フィードバックを基に修正し、研究経過発表会に向けた資料を作成する。

## 別添資料4(新)

23	池田浩 相澤純也 飛山義憲 宮森隆行	調査・実験を遂行。収集したデータを解析し 考察する。	演習	【予習】(90分) 計画書を基に、遂行に向けた準備 を行う。 【復習】(90分) 収集したデータをまとめる。
24	池田浩 相澤純也 飛山義憲 宮森隆行	調査・実験を遂行。収集したデータを解析し 考察する。	演習	【予習】(90分) 計画書を基に、遂行に向けた準備 を行う。 【復習】(90分) 収集したデータをまとめる。
25	池田浩 相澤純也 飛山義憲 宮森隆行	予備審査会で発表する。 単位の取得見込み状況、国内外の学会での 発表及び学術誌への投稿状況、研究の進捗 状況と論文作成状況を説明する。	演習	【予習】(90分) 予備審査会に向けた発表資料 を作成する。 【復習】(90分) 予備審査会で受けたフィード バックを基に博士論文の準備 を行う。
26	池田浩 相澤純也 飛山義憲 宮森隆行	考察を深め博士論文としてまとめる。学会 発表・論文投稿の準備を行う。	演習	【予習】(90分) 博士論文を作成する。 【復習】(90分) フィードバックを基に博士論 文を修正し、作成を進める。
27	池田浩 相澤純也 飛山義憲 宮森隆行	考察を深め博士論文としてまとめる。学会 発表・論文投稿の準備を行う。	演習	【予習】(90分) 博士論文を作成する。 【復習】(90分) フィードバックを基に博士論 文を修正し、作成を進める。
28	池田浩 相澤純也 飛山義憲 宮森隆行	考察を深め博士論文としてまとめる。学位 論文の審査を受ける。	演習	【予習】(90分) 博士論文を作成する。 【復習】(90分) フィードバックを基に博士論 文を修正し、作成を進める。
29	池田浩 相澤純也 飛山義憲 宮森隆行	最終試験(口頭試問)を受ける。	演習	【予習】(90分) 最終試験に向けた準備を行う。 【復習】(90分) フィードバックを基に博士論 文を修正し、完成させる。
30	池田浩 相澤純也 飛山義憲 宮森隆行	博士論文発表会で発表する。	演習	【予習】(90分) 博士論文発表会に向けた準備 を行う。 【復習】(90分)

## 別添資料4(新)

				フィードバックを基に博士論文を修正し、完成させる。
--	--	--	--	---------------------------

## 別添資料4(新)

科目名	内部機能障害理学療法学特別研究	授業形態	演習	
英語科目名	Doctoral Research on Physical Therapy for Internal Disorders	開講学期	通年	
対象学年	1～3年	単位数	4	
代表教員	高橋哲也			
<b>担当教員</b>				
高橋哲也、森沢知之、齊藤正和				
<b>授業概要（全体内容）</b>				
<p>理学療法とそれをめぐる課題、臨床的問題等を取り上げた理学療法学研究の指導を行う。本科目では、主研究指導教員と副研究指導教員の2名体制によって、理学療法学研究の指導を行う。主副2名の研究指導教員は、同一分野の教員が当たる。主研究指導教員は、研究のオリジナリティー、背景因子の探索、テーマ決定、研究計画の立案、研究実施、学会発表、論文執筆等を一貫して指導する。副研究指導教員は専門的見地から研究の幅を広げるための補助的指導を行う。研究課題に係わる国内外での学会に参加して専門分野の学識を深め、国内外の専門家との積極的に交流することを目標とする。また、学会発表や論文公表等により研究結果を公表するとともに、博士論文としてまとめ、発表を行う。</p>				
<b>達成目標</b>				
<ul style="list-style-type: none"> <li>研究課題に係わる国内外での学会に参加して専門家との積極的に交流することができる</li> <li>学会発表や論文公表等により研究結果を公表することができる</li> <li>博士論文をまとめることができる</li> <li>理学療法領域の発展や専門知識・技術の向上・開発を図るために、科学的思考・論理的思考に基づき独創的な研究活動を行うことができる。</li> <li>研究を推進するに当たり、研究者に必要な研究倫理の公理に基づいて実施できる。</li> </ul>				
<b>ディプロマ・ポリシー（学位授与の方針）との関連</b>				
理学 DP-2、理学 DP-3				
<b>履修上の注意、履修要件</b>				
研究指導スケジュールに沿って研究を計画通りに進捗させること。				
<b>成績評価の方法</b>				
博士論文作成（50%）、口頭試問（50%）				
<b>試験・課題等に対するフィードバック方法</b>				
学生個人へメールや連絡システムを用いてフィードバックする。				
<b>テキスト・参考文献</b>				
指定しない				
<b>連絡先・オフィスアワー</b>				
<ul style="list-style-type: none"> <li>事前メールにて随時対応。</li> </ul> <p>高橋哲也メールアドレス：te-takakashi@juntendo.ac.jp          森沢知之メールアドレス：t.morisawa.ul@juntendo.ac.jp          齊藤正和メールアドレス：m.saito.tl@juntendo.ac.jp</p>				
<b>授業計画【授業内容と授業時間外の指導等】</b>				
授業回	担当者	授業内容	授業方法	予習・復習・レポート課題等と学習時間
1	高橋哲也 森沢知之 齊藤正和	研究を行う上で求められる倫理規範について学び、討論を行う	演習	<p>【予習】（90分）</p> <p><u>事前に配布する資料をよく読み、キーワードを理解しておく</u></p> <p>【復習】（90分）</p>

## 別添資料4(新)

				授業内容を復習する
2	高橋哲也 森沢知之 齊藤正和	研究課題の文献考証	演習	【予習】(90分) 研究課題に関わる文献をまとめておく。 【復習】(90分) まとめた文献についてアブストラクトテーブルを作成する。
3	高橋哲也 森沢知之 齊藤正和	研究課題の文献考証	演習	【予習】(90分) 研究課題に関わる文献をまとめておく。 【復習】(90分) まとめた文献についてアブストラクトテーブルを作成する。
4	高橋哲也 森沢知之 齊藤正和	研究課題の文献考証	演習	【予習】(90分) 研究課題に関わる文献をまとめておく。 【復習】(90分) まとめた文献についてアブストラクトテーブルを作成する。
5	高橋哲也 森沢知之 齊藤正和	博士後期課程研究計画書作成	演習	【予習】(90分) 研究デザイン、方法、解析方法等を考察すること。 【復習】(90分) 作成した計画書に対するフィードバックを基に修正する。
6	高橋哲也 森沢知之 齊藤正和	研究課題の文献考証	演習	【予習】(90分) 計画書に対するフィードバックを基に研究課題に関わる文献を再度まとめる。 【復習】(90分) アブストラクトテーブルおよび計画書を修正する。
7	高橋哲也 森沢知之 齊藤正和	研究課題の文献考証	演習	【予習】(90分) 計画書に対するフィードバックを基に研究課題に関わる文献を再度まとめる。 【復習】(90分) アブストラクトテーブルおよび計画書を修正する。
8	高橋哲也 森沢知之	倫理委員会申請書作成	演習	【予習】(90分) 計画書を基に、倫理委員会申請

別添資料4(新)

	齊藤正和			書案を作成する。 【復習】(90分) フィードバックを基に修正する。
9	高橋哲也 森沢知之 齊藤正和	倫理委員会申請書作成	演習	【予習】(90分) 計画書を基に、倫理委員会申請書案を作成する。 【復習】(90分) フィードバックを基に修正する。
10	高橋哲也 森沢知之 齊藤正和	倫理委員会申請書作成	演習	【予習】(90分) 計画書を基に、倫理委員会申請書案を作成する。 【復習】(90分) フィードバックを基に修正する。
11	高橋哲也 森沢知之 齊藤正和	調査・実験を遂行。収集したデータを解析し考察する。	演習	【予習】(90分) 計画書を基に、遂行に向けた準備を行う。 【復習】(90分) 収集したデータをまとめる。
12	高橋哲也 森沢知之 齊藤正和	調査・実験を遂行。収集したデータを解析し考察する。	演習	【予習】(90分) 計画書を基に、遂行に向けた準備を行う。 【復習】(90分) 収集したデータをまとめる。
13	高橋哲也 森沢知之 齊藤正和	調査・実験を遂行。収集したデータを解析し考察する。	演習	【予習】(90分) 計画書を基に、遂行に向けた準備を行う。 【復習】(90分) 収集したデータをまとめる。
14	高橋哲也 森沢知之 齊藤正和	調査・実験を遂行。収集したデータを解析し考察する。	演習	【予習】(90分) 計画書を基に、遂行に向けた準備を行う。 【復習】(90分) 収集したデータをまとめる。
15	高橋哲也 森沢知之 齊藤正和	調査・実験を遂行。収集したデータを解析し考察する。	演習	【予習】(90分) 計画書を基に、遂行に向けた準備を行う。 【復習】(90分) 収集したデータをまとめる。

## 別添資料4(新)

16	高橋哲也 森沢知之 齊藤正和	研究進捗状況報告書作成	演習	【予習】(90分) ここまでの研究進捗状況をまとめ、報告書案を作成する。 【復習】(90分) フィードバックを基に修正する。
17	高橋哲也 森沢知之 齊藤正和	調査・実験を遂行。収集したデータを解析し考察する。	演習	【予習】(90分) 計画書を基に、遂行に向けた準備を行う。 【復習】(90分) 収集したデータをまとめる。
18	高橋哲也 森沢知之 齊藤正和	調査・実験を遂行。収集したデータを解析し考察する。	演習	【予習】(90分) 計画書を基に、遂行に向けた準備を行う。 【復習】(90分) 収集したデータをまとめる。
19	高橋哲也 森沢知之 齊藤正和	調査・実験を遂行。収集したデータを解析し考察する。	演習	【予習】(90分) 計画書を基に、遂行に向けた準備を行う。 【復習】(90分) 収集したデータをまとめる。
20	高橋哲也 森沢知之 齊藤正和	調査・実験を遂行。収集したデータを解析し考察する。	演習	【予習】(90分) 計画書を基に、遂行に向けた準備を行う。 【復習】(90分) 収集したデータをまとめる。
21	高橋哲也 森沢知之 齊藤正和	調査・実験を遂行。収集したデータを解析し考察する。	演習	【予習】(90分) 計画書を基に、遂行に向けた準備を行う。 【復習】(90分) 収集したデータをまとめる。
22	高橋哲也 森沢知之 齊藤正和	研究進捗状況報告書作成 研究経過発表会(中間発表会)で報告	演習	【予習】(90分) ここまでの研究進捗状況をまとめ、報告書案を作成する。 【復習】(90分) フィードバックを基に修正し、研究経過発表会に向けた資料を作成する。
23	高橋哲也 森沢知之 齊藤正和	調査・実験を遂行。収集したデータを解析し考察する。	演習	【予習】(90分) 計画書を基に、遂行に向けた準備を行う。

## 別添資料4(新)

				【復習】(90分) 収集したデータをまとめる。
24	高橋哲也 森沢知之 齊藤正和	調査・実験を遂行。収集したデータを解析し 考察する。	演習	【予習】(90分) 計画書を基に、遂行に向けた準備 を行う。 【復習】(90分) 収集したデータをまとめる。
25	高橋哲也 森沢知之 齊藤正和	予備審査会で発表する 単位の取得見込み状況、国内外の学会での 発表及び学術誌への投稿状況、研究の進捗 状況と論文作成状況を説明する	演習	【予習】(90分) 予備審査会に向けた発表資料 を作成する。 【復習】(90分) 予備審査会で受けたフィード バックを基に博士論文の準備 を行う。
26	高橋哲也 森沢知之 齊藤正和	考察を深め博士論文としてまとめる。学会 発表・論文投稿の準備	演習	【予習】(90分) 博士論文を作成する。 【復習】(90分) フィードバックを基に博士論 文を修正し、作成を進める。
27	高橋哲也 森沢知之 齊藤正和	考察を深め博士論文としてまとめる。学会 発表・論文投稿の準備	演習	【予習】(90分) 博士論文を作成する。 【復習】(90分) フィードバックを基に博士論 文を修正し、作成を進める。
28	高橋哲也 森沢知之 齊藤正和	考察を深め博士論文としてまとめる。学位 論文の審査を受ける	演習	【予習】(90分) 博士論文を作成する。 【復習】(90分) フィードバックを基に博士論 文を修正し、作成を進める。
29	高橋哲也 森沢知之 齊藤正和	最終試験(口頭試問)を受ける	演習	【予習】(90分) 最終試験に向けた準備を行う。 【復習】(90分) フィードバックを基に博士論 文を修正し、完成させる。
30	高橋哲也 森沢知之 齊藤正和	博士論文発表会で発表する	演習	【予習】(90分) 博士論文発表会に向けた準備 を行う。 【復習】(90分) フィードバックを基に博士論 文を修正し、完成させる。

## シラバス (目次)

神経・運動制御理学療法学特講 .....	2
神経・運動制御理学療法学特講演習 I .....	5
神経・運動制御理学療法学特講演習 II .....	9
運動器・スポーツ理学療法学特講 .....	13
運動器・スポーツ理学療法学特講演習 I .....	16
運動器・スポーツ理学療法学特講演習 II .....	20
内部機能障害理学療法学特講 .....	24
内部機能障害理学療法学特講演習 I .....	27
内部機能障害理学療法学特講演習 II .....	30
神経・運動制御理学療法学特別研究 .....	33
運動器・スポーツ理学療法学特別研究 .....	38
内部機能障害理学療法学特別研究 .....	44

## 別添資料4(旧)

科目名	神経・運動制御理学療法学特講		授業形態	講義
英語科目名	Advanced Lecture on Physical Therapy for Neuroscience and Motor control		開講学期	通年
対象学年	1年		単位数	2
代表教員	藤原俊之			
担当教員	藤原俊之、松田雅弘、春山幸志郎、高橋容子、藤野雄次			
<b>授業概要（全体内容）</b>				
<p>神経・運動制御理学療法学における新たな理論構築や方法論の展開に資する高度な専門知識や治療技術を学ぶために、中枢神経疾患における機能障害、能力障害、高次脳機能障害といった各種神経症状についての病態の理解を深めるとともに、中枢神経疾患に関連する臨床的課題について最新の研究を探索し、神経科学的、神経生理学的、病態生理学的、認知科学的な視点からの批判的な討議を通して、最新の知見について理解を深める。</p>				
<b>達成目標</b>				
<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 神経・運動制御理学療法学の最新の研究動向や特徴を説明することができる。</li> <li>2. 中枢神経疾患における各種神経症状の病態について、最新の研究動向を説明することができる。</li> <li>3. 中枢神経疾患に対する最新の研究論文を批判的に吟味し、研究の課題や展望を見出すことができる。</li> </ol>				
<b>ディプロマ・ポリシー（学位授与の方針）との関連</b>				
理学 DP-1				
<b>履修上の注意、履修要件</b>				
実施日程は、受講者と協議して決定する。				
<b>成績評価の方法</b>				
プレゼンテーション及び作成資料（70%）、ショートレクチャー（30%）				
<b>試験・課題等に対するフィードバック方法</b>				
プレゼンテーション及びレクチャーに対するフィードバックは毎回の発表時に行う。毎回、担当制で最新のレビューをショートレクチャーする。				
<b>テキスト・参考文献</b>				
特に指定しないが、授業に必要な資料や参考書は、適宜、配布、または指示する。				
<b>連絡先・オフィスアワー</b>				
各担当教員がメールで連絡を受け付け、随時対応する。 藤原 (t-fujiwara@juntendo.ac.jp)、松田 (t.matsuda.ye@juntendo.ac.jp)、春山 (k.haruyama.us@juntendo.ac.jp) 高橋 (y.takahashi.jk@juntendo.ac.jp)、藤野 (y.fujino.pb@juntendo.ac.jp)。				
<b>授業計画【授業内容と授業時間外の指導等】</b>				
授業回	担当者	授業内容	授業方法	予習・復習・レポート課題等と学習時間
1	藤原俊之	【初回ガイダンス、神経・運動制御理学療法の総論】 授業計画と進め方について説明する。神経・運動制御理学療法の最新トピックスを学び、得られた知見についてディスカッションする。	講義	【予習】(90分) 神経・運動制御理学療法の知見について文献を検索し、少なくとも論文を1本読む。 【復習】(90分) 授業の内容を復習する。
2	藤原俊之	【電気生理学的検査①】	講義	【予習】(90分)

別添資料4(旧)

		中枢神経疾患の表面筋電図や誘発筋電図を扱った理学療法研究や最新のトピックスについて学ぶ。それから得られた知見や研究手法についてディスカッションする。		中枢神経疾患の表面筋電図や誘発筋電図を扱った論文を探索し、抄読する。 【復習】(90分) 授業の内容を復習する。
3	藤原俊之	【電気生理学的検査②】 中枢神経疾患の経頭蓋磁気刺激と脳波を扱った理学療法研究や最新のトピックスについて学ぶ。それから得られた知見や研究手法についてディスカッションする。	講義	【予習】(90分) 中枢神経疾患の経頭蓋磁気刺激と脳波を扱った論文を探索し、抄読する。 【復習】(90分) 授業の内容を復習する。
4	松田雅弘	【運動学・運動力学的分析手法①】 中枢神経疾患の加速度計、3次元解析装置、床反力計を扱った理学療法研究や最新のトピックスについて学ぶ。それから得られた知見や研究手法についてディスカッションする。	講義	【予習】(90分) 中枢神経疾患の加速度計、3次元解析装置、床反力計を扱った論文を探索し、抄読する。 【復習】(90分) 授業の内容を復習する。
5	松田雅弘	【運動学・運動力学的分析手法②】 中枢神経疾患の動作筋電図を扱った理学療法研究や最新のトピックスについて学ぶ。それから得られた知見や研究手法についてディスカッションする。	講義	【予習】(90分) 中枢神経疾患の動作筋電図を扱った論文を探索し、抄読する。 【復習】(90分) 授業の内容を復習する。
6	松田雅弘	【工学的分析手法①】 工学的な分析手法(特にセンシング技術、深層学習、AI)を扱った理学療法研究や最新のトピックスについて学ぶ。それから得られた知見や研究手法についてディスカッションする。	講義	【予習】(90分) 工学的な分析手法(特にセンシング技術、深層学習、AI)を扱った論文を探索し、抄読する。 【復習】(90分) 授業の内容を復習する。
7	春山幸志郎	【ニューロリハビリテーション治療①】 ニューロモデュレーション(反復経頭蓋磁気刺激・経頭蓋直流電気刺激・電気刺激療法)を扱った理学療法研究や最新のトピックスについて学ぶ。それから得られた知見や研究手法についてディスカッションする。	講義	【予習】(90分) ニューロモデュレーションを扱った論文を探索し、抄読する。 【復習】(90分) 授業の内容を復習する。
8	春山幸志郎	【電気生理学的検査③】 中枢神経疾患の表面筋電図による周波数解析を扱った理学療法研究や最新のトピックスについて学ぶ。それから得られた知見や研究手法についてディスカッションする。	講義	【予習】(90分) 中枢神経疾患の表面筋電図による周波数解析を扱った論文を探索し、抄読する。 【復習】(90分) 授業の内容を復習する。

別添資料4(旧)

9	春山幸志郎	【脳波筋電図コヒーレンス】 脳波筋電図コヒーレンスを扱った理学療法研究や最新のトピックスについて学ぶ。それから得られた知見や研究手法についてディスカッションする。	講義	【予習】(90分) 脳波筋電図コヒーレンスを扱った論文を探索し、抄読する。 【復習】(90分) 授業の内容を復習する。
10	高橋容子	【ニューロリハビリテーション治療②】 ロボティクスによるリハビリテーションを扱った理学療法研究や最新のトピックスについて学ぶ。それから得られた知見や研究手法についてディスカッションする。	講義	【予習】(90分) ロボティクスによるリハビリテーションを扱った論文を探索し、抄読する。 【復習】(90分) 授業の内容を復習する。
11	高橋容子	【歩行のシナジー性と非線形性】 中枢神経疾患の歩行のシナジー性と非線形性を扱った理学療法研究や最新のトピックスについて学ぶ。それから得られた知見や研究手法についてディスカッションする。	講義	【予習】(90分) 中枢神経疾患の歩行のシナジー性と非線形性を扱った論文を探索し、抄読する。 【復習】(90分) 授業の内容を復習する。
12	高橋容子	【電気生理学的検査④】 中枢神経疾患の神経生理学的検査による神経活動データを扱った理学療法研究や最新のトピックスについて学ぶ。それから得られた知見や研究手法についてディスカッションする。	講義	【予習】(90分) 中枢神経疾患の神経生理学的検査による神経活動データを扱った論文を探索し、抄読する。 【復習】(90分) 授業の内容を復習する。
13	藤野雄次	【工学的分析手法】 工学的な分析手法(特に視覚・体性感覚)を扱った理学療法研究や最新のトピックスについて学ぶ。それから得られた知見や研究手法についてディスカッションする。	講義	【予習】(90分) 工学的な分析手法(特に視覚・体性感覚)を扱った論文を探索し、抄読する。 【復習】(90分) 授業の内容を復習する。
14	藤野雄次	【ニューロリハビリテーション治療③】 直流前庭刺激や振動刺激療法を扱った理学療法研究や最新のトピックスについて学ぶ。それから得られた知見や研究手法についてディスカッションする。	講義	【予習】(90分) 直流前庭刺激や振動刺激療法を扱った論文を探索し、抄読する。 【復習】(90分) 授業の内容を復習する。
15	藤野雄次	【ニューロリハビリテーション治療④】 Virtual reality やプリズム療法を扱った理学療法研究や最新のトピックスについて学ぶ。それから得られた知見や研究手法についてディスカッションする。	講義	【予習】(90分) Virtual reality やプリズム療法を扱った論文を探索し、抄読する。 【復習】(90分) 授業の内容を復習する。

## 別添資料4(旧)

科目名	神経・運動制御理学療法学特講演習 I		授業形態	演習
英語科目名	Advanced Seminar on Physical Therapy for Neuroscience and Motor control I		開講学期	前期
対象学年	2年		単位数	2
代表教員	藤原俊之			
担当教員	藤原俊之、松田雅弘、春山幸志郎、高橋容子、藤野雄次			
授業概要 (全体内容)	<p>神経・運動制御理学療法学領域に関連する学術研究を積極的に分析し、研究課題に関連した専門的知識や研究遂行技術を学ぶため、神経生理学的、病態生理学的、認知科学的、神経科学に関連する研究論文や最先端テクノロジーに関連する研究動向を広く探索し、論文レビューや臨床的疑問に基づき研究課題を決定し、研究の仮説、研究方法、解析方法、結果の解釈について論理的に討議し、各自の研究に応用できる研究遂行能力を養成する。</p> <p>授業は演習形態で行い、自身の研究の考察に生きる内容についてまとめる。討議の資料作成を通して図表の作成方法など研究成果発表に必要な技術を学修することで、汎用性の高いテクニックを身につける。</p>			
達成目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>論文レビューおよび批判的吟味から研究課題や展望を論理的に説明することができる。</li> <li>論文レビューや臨床的疑問に基づいて研究課題を決定し、適切な研究デザインおよび検証方法を立案できる。</li> <li>討議の資料作成を通して図表の作成、成果発表ができる。</li> </ul>			
ディプロマ・ポリシー (学位授与の方針) との関連	理学 DP-1			
履修上の注意、履修要件	実施日程は、受講者と協議して決定する。			
成績評価の方法	プレゼンテーション 100% : 方法、内容、巧拙、理解度について口頭試問を判断基準とする。			
試験・課題等に対するフィードバック方法	講義内で、教員と学生間のディスカッションを通して、フィードバックする。			
テキスト・参考文献	特に指定しないが、授業に必要な資料や参考書は、適宜、配布、または指示する。			
連絡先・オフィスアワー	<p>各担当教員がメールで連絡を受け付け、随時対応する。</p> <p>藤原 (t-fujiwara@juntendo.ac.jp)、松田 (t.matsuda.ye@juntendo.ac.jp)、春山 (k.haruyama.us@juntendo.ac.jp) 高橋 (y.takahashi.jk@juntendo.ac.jp)、藤野 (y.fujino.pb@juntendo.ac.jp)。</p>			
授業計画【授業内容と授業時間外の指導等】				
授業回	担当者	授業内容	授業方法	予習・復習・レポート課題等と学習時間
1	藤原俊之	<p>【電気生理学的検査①】</p> <p>電気生理学的検査（特に表面筋電図や誘発筋電図）を用いた理学療法に関連する英語論文を抄読し、研究方法、解析方法、結果の解釈について議論する。</p>	演習	<p>【予習】(90分)</p> <p>電気生理学的検査を扱った論文を探索し、抄読する。</p> <p>【復習】(90分)</p> <p>当日の議論の内容について各自で復習する。</p>
2	藤原俊之	<p>【電気生理学的検査②】</p>	演習	<p>【予習】(90分)</p>

## 別添資料4(旧)

		電気生理学的検査（特に経頭蓋磁気刺激と脳波）を用いた理学療法に関連する英語論文を抄読し、研究方法、解析方法、結果の解釈について議論する。		電気生理学的検査を扱った論文を探索し、抄読する。 【復習】(90分) 当日の議論の内容について各自で復習する。
3	松田雅弘	【最先端テクノロジー①】 最先端テクノロジー（特にセンシング技術、深層学習、AI）を用いた理学療法に関連する英語論文を抄読し、研究方法、解析方法、結果の解釈について議論する。	演習	【予習】(90分) 最先端テクノロジーを扱った論文を探索し、抄読する。 【復習】(90分) 当日の議論の内容について各自で復習する。
4	松田雅弘	【最先端テクノロジー②】 最先端テクノロジー（特に遠隔操作技術）を用いた理学療法に関連する英語論文を抄読し、研究方法、解析方法、結果の解釈について議論する。	演習	【予習】(90分) 最先端テクノロジーを扱った論文を探索し、抄読する。 【復習】(90分) 当日の議論の内容について各自で復習する。
5	春山幸志郎	【運動学・運動力学的分析①】 運動学・運動力学的分析（特に加速度計、3次元解析装置、床反力計）を用いた理学療法に関連する英語論文を抄読し、研究方法、解析方法、結果の解釈について議論する。	演習	【予習】(90分) 運動学・運動力学的分析を扱った論文を探索し、抄読する。 【復習】(90分) 当日の議論の内容について各自で復習する。
6	春山幸志郎	【運動学・運動力学的分析②】 運動学・運動力学的分析（特に動作筋電図）を用いた理学療法に関連する英語論文を抄読し、研究方法、解析方法、結果の解釈について議論する。	演習	【予習】(90分) 運動学・運動力学的分析を扱った論文を探索し、抄読する。 【復習】(90分) 当日の議論の内容について各自で復習する。
7	高橋容子	【ニューロリハビリテーション治療①】 ニューロリハビリテーション治療（特にニューロモデュレーション）を用いた理学療法に関連する英語論文を抄読し、研究方法、解析方法、結果の解釈について議論する。	演習	【予習】(90分) ニューロリハビリテーション治療を扱った論文を探索し、抄読する。 【復習】(90分) 当日の議論の内容について各自で復習する。
8	高橋容子	【ニューロリハビリテーション治療②】 ニューロリハビリテーション治療（特にロボティクス）を用いた理学療法に関連する英語論文を抄読し、研究方法、解析方法、結果の解釈について議論する。	演習	【予習】(90分) ニューロリハビリテーション治療を扱った論文を探索し、抄読する。 【復習】(90分)

別添資料4(旧)

				当日の議論の内容について各自で復習する。
9	藤野雄次	【ニューロリハビリテーション治療③】 ニューロリハビリテーション治療（特にVirtual reality、プリズム療法）を用いた理学療法に関連する英語論文を抄読し、研究方法、解析方法、結果の解釈について議論する。	演習	【予習】(90分) ニューロリハビリテーション治療を扱った論文を探索し、抄読する。 【復習】(90分) 当日の議論の内容について各自で復習する。
10	藤野雄次	【工学的分析】 工学的な分析手法（特に視覚・体性感覚）を用いた理学療法に関連する英語論文を抄読し、研究方法、解析方法、結果の解釈について議論する。	演習	【予習】(90分) 工学的な分析手法を扱った論文を探索し、抄読する。 【復習】(90分) 当日の議論の内容について各自で復習する。
11	藤原俊之 松田雅弘 春山幸志郎 高橋容子 藤野雄次	【プレゼンテーション：電気生理学的検査】 電気生理学的検査に関する論文レビューおよび臨床的疑問に基づいて研究課題を設定し、研究計画について議論する。	演習	【予習】(90分) プレゼンテーションの資料準備。 【復習】(90分) 各プレゼンテーション内容について補足的に調べ、理解を深める。
12	藤原俊之 松田雅弘 春山幸志郎 高橋容子 藤野雄次	【プレゼンテーション：最先端テクノロジー】 最先端テクノロジーに関する論文レビューおよび臨床的疑問に基づいて研究課題を設定し、研究計画について議論する。	演習	【予習】(90分) プレゼンテーションの資料準備。 【復習】(90分) 各プレゼンテーション内容について補足的に調べ、理解を深める。
13	藤原俊之 松田雅弘 春山幸志郎 高橋容子 藤野雄次	【プレゼンテーション：運動学・運動力学的分析】 運動学・運動力学的分析に関する論文レビューおよび臨床的疑問に基づいて研究課題を設定し、研究計画について議論する。	演習	【予習】(90分) プレゼンテーションの資料準備。 【復習】(90分) 各プレゼンテーション内容について補足的に調べ、理解を深める。
14	藤原俊之 松田雅弘 春山幸志郎 高橋容子 藤野雄次	【プレゼンテーション：運動学・ニューロリハビリテーション治療】 ニューロリハビリテーション治療に関する論文レビューおよび臨床的疑問に基づいて研究課題を設定し、研究計画について議論	演習	【予習】(90分) プレゼンテーションの資料準備。 【復習】(90分) 各プレゼンテーション内容に

## 別添資料4(旧)

		する。		ついて補足的に調べ、理解を深める。
15	藤原俊之 松田雅弘 春山幸志郎 高橋容子 藤野雄次	<p><b>【プレゼンテーション：工学的分析】</b></p> <p>工学的分析に関する論文レビューおよび臨床的疑問に基づいて研究課題を設定し、研究計画について議論する。</p>	演習	<p><b>【予習】(90分)</b></p> <p>プレゼンテーションの資料準備。</p> <p><b>【復習】(90分)</b></p> <p>各プレゼンテーション内容について補足的に調べ、理解を深める。</p>

## 別添資料4(旧)

科目名	神経・運動制御理学療法学特講演習Ⅱ		授業形態	演習
英語科目名	Advanced Seminar on Physical Therapy for Neuroscience and Motor control Ⅱ		開講学期	後期
対象学年	2年		単位数	2
代表教員	藤原俊之			
担当教員	藤原俊之、松田雅弘、春山幸志郎、高橋容子、藤野雄次			
<b>授業概要（全体内容）</b>				
<p>神経・運動制御理学療法学領域に関連する学術研究を積極的に分析し、研究課題に関連した専門的知識や研究遂行技術を学ぶため、具体的に立案した研究計画について、教員ならびに学生間で互いに研究の手法や計画について批判的に吟味し、中枢神経疾患の理学療法領域における意義についても議論する。また、研究の実現可能性、新規性、再現性、妥当性について討議することにより、神経・運動制御理学療法領域の研究を深く探求するとともに、各自の研究計画の質や研究遂行能力の向上を促す。</p> <p>授業は演習形態で行い、自身の研究の考察に生きる内容についてまとめる。サマリーやレビュー論文のまとめを通して研究課題に関連した専門的知識や研究探索能力を身につける。</p>				
<b>達成目標</b>				
<ul style="list-style-type: none"> <li>立案した研究計画について、研究仮説の立証方法について論理的に説明することができる。</li> <li>立案した研究計画の実現可能性、新規性、再現性、妥当性について論理的に説明することができる。</li> <li>討議の資料作成を通して図表の作成、成果発表ができる。</li> </ul>				
<b>ディプロマ・ポリシー（学位授与の方針）との関連</b>				
理学 DP-1				
<b>履修上の注意、履修要件</b>				
実施日程は、受講者と協議して決定する。				
<b>成績評価の方法</b>				
プレゼンテーション 100%：方法、内容、巧拙、理解度について口頭試問を判断基準とする。				
<b>試験・課題等に対するフィードバック方法</b>				
講義内で、教員と学生間のディスカッションを通して、フィードバックする。				
<b>テキスト・参考文献</b>				
特に指定しないが、授業に必要な資料や参考書は、適宜、配布、または指示する。				
<b>連絡先・オフィスアワー</b>				
各担当教員がメールで連絡を受け付け、随時対応する。				
藤原 (t-fujiwara@juntendo.ac.jp)、松田 (t.matsuda.ye@juntendo.ac.jp)、春山 (k.haruyama.us@juntendo.ac.jp) 高橋 (y.takahashi.jk@juntendo.ac.jp)、藤野 (y.fujino.pb@juntendo.ac.jp)。				
<b>授業計画【授業内容と授業時間外の指導等】</b>				
授業回	担当者	授業内容	授業方法	予習・復習・レポート課題等と学習時間
1	藤原俊之	<p><b>【電気生理学的検査①】</b></p> <p>電気生理学的検査（特に表面筋電図や誘発筋電図）を用いた理学療法に関連する英語論文を抄読し、新たに検証すべき内容や方法、発展的取り組みについて議論する。</p>	演習	<p><b>【予習】</b> (90分)</p> <p>電気生理学的検査を扱った論文を探索し、抄読する。</p> <p><b>【復習】</b> (90分)</p> <p>当日の議論の内容について各自で復習する。</p>

別添資料4(旧)

2	藤原俊之	<p><b>【電気生理学的検査②】</b></p> <p>電気生理学的検査（特に経頭蓋磁気刺激と脳波）を用いた理学療法に関連する英語論文を抄読し、新たに検証すべき内容や方法、発展的取り組みについて議論する。</p>	演習	<p><b>【予習】</b> (90分)</p> <p>電気生理学的検査を扱った論文を探索し、抄読する。</p> <p><b>【復習】</b> (90分)</p> <p>当日の議論の内容について各自で復習する。</p>
3	松田雅弘	<p><b>【最先端テクノロジー①】</b></p> <p>最先端テクノロジー（特にセンシング技術、深層学習、AI）を用いた理学療法に関連する英語論文を抄読し、新たに検証すべき内容や方法、発展的取り組みについて議論する。</p>	演習	<p><b>【予習】</b> (90分)</p> <p>最先端テクノロジーを扱った論文を探索し、抄読する。</p> <p><b>【復習】</b> (90分)</p> <p>当日の議論の内容について各自で復習する。</p>
4	松田雅弘	<p><b>【最先端テクノロジー②】</b></p> <p>最先端テクノロジー（特に遠隔操作技術）を用いた理学療法に関連する英語論文を抄読し、新たに検証すべき内容や方法、発展的取り組みについて議論する。</p>	演習	<p><b>【予習】</b> (90分)</p> <p>最先端テクノロジーを扱った論文を探索し、抄読する。</p> <p><b>【復習】</b> (90分)</p> <p>当日の議論の内容について各自で復習する。</p>
5	春山幸志郎	<p><b>【運動学・運動力学的分析①】</b></p> <p>運動学・運動力学的分析（特に加速度計、3次元解析装置、床反力計）を用いた理学療法に関連する英語論文を抄読し、新たに検証すべき内容や方法、発展的取り組みについて議論する。</p>	演習	<p><b>【予習】</b> (90分)</p> <p>運動学・運動力学的分析を扱った論文を探索し、抄読する。</p> <p><b>【復習】</b> (90分)</p> <p>当日の議論の内容について各自で復習する。</p>
6	春山幸志郎	<p><b>【運動学・運動力学的分析②】</b></p> <p>運動学・運動力学的分析（特に動作筋電図）を用いた理学療法に関連する英語論文を抄読し、新たに検証すべき内容や方法、発展的取り組みについて議論する。</p>	演習	<p><b>【予習】</b> (90分)</p> <p>運動学・運動力学的分析を扱った論文を探索し、抄読する。</p> <p><b>【復習】</b> (90分)</p> <p>当日の議論の内容について各自で復習する。</p>
7	高橋容子	<p><b>【ニューロリハビリテーション治療①】</b></p> <p>ニューロリハビリテーション治療（特にニューロモデュレーション）を用いた理学療法に関連する英語論文を抄読し、新たに検証すべき内容や方法、発展的取り組みについて議論する。</p>	演習	<p><b>【予習】</b> (90分)</p> <p>ニューロリハビリテーション治療を扱った論文を探索し、抄読する。</p> <p><b>【復習】</b> (90分)</p> <p>当日の議論の内容について各自で復習する。</p>
8	高橋容子	<p><b>【ニューロリハビリテーション治療②】</b></p> <p>ニューロリハビリテーション治療（特にロボティクス）を用いた理学療法に関連する英語論文を抄読し、新たに検証すべき内容</p>	演習	<p><b>【予習】</b> (90分)</p> <p>ニューロリハビリテーション治療を扱った論文を探索し、抄読する。</p>

別添資料4(旧)

		や方法、発展的取り組みについて議論する。		【復習】(90分) 当日の議論の内容について各自で復習する。
9	藤野雄次	【ニューロリハビリテーション治療③】 ニューロリハビリテーション治療（特にVirtual reality、プリズム療法）を用いた理学療法に関連する英語論文を抄読し、新たに検証すべき内容や方法、発展的取り組みについて議論する。	演習	【予習】(90分) ニューロリハビリテーション治療を扱った論文を探索し、抄読する。 【復習】(90分) 当日の議論の内容について各自で復習する。
10	藤野雄次	【工学的分析】 工学的な分析手法（特に視覚・体性感覚）を用いた理学療法に関連する英語論文を抄読し、新たに検証すべき内容や方法、発展的取り組みについて議論する。	演習	【予習】(90分) 工学的な分析手法を扱った論文を探索し、抄読する。 【復習】(90分) 当日の議論の内容について各自で復習する。
11	藤原俊之 松田雅弘 春山幸志郎 高橋容子 藤野雄次	【研究計画のプレゼンテーション①】 自身の研究テーマに関する論文をレビューし、立案した研究計画について議論する。	演習	【予習】(90分) 自身の研究テーマに関連する論文を探索し、抄読する。 【復習】(90分) 当日の議論の内容について各自で復習する。
12	藤原俊之 松田雅弘 春山幸志郎 高橋容子 藤野雄次	【研究計画のプレゼンテーション②】 自身の研究テーマに関する論文をレビューし、立案した研究計画について議論する。	演習	【予習】(90分) 自身の研究テーマに関連する論文を探索し、抄読する。 【復習】(90分) 当日の議論の内容について各自で復習する。
13	藤原俊之 松田雅弘 春山幸志郎 高橋容子 藤野雄次	【研究計画のプレゼンテーション③】 自身の研究テーマに関する論文をレビューし、立案した研究計画について議論する。	演習	【予習】(90分) 自身の研究テーマに関連する論文を探索し、抄読する。 【復習】(90分) 当日の議論の内容について各自で復習する。
14	藤原俊之 松田雅弘 春山幸志郎 高橋容子 藤野雄次	【研究計画のプレゼンテーション④】 自身の研究テーマに関する論文をレビューし、立案した研究計画について議論する。	演習	【予習】(90分) 自身の研究テーマに関連する論文を探索し、抄読する。 【復習】(90分) 当日の議論の内容について各自で復習する。
15	藤原俊之	【まとめ】	演習	【予習】(90分)

## 別添資料4(旧)

	松田雅弘 春山幸志郎 高橋容子 藤野雄次	本特講演習のまとめを行う。学生が立案した研究計画を教員が講評するとともに、全体でディスカッションする。	これまでの授業やフィードバックの内容を総復習し、知識を整理する。 <b>【復習】</b> (90分) 当日の議論の内容について各自で復習する。
--	-------------------------------	---	---

## 別添資料4(旧)

科目名	運動器・スポーツ理学療法学特講		授業形態	講義
英語科目名	Advanced Lecture on Physical Therapy for Musculoskeletal and Sports Disorders		開講学期	通年
対象学年	1年		単位数	2
代表教員	相澤純也			
担当教員	池田浩、相澤純也、飛山義憲、宮森隆行			
<b>授業概要（全体内容）</b>				
<p>運動器・スポーツ理学療法学における新たな理論構築や方法論の展開に資する高度な専門知識や治療技術を学ぶために、関節疾患を中心とした運動器疾患や脊椎、下肢を中心としたスポーツ外傷・障害の発症メカニズムや病態の理解を深めるとともに、関節疾患やスポーツ外傷・障害に関連する臨床的課題について最新の研究を探求し、臨床的・社会的・運動生理学的な視点からの批判的な討議を通して、最新知見についての理解を深める。</p>				
<b>達成目標</b>				
<p>運動器・スポーツ理学療法 of 最新研究の特徴を説明することができる。</p> <p>関節疾患やスポーツ外傷・障害の発症メカニズムや病態について最新の研究動向を説明することができる。</p> <p>運動器・スポーツ理学療法に関連する臨床的課題について説明することができる。</p>				
<b>ディプロマ・ポリシー（学位授与の方針）との関連</b>				
理学 DP-1				
<b>履修上の注意、履修要件</b>				
<ul style="list-style-type: none"> <li>・各回の授業前後には必ず予習、復習を行うこと。</li> <li>・授業中や授業終了後、わからない部分があれば、必ず担当教員に質問すること。</li> <li>・授業中は積極的に発言すること。</li> </ul>				
<b>成績評価の方法</b>				
授業中の課題を評価し（100%）、最終評価を行う。				
<b>試験・課題等に対するフィードバック方法</b>				
授業内や Juntendo Passport を使用してフィードバックを返却する。				
<b>テキスト・参考文献</b>				
適宜、資料を配布する。				
<b>連絡先・オフィスアワー</b>				
事前メールにて随時対応。				
メールアドレス：j.aizawa.ue@juntendo.ac.jp				
<b>授業計画【授業内容と授業時間外の指導等】</b>				
授業回	担当者	授業内容	授業方法	予習・復習・レポート課題等と学習時間
1	池田浩	<u>運動器疾患に対する医学的診断の手法について、最新の研究結果から高度な専門知識や治療技術を学ぶ</u>	講義	<p>【予習】（90分） <u>運動器疾患の医学的診断の手法について予習する</u></p> <p>【復習】（90分） 授業の内容を復習する</p>
2	池田浩	<u>運動器疾患に対して用いられる検査方法について、最新の研究結果から高度な専門知識や治療技術を学ぶ</u>	講義	<p>【予習】（90分） <u>運動器疾患の検査方法について予習する</u></p>

別添資料4(旧)

				【復習】(90分) 授業の内容を復習する
3	池田浩	<u>運動器疾患に対する治療方針について、最新の研究結果から高度な専門知識や治療技術を学ぶ</u>	講義	【予習】(90分) <u>運動器疾患に対する治療方針について予習する</u> 【復習】(90分) 授業の内容を復習する
4	相澤純也	<u>膝関節のスポーツ外傷・障害の発症メカニズムや病態について、最新の研究結果から高度な専門知識や治療技術を学ぶ</u>	講義	【予習】(90分) <u>膝関節のスポーツ外傷・障害の発症メカニズムや病態について予習する</u> 【復習】(90分) 授業の内容を復習する
5	相澤純也	<u>膝関節のスポーツ外傷・障害の理学療法について、最新の研究結果から高度な専門知識や治療技術を学ぶ</u>	講義	【予習】(90分) <u>膝関節のスポーツ外傷・障害の理学療法について予習する</u> 【復習】(90分) 授業の内容を復習する
6	相澤純也	<u>膝関節のスポーツ外傷・障害の理学療法における心理的な側面について、最新の研究結果から高度な専門知識や治療技術を学ぶ</u>	講義	【予習】(90分) <u>膝関節のスポーツ外傷・障害の理学療法における心理的な側面について予習する</u> 【復習】(90分) 授業の内容を復習する
7	相澤純也	<u>膝関節以外の下肢のスポーツ外傷・障害の理学療法について、最新の研究結果から高度な専門知識や治療技術を学ぶ</u>	講義	【予習】(90分) <u>膝関節以外のスポーツ外傷・障害の理学療法について予習する</u> 【復習】(90分) 授業の内容を復習する
8	飛山義憲	<u>股関節の運動器疾患の発症メカニズムや病態について、最新の研究結果から高度な専門知識や治療技術を学ぶ</u>	講義	【予習】(90分) <u>股関節の運動器疾患の発症メカニズムや病態について予習する</u> 【復習】(90分) 授業の内容を復習する
9	飛山義憲	<u>股関節の運動器疾患の理学療法について、最新の研究結果から高度な専門知識や治療技術を学ぶ</u>	講義	【予習】(90分) <u>股関節の運動器疾患の理学療法について予習する</u> 【復習】(90分) 授業の内容を復習する

別添資料4(旧)

10	飛山義憲	<u>膝関節の運動器疾患の発症メカニズムや病態について、最新の研究結果から高度な専門知識や治療技術を学ぶ</u>	講義	【予習】(90分) <u>膝関節の運動器疾患の発症メカニズムや病態について予習する</u> 【復習】(90分) 授業の内容を復習する
11	飛山義憲	<u>膝関節の運動器疾患の理学療法について、最新の研究結果から高度な専門知識や治療技術を学ぶ</u>	講義	【予習】(90分) <u>膝関節の運動器疾患の理学療法について予習する</u> 【復習】(90分) 授業の内容を復習する
12	宮森隆行	<u>脊椎の運動器疾患の発症メカニズムや病態について、最新の研究結果から高度な専門知識や治療技術を学ぶ</u>	講義	【予習】(90分) <u>脊椎の運動器疾患の発症メカニズムや病態について予習する</u> 【復習】(90分) 授業の内容を復習する
13	宮森隆行	<u>脊椎の運動器疾患の理学療法について、最新の研究結果から高度な専門知識や治療技術を学ぶ</u>	講義	【予習】(90分) <u>脊椎の運動器疾患の理学療法について予習する</u> 【復習】(90分) 授業の内容を復習する
14	宮森隆行	<u>脊椎のスポーツ外傷・障害の発症メカニズムや病態について、最新の研究結果から高度な専門知識や治療技術を学ぶ</u>	講義	【予習】(90分) <u>脊椎のスポーツ外傷・障害の発症メカニズムや病態について予習する</u> 【復習】(90分) 授業の内容を復習する
15	宮森隆行	<u>脊椎のスポーツ外傷・障害の理学療法について、最新の研究結果から高度な専門知識や治療技術を学ぶ</u>	講義	【予習】(90分) <u>脊椎のスポーツ外傷・障害の理学療法について予習する</u> 【復習】(90分) 授業の内容を復習する

## 別添資料4(旧)

科目名	運動器・スポーツ理学療法学特講演習 I	授業形態	演習	
英語科目名	Advanced Seminar on Physical Therapy for Musculoskeletal and Sports Disorders I	開講学期	前期	
対象学年	2年	単位数	2	
代表教員	飛山義憲			
担当教員	池田浩、相澤純也、飛山義憲、宮森隆行			
<b>授業概要（全体内容）</b>				
<p>運動器・スポーツ理学療法領域に関連する学術研究を積極的に分析し、研究課題に関連した専門的知識や研究遂行技術を学ぶため、医学的診断方法から理学療法にわたる最新の研究論文を広く検索し、研究論文の批判的吟味を行い、学術的専門知識と研究のトレンドについて理解を深める。これらの理解を通し、各自の研究に応用できる運動器・スポーツ理学療法領域の研究を遂行する。</p> <p>授業は演習形態で行い、各自の研究課題に関連する最新の研究論文に関する研究方法、解析方法、結果の解釈について論理的解釈に基づく討議を行うとともに、図表を含む研究成果発表に必要な技術を学修し、研究遂行技術を養う。</p>				
<b>達成目標</b>				
<ul style="list-style-type: none"> <li>・運動器・スポーツ理学療法に関連する最新の研究論文を広く検索することができる。</li> <li>・運動器・スポーツ理学療法に関連する研究論文の批判的吟味を行うことができる。</li> <li>・討議の資料作成を通して図表の作成、成果発表ができる。</li> </ul>				
<b>ディプロマ・ポリシー（学位授与の方針）との関連</b>				
理学 DP-1				
<b>履修上の注意、履修要件</b>				
<ul style="list-style-type: none"> <li>・運動器・スポーツ理学療法学特講の復習を十分に行い、各回の授業前後には必ず予習、復習を行うこと。</li> <li>・授業中や授業終了後、わからない部分があれば、必ず担当教員に質問すること。</li> <li>・授業中は積極的に発言すること。</li> </ul>				
<b>成績評価の方法</b>				
授業中の課題を評価し（100%）、最終評価を行う。				
<b>試験・課題等に対するフィードバック方法</b>				
授業内や Juntendo Passport を使用してフィードバックを返却する。				
<b>テキスト・参考文献</b>				
適宜、資料を配布する。				
<b>連絡先・オフィスアワー</b>				
事前メールにて随時対応。				
メールアドレス：y.hiyama.cj@juntendo.ac.jp				
<b>授業計画【授業内容と授業時間外の指導等】</b>				
授業回	担当者	授業内容	授業方法	予習・復習・レポート課題等と学習時間
1	池田浩	運動器疾患に対する医学的診断や検査方法、治療に関連する最新英語論文の講読と討議を行う。	演習	<p>【予習】（90分） 運動器疾患に対する医学的診断や検査方法、治療について予習する。</p> <p>【復習】（90分） 授業の内容を復習する。</p>

別添資料4(旧)

2	池田浩	<u>運動器疾患に対する医学的診断や検査方法、治療に関連する最新英語論文の講読と討議を行う。</u>	演習	【予習】(90分) <u>運動器疾患に対する医学的診断や検査方法、治療について予習する。</u> 【復習】(90分) 授業の内容を復習する。
3	池田浩	<u>運動器疾患に対する医学的診断や検査方法、治療に関連する最新英語論文の講読と討議を行う。</u>	演習	【予習】(90分) <u>運動器疾患に対する医学的診断や検査方法、治療について予習する。</u> 【復習】(90分) 授業の内容を復習する。
4	相澤純也	<u>膝関節を中心とした下肢のスポーツ外傷・障害に対する理学療法に関連する最新英語論文の講読と討議を行う。</u>	演習	【予習】(90分) <u>膝関節を中心とした下肢のスポーツ外傷・障害に対する理学療法について予習する。</u> 【復習】(90分) 授業の内容を復習する。
5	相澤純也	<u>膝関節を中心とした下肢のスポーツ外傷・障害に対する理学療法に関連する最新英語論文の講読と討議を行う。</u>	演習	【予習】(90分) <u>膝関節を中心とした下肢のスポーツ外傷・障害に対する理学療法について予習する。</u> 【復習】(90分) 授業の内容を復習する。
6	相澤純也	<u>膝関節を中心とした下肢のスポーツ外傷・障害に対する理学療法に関連する最新英語論文の講読と討議を行う。</u>	演習	【予習】(90分) <u>膝関節を中心とした下肢のスポーツ外傷・障害に対する理学療法について予習する。</u> 【復習】(90分) 授業の内容を復習する。
7	相澤純也	<u>膝関節を中心とした下肢のスポーツ外傷・障害に対する理学療法に関連する最新英語論文の講読と討議を行う。</u>	演習	【予習】(90分) <u>膝関節を中心とした下肢のスポーツ外傷・障害に対する理学療法について予習する。</u> 【復習】(90分) 授業の内容を復習する。
8	飛山義憲	<u>股関節を中心とした運動器疾患に対する理学療法に関連する最新英語論文の講読と討議を行う。</u>	演習	【予習】(90分) <u>股関節を中心とした運動器疾患に対する理学療法について予習する。</u> 【復習】(90分)

別添資料4(旧)

				授業の内容を復習する。
9	飛山義憲	<u>股関節を中心とした運動器疾患に対する理学療法に関連する最新英語論文の講読と討議を行う。</u>	演習	【予習】(90分) 股関節を中心とした運動器疾患に対する理学療法について予習する。 【復習】(90分) 授業の内容を復習する。
10	飛山義憲	<u>膝関節を中心とした運動器疾患に対する理学療法に関連する最新英語論文の講読と討議を行う。</u>	演習	【予習】(90分) 膝関節を中心とした運動器疾患に対する理学療法について予習する。 【復習】(90分) 授業の内容を復習する。
11	飛山義憲	<u>膝関節を中心とした運動器疾患に対する理学療法に関連する最新英語論文の講読と討議を行う。</u>	演習	【予習】(90分) 膝関節を中心とした運動器疾患に対する理学療法について予習する。 【復習】(90分) 授業の内容を復習する。
12	宮森隆行	<u>脊椎を中心とした運動器疾患に対する理学療法に関連する最新英語論文の講読と討議を行う。</u>	演習	【予習】(90分) 脊椎を中心とした運動器疾患に対する理学療法について予習する。 【復習】(90分) 授業の内容を復習する。
13	宮森隆行	<u>脊椎を中心とした運動器疾患に対する理学療法に関連する最新英語論文の講読と討議を行う。</u>	演習	【予習】(90分) 脊椎を中心とした運動器疾患に対する理学療法について予習する。 【復習】(90分) 授業の内容を復習する。
14	宮森隆行	<u>脊椎を中心としたスポーツ外傷・障害に対する理学療法に関連する最新英語論文の講読と討議を行う。</u>	演習	【予習】(90分) 脊椎を中心としたスポーツ外傷・障害に対する理学療法について予習する。 【復習】(90分) 授業の内容を復習する。
15	宮森隆行	<u>脊椎を中心としたスポーツ外傷・障害に対する理学療法に関連する最新英語論文の講読と討議を行う。</u>	演習	【予習】(90分) 脊椎を中心としたスポーツ外傷・障害に対する理学療法について予習する。

## 別添資料4(旧)

				【復習】(90分) 授業の内容を復習する。
--	--	--	--	--------------------------

## 別添資料4(旧)

科目名	運動器・スポーツ理学療法学特講演習Ⅱ	授業形態	演習	
英語科目名	Advanced Seminar on Physical Therapy for Musculoskeletal and Sports Disorders II	開講学期	後期	
対象学年	2年	単位数	2	
代表教員	宮森隆行			
担当教員	池田浩、相澤純也、飛山義憲、宮森隆行			
<b>授業概要（全体内容）</b>				
<p>運動器・スポーツ理学療法領域に関連する学術研究を積極的に分析し、研究課題に関連した専門的知識や研究遂行技術を学ぶため、最新の診療ガイドラインを広く検索し、学術的専門知識を深める。また、診療ガイドラインの内容から今後の臨床的課題を理解し、その臨床的課題を解決するための研究デザインや、方法、解析方法を考察し、論理的解釈に基づく討議を行い、各自の研究に応用できる運動器・スポーツ理学療法領域の研究を遂行する能力を養成する。</p> <p>授業は演習形態で行い、診療ガイドラインから推察される今後の臨床的課題から、自身の研究に応用できる研究デザインや考察についてまとめる。サマリーやレビュー論文のまとめを通して研究課題に関連した専門的知識や研究探索能力を身につける。</p>				
<b>達成目標</b>				
<ul style="list-style-type: none"> <li>・運動器・スポーツ理学療法に関連する最新の診療ガイドラインを広く検索することができる。</li> <li>・診療ガイドラインの内容から今後の臨床的課題を理解し、解決するための研究デザインや方法、解析方法を提案できる。</li> <li>・討議の資料作成を通して図表の作成、成果発表ができる。</li> </ul>				
<b>ディプロマ・ポリシー（学位授与の方針）との関連</b>				
理学 DP-1				
<b>履修上の注意、履修要件</b>				
<ul style="list-style-type: none"> <li>・運動器・スポーツ理学療法学特講、運動器・スポーツ理学療法学特講演習Ⅰの復習を十分に行い、各回の授業前後には必ず予習、復習を行うこと。</li> <li>・授業中や授業終了後、わからない部分があれば、必ず担当教員に質問すること。</li> <li>・授業中は積極的に発言すること。</li> </ul>				
<b>成績評価の方法</b>				
授業中の課題を評価し（100%）、最終評価を行う。				
<b>試験・課題等に対するフィードバック方法</b>				
授業内や Juntendo Passport を使用してフィードバックを返却する。				
<b>テキスト・参考文献</b>				
適宜、資料を配布する。				
<b>連絡先・オフィスアワー</b>				
事前メールにて随時対応。				
メールアドレス：y.hiyama.cj@juntendo.ac.jp				
<b>授業計画【授業内容と授業時間外の指導等】</b>				
授業回	担当者	授業内容	授業方法	予習・復習・レポート課題等と学習時間
1	池田浩	<u>運動器疾患に対する医学的診断や検査方法、治療に関連する国内外の最新ガイドラインの講読と討議を通じて、専門的知識や</u>	演習	【予習】（90分） <u>運動器疾患に対する医学的診断や検査方法、治療について予</u>

別添資料4(旧)

		<u>研究遂行技術を学ぶ。</u>		習する。 【復習】(90分) 授業の内容を復習する。
2	池田浩	<u>運動器疾患に対する医学的診断や検査方法、治療に関連する国内外の最新ガイドラインの講読と討議を通じて、専門的知識や研究遂行技術を学ぶ。</u>	演習	【予習】(90分) <u>運動器疾患に対する医学的診断や検査方法、治療について予習する。</u> 【復習】(90分) 授業の内容を復習する。
3	池田浩	<u>運動器疾患に対する医学的診断や検査方法、治療に関連する国内外の最新ガイドラインの講読と討議を通じて、専門的知識や研究遂行技術を学ぶ。</u>	演習	【予習】(90分) <u>運動器疾患に対する医学的診断や検査方法、治療について予習する。</u> 【復習】(90分) 授業の内容を復習する。
4	相澤純也	<u>膝関節を中心とした下肢のスポーツ外傷・障害に対する理学療法に関連する国内外の最新ガイドラインの講読と討議を通じて、専門的知識や研究遂行技術を学ぶ。</u>	演習	【予習】(90分) <u>膝関節を中心とした下肢のスポーツ外傷・障害に対する理学療法について予習する。</u> 【復習】(90分) 授業の内容を復習する。
5	相澤純也	<u>膝関節を中心とした下肢のスポーツ外傷・障害に対する理学療法に関連する国内外の最新ガイドラインの講読と討議を通じて、専門的知識や研究遂行技術を学ぶ。</u>	演習	【予習】(90分) <u>膝関節を中心とした下肢のスポーツ外傷・障害に対する理学療法について予習する。</u> 【復習】(90分) 授業の内容を復習する。
6	相澤純也	<u>膝関節を中心とした下肢のスポーツ外傷・障害に対する理学療法に関連する国内外の最新ガイドラインの講読と討議を通じて、専門的知識や研究遂行技術を学ぶ。</u>	演習	【予習】(90分) <u>膝関節を中心とした下肢のスポーツ外傷・障害に対する理学療法について予習する。</u> 【復習】(90分) 授業の内容を復習する。
7	相澤純也	<u>膝関節を中心とした下肢のスポーツ外傷・障害に対する理学療法に関連する国内外の最新ガイドラインの講読と討議を通じて、専門的知識や研究遂行技術を学ぶ。</u>	演習	【予習】(90分) <u>膝関節を中心とした下肢のスポーツ外傷・障害に対する理学療法について予習する。</u> 【復習】(90分) 授業の内容を復習する。
8	飛山義憲	<u>股関節を中心とした運動器疾患に対する理学療法に関連する国内外の最新ガイドライ</u>	演習	【予習】(90分) <u>股関節を中心とした運動器疾</u>

別添資料4(旧)

		<u>ンの講読と討議を通じて、専門的知識や研究遂行技術を学ぶ。</u>		患に対する理学療法について予習する。 【復習】(90分) 授業の内容を復習する。
9	飛山義憲	<u>股関節を中心とした運動器疾患に対する理学療法に関連する国内外の最新ガイドラインの講読と討議を通じて、専門的知識や研究遂行技術を学ぶ。</u>	演習	【予習】(90分) <u>股関節を中心とした運動器疾患に対する理学療法について予習する。</u> 【復習】(90分) 授業の内容を復習する。
10	飛山義憲	<u>膝関節を中心とした運動器疾患に対する理学療法に関連する国内外の最新ガイドラインの講読と討議を通じて、専門的知識や研究遂行技術を学ぶ。</u>	演習	【予習】(90分) <u>膝関節を中心とした運動器疾患に対する理学療法について予習する。</u> 【復習】(90分) 授業の内容を復習する。
11	飛山義憲	<u>膝関節を中心とした運動器疾患に対する理学療法に関連する国内外の最新ガイドラインの講読と討議を通じて、専門的知識や研究遂行技術を学ぶ。</u>	演習	【予習】(90分) <u>膝関節を中心とした運動器疾患に対する理学療法について予習する。</u> 【復習】(90分) 授業の内容を復習する。
12	宮森隆行	<u>脊椎を中心とした運動器疾患に対する理学療法に関連する国内外の最新ガイドラインの講読と討議を通じて、専門的知識や研究遂行技術を学ぶ。</u>	演習	【予習】(90分) <u>脊椎を中心とした運動器疾患に対する理学療法について予習する。</u> 【復習】(90分) 授業の内容を復習する。
13	宮森隆行	<u>脊椎を中心とした運動器疾患に対する理学療法に関連する国内外の最新ガイドラインの講読と討議を通じて、専門的知識や研究遂行技術を学ぶ。</u>	演習	【予習】(90分) <u>脊椎を中心とした運動器疾患に対する理学療法について予習する。</u> 【復習】(90分) 授業の内容を復習する。
14	宮森隆行	<u>脊椎を中心としたスポーツ外傷・障害に対する理学療法に関連する国内外の最新ガイドラインの講読と討議を通じて、専門的知識や研究遂行技術を学ぶ。</u>	演習	【予習】(90分) <u>脊椎を中心としたスポーツ外傷・障害に対する理学療法について予習する。</u> 【復習】(90分) 授業の内容を復習する。
15	宮森隆行	<u>脊椎を中心としたスポーツ外傷・障害に対</u>	演習	【予習】(90分)

## 別添資料4(旧)

		<u>する理学療法に関連する国内外の最新ガイドラインの講読と討議を通じて、専門的知識や研究遂行技術を学ぶ。</u>	<u>脊椎を中心としたスポーツ外傷・障害に対する理学療法について予習する。</u>  【復習】(90分) 授業の内容を復習する。
--	--	---	---

## 別添資料4(旧)

科目名	内部機能障害理学療法学特講		授業形態	講義
英語科目名	Advanced Lecture on Physical Therapy for Internal Disorders		開講学期	通年
対象学年	1年		単位数	2
代表教員	高橋哲也			
担当教員	高橋哲也、森沢知之、齊藤正和			
授業概要 (全体内容)	内部障害理学療法学における新たな理論構築や方法論の展開に資する高度な専門知識や治療技術を学ぶために、内部障害の原因となる各種疾患についての病態の理解を深めるとともに、内部障害に関連する臨床的課題について最新の研究を探究し、臨床的・社会的・運動生理学的な視点からの批判的な討議を通して、最新知見についての理解を深める。			
達成目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>内部障害理学療法最新の研究の特徴を説明することができる。</li> <li>内部障害の原因となる各種疾患について最新の研究動向を説明することができる。</li> <li>内部障害理学療法に関連する臨床的課題について説明することができる。</li> </ul>			
ディプロマ・ポリシー (学位授与の方針) との関連	理学 DP-1			
履修上の注意、履修要件	<ul style="list-style-type: none"> <li>各回の講義前後には必ず予習、復習を行うこと。</li> <li>講義中や講義終了後、わからない部分があれば、必ず担当教員に質問すること。</li> <li>講義中は積極的に発言すること。</li> </ul>			
成績評価の方法	授業中の課題を評価し (100%)、最終評価を行う			
試験・課題等に対するフィードバック方法	授業内や Juntendo Passport を使用してフィードバックを返却する。			
テキスト・参考文献	適宜、資料を配布する。			
連絡先・オフィスアワー	<ul style="list-style-type: none"> <li>事前メールにて随時対応。</li> </ul> メールアドレス : te-takahashi@juntendo.ac.jp			
授業計画【授業内容と授業時間外の指導等】				
授業回	担当者	授業内容	授業方法	予習・復習・レポート課題等と学習時間
1	高橋 哲也	<u>循環器疾患に対する理学療法について、最新の研究結果から、高度な専門知識や治療技術を学ぶ</u>	講義	<b>【予習】 (90分)</b> <u>循環器疾患に対する理学療法について予習する</u> <b>【復習】 (90分)</b> 授業の内容を復習する
2	高橋 哲也	<u>循環器合併症に対する理学療法について、最新の研究結果から、高度な専門知識や治療技術を学ぶ</u>	講義	<b>【予習】 (90分)</b> <u>循環器合併症に対する理学療法について予習する</u> <b>【復習】 (90分)</b> 授業の内容を復習する

別添資料4(旧)

3	高橋 哲也	<u>急性期理学療法について、最新の研究結果から、高度な専門知識や治療技術を学ぶ</u>	講義	【予習】(90分) <u>急性期理学療法について予習する</u> 【復習】(90分) 授業の内容を復習する
4	高橋 哲也	<u>救急救命の理学療法について、最新の研究結果から、高度な専門知識や治療技術を学ぶ</u>	講義	【予習】(90分) <u>救急救命の理学療法についてについて予習する</u> 【復習】(90分) 授業の内容を復習する
5	高橋 哲也	<u>集中治療の理学療法について、最新の研究結果から、高度な専門知識や治療技術を学ぶ</u>	講義	【予習】(90分) <u>集中治療の理学療法についてについて予習する</u> 【復習】(90分) 授業の内容を復習する
6	森沢 知之	<u>呼吸器疾患に対する理学療法について、最新の研究結果から、高度な専門知識や治療技術を学ぶ</u>	講義	【予習】(90分) <u>呼吸器疾患に対する理学療法について予習する</u> 【復習】(90分) 授業の内容を復習する
7	森沢 知之	<u>呼吸器合併症に対する理学療法について、最新の研究結果から、高度な専門知識や治療技術を学ぶ</u>	講義	【予習】(90分) <u>呼吸器合併症に対する理学療法について予習する</u> 【復習】(90分) 授業の内容を復習する
8	森沢 知之	<u>回復期理学療法について、最新の研究結果から、高度な専門知識や治療技術を学ぶ</u>	講義	【予習】(90分) <u>回復期理学療法について予習する</u> 【復習】(90分) 授業の内容を復習する
9	森沢 知之	<u>呼吸筋に対する理学療法について、最新の研究結果から、高度な専門知識や治療技術を学ぶ</u>	講義	【予習】(90分) <u>呼吸筋に対する理学療法について予習する</u> 【復習】(90分) 授業の内容を復習する
10	森沢 知之	<u>がんの理学療法について、最新の研究結果から、高度な専門知識や治療技術を学ぶ</u>	講義	【予習】(90分) <u>がんの理学療法について予習する</u> 【復習】(90分) 授業の内容を復習する
11	齊藤 正和	<u>腎臓疾患の理学療法について、最新の研究</u>	講義	【予習】(90分)

別添資料4(旧)

		<u>結果から、高度な専門知識や治療技術を学ぶ</u>		腎臓疾患の理学療法について <u>予習する</u> 【復習】(90分) 授業の内容を復習する
12	齊藤 正和	<u>腎疾患合併症に対する理学療法について、最新の研究結果から、高度な専門知識や治療技術を学ぶ</u>	講義	【予習】(90分) <u>腎疾患合併症に対する理学療法について予習する</u> 【復習】(90分) 授業の内容を復習する
13	齊藤 正和	<u>生活期理学療法について、最新の研究結果から、高度な専門知識や治療技術を学ぶ</u>	講義	【予習】(90分) <u>生活期理学療法について予習する</u> 【復習】(90分) 授業の内容を復習する
14	齊藤 正和	<u>糖尿病の理学療法について、最新の研究結果から、高度な専門知識や治療技術を学ぶ</u>	講義	【予習】(90分) <u>糖尿病の理学療法について予習する</u> 【復習】(90分) 授業の内容を復習する
15	齊藤 正和	<u>サルコペニア・フレイルの理学療法について、最新の研究結果から、高度な専門知識や治療技術を学ぶ</u>	講義	【予習】(90分) <u>サルコペニア・フレイルの理学療法について予習する</u> 【復習】(90分) 授業の内容を復習する

## 別添資料4(旧)

科目名	内部機能障害理学療法学特講演習 I	授業形態	演習	
英語科目名	Advanced Seminar on Physical Therapy for Internal Disorders I	開講学期	前期	
対象学年	2年	単位数	2	
代表教員	森沢知之			
担当教員	高橋哲也、森沢知之、齊藤正和			
<b>授業概要（全体内容）</b>				
<p>内部障害理学療法領域に関連する学術研究を積極的に分析し、研究課題に関連した専門的知識や研究遂行技術を学ぶため、最新の研究論文を広く検索し、研究論文の批判的吟味を行い、学術的専門知識と研究のトレンドについて理解を深める。また、自身の研究課題に関連するトピックスについて、研究方法、解析方法、結果の解釈について論理的解釈に基づく討議を行い、各自の研究に応用できる内部障害理学療法領域の研究を遂行する能力を養成する。</p> <p>授業は演習形態で行い、自身の研究の考察に生きる内容についてまとめる。討議の資料作成を通して図表の作成方法など研究成果発表に必要な技術を学修することで、汎用性の高いテクニックを身につける。</p>				
<b>達成目標</b>				
<ul style="list-style-type: none"> <li>内部障害理学療法領域に関連する最新の研究論文を広く検索することができる。</li> <li>内部障害理学療法領域に関連する研究論文の批判的吟味を行うことができる</li> <li>討議の資料作成を通して図表の作成、成果発表ができる。</li> </ul>				
<b>ディプロマ・ポリシー（学位授与の方針）との関連</b>				
理学 DP-1				
<b>履修上の注意、履修要件</b>				
<ul style="list-style-type: none"> <li>各回の講義前後には必ず予習、復習を行うこと。</li> <li>講義中や講義終了後、わからない部分があれば、必ず担当教員に質問すること。</li> <li>講義中は積極的に発言すること。</li> </ul>				
<b>成績評価の方法</b>				
授業中の課題を評価し（100%）、最終評価を行う				
<b>試験・課題等に対するフィードバック方法</b>				
授業内や Juntendo Passport を使用してフィードバックを返却する。				
<b>テキスト・参考文献</b>				
適宜、資料を配布する。				
<b>連絡先・オフィスアワー</b>				
<ul style="list-style-type: none"> <li>事前メールにて随時対応。</li> </ul> メールアドレス：t.morisawa.ul@juntendo.ac.jp				
<b>授業計画【授業内容と授業時間外の指導等】</b>				
授業回	担当者	授業内容	授業方法	予習・復習・レポート課題等と学習時間
1	高橋 哲也	<u>循環器疾患や循環器合併症に対する理学療法に関連する最新英語文献の講読と討議を行う。</u>	演習	<b>【予習】</b> (90分) <u>循環器疾患に対する理学療法について予習する</u> <b>【復習】</b> (90分) 授業の内容を復習する
2	高橋 哲也	<u>循環器疾患や循環器合併症に対する理学療法に関連する最新英語文献の講読と討議を</u>	演習	<b>【予習】</b> (90分) <u>循環器疾患に対する理学療法</u>

別添資料4(旧)

		<u>行う。</u>		<u>について予習する</u> 【復習】(90分) 授業の内容を復習する
3	高橋 哲也	<u>循環器疾患や循環器合併症に対する理学療法に関連する最新英語文献の講読と討議を行う。</u>	演習	【予習】(90分) <u>循環器疾患に対する理学療法について予習する</u> 【復習】(90分) 授業の内容を復習する
4	高橋 哲也	<u>循環器疾患や循環器合併症に対する理学療法に関連する最新英語文献の講読と討議を行う。</u>	演習	【予習】(90分) <u>循環器疾患に対する理学療法について予習する</u> 【復習】(90分) 授業の内容を復習する
5	高橋 哲也	<u>循環器疾患や循環器合併症に対する理学療法に関連する最新英語文献の講読と討議を行う。</u>	演習	【予習】(90分) <u>循環器疾患に対する理学療法について予習する</u> 【復習】(90分) 授業の内容を復習する
6	森沢 知之	<u>呼吸器疾患や呼吸器合併症に対する理学療法に関連する最新英語文献の講読と討議を行う。</u>	演習	【予習】(90分) <u>呼吸器疾患に対する理学療法について予習する</u> 【復習】(90分) 授業の内容を復習する
7	森沢 知之	<u>呼吸器疾患や呼吸器合併症に対する理学療法に関連する最新英語文献の講読と討議を行う。</u>	演習	【予習】(90分) <u>呼吸器疾患に対する理学療法について予習する</u> 【復習】(90分) 授業の内容を復習する
8	森沢 知之	<u>呼吸器疾患や呼吸器合併症に対する理学療法に関連する最新英語文献の講読と討議を行う。</u>	演習	【予習】(90分) <u>呼吸器疾患に対する理学療法について予習する</u> 【復習】(90分) 授業の内容を復習する
9	森沢 知之	<u>呼吸器疾患や呼吸器合併症に対する理学療法に関連する最新英語文献の講読と討議を行う。</u>	演習	【予習】(90分) <u>呼吸器疾患に対する理学療法について予習する</u> 【復習】(90分) 授業の内容を復習する
10	森沢 知之	<u>呼吸器疾患や呼吸器合併症に対する理学療法に関連する最新英語文献の講読と討議を行う。</u>	演習	【予習】(90分) <u>呼吸器疾患に対する理学療法について予習する</u>

別添資料4(旧)

				【復習】(90分) 授業の内容を復習する
11	齊藤 正和	<u>腎臓疾患や腎臓合併症に対する理学療法に関連する最新英語文献の講読と討議を行う。</u>	演習	【予習】(90分) <u>腎臓疾患の理学療法について予習する</u> 【復習】(90分) 授業の内容を復習する
12	齊藤 正和	<u>腎臓疾患や腎臓合併症に対する理学療法に関連する最新英語文献の講読と討議を行う。</u>	演習	【予習】(90分) <u>腎臓疾患の理学療法について予習する</u> 【復習】(90分) 授業の内容を復習する
13	齊藤 正和	<u>腎臓疾患や腎臓合併症に対する理学療法に関連する最新英語文献の講読と討議を行う。</u>	演習	【予習】(90分) <u>腎臓疾患の理学療法について予習する</u> 【復習】(90分) 授業の内容を復習する
14	齊藤 正和	<u>腎臓疾患や腎臓合併症に対する理学療法に関連する最新英語文献の講読と討議を行う。</u>	演習	【予習】(90分) <u>腎臓疾患の理学療法について予習する</u> 【復習】(90分) 授業の内容を復習する
15	齊藤 正和	<u>腎臓疾患や腎臓合併症に対する理学療法に関連する最新英語文献の講読と討議を行う。</u>	演習	【予習】(90分) <u>腎臓疾患の理学療法について予習する</u> 【復習】(90分) 授業の内容を復習する

## 別添資料4(旧)

科目名	内部機能障害理学療法学特講演習Ⅱ		授業形態	演習
英語科目名	Advanced Seminar on Physical Therapy for Internal Disorders Ⅱ		開講学期	後期
対象学年	2年		単位数	2
代表教員	齊藤正和			
担当教員	高橋哲也、森沢知之、齊藤正和			
<b>授業概要（全体内容）</b>				
<p>内部障害理学療法領域に関連する学術研究を積極的に分析し、研究課題に関連した専門的知識や研究遂行技術を学ぶため、最新の診療ガイドラインを広く検索し、学術的専門知識を深める。また、診療ガイドラインの内容から今日的臨床の課題に関連するトピックスについて、研究方法、解析方法、結果の解釈について論理的解釈に基づく討議を行い、各自の研究に応用できる内部障害理学療法領域の研究を遂行する能力を養成する。</p> <p>授業は演習形態で行い、自身の研究の考察に生きる内容についてまとめる。サマリーやレビュー論文のまとめを通して研究課題に関連した専門的知識や研究探索能力を身につける。</p>				
<b>達成目標</b>				
<ul style="list-style-type: none"> <li>内部障害理学療法領域に関連する最新の診療ガイドラインを広く検索することができる。</li> <li>診療ガイドラインの内容から今日的臨床の課題に関連するトピックスを抽出することができる</li> <li>討議の資料作成を通して図表の作成、成果発表ができる。</li> </ul>				
<b>ディプロマ・ポリシー（学位授与の方針）との関連</b>				
理学 DP-1				
<b>履修上の注意、履修要件</b>				
<ul style="list-style-type: none"> <li>各回の講義前後には必ず予習、復習を行うこと。</li> <li>講義中や講義終了後、わからない部分があれば、必ず担当教員に質問すること。</li> <li>講義中は積極的に発言すること。</li> </ul>				
<b>成績評価の方法</b>				
レポート課題（100%）で最終評価を行う				
<b>試験・課題等に対するフィードバック方法</b>				
授業内や Juntendo Passport を使用してフィードバックを返却する。				
<b>テキスト・参考文献</b>				
適宜、資料を配布する。				
<b>連絡先・オフィスアワー</b>				
<ul style="list-style-type: none"> <li>事前メールにて随時対応。</li> </ul> メールアドレス：m.saito.tl@juntendo.ac.jp				
<b>授業計画【授業内容と授業時間外の指導等】</b>				
授業回	担当者	授業内容	授業方法	予習・復習・レポート課題等と学習時間
1	高橋 哲也	急性期理学療法や、救急救命・集中治療、循環器理学療法における理学療法に関連する国内外の最新ガイドラインの講読と討議を通じて、専門的知識や研究遂行技術を学ぶ	演習	<b>【予習】</b> （90分） 急性期理学療法について予習する <b>【復習】</b> （90分） 授業の内容を復習する
2	高橋 哲也	急性期理学療法や、救急救命・集中治療、循環器理学療法における理学療法に関連する	演習	<b>【予習】</b> （90分） 急性期理学療法について予習

別添資料4(旧)

		<u>国内外の最新ガイドラインの講読と討議を通じて、専門的知識や研究遂行技術を学ぶ</u>		する 【復習】(90分) 授業の内容を復習する
3	高橋 哲也	<u>急性期理学療法や、救急救命・集中治療、循環器理学療法における理学療法に関連する国内外の最新ガイドラインの講読と討議を通じて、専門的知識や研究遂行技術を学ぶ</u>	演習	【予習】(90分) <u>急性期理学療法について予習する</u> 【復習】(90分) 授業の内容を復習する
4	高橋 哲也	<u>急性期理学療法や、救急救命・集中治療、循環器理学療法における理学療法に関連する国内外の最新ガイドラインの講読と討議を通じて、専門的知識や研究遂行技術を学ぶ</u>	演習	【予習】(90分) <u>急性期理学療法について予習する</u> 【復習】(90分) 授業の内容を復習する
5	高橋 哲也	<u>急性期理学療法や、救急救命・集中治療、循環器理学療法における理学療法に関連する国内外の最新ガイドラインの講読と討議を通じて、専門的知識や研究遂行技術を学ぶ</u>	演習	【予習】(90分) <u>急性期理学療法について予習する</u> 【復習】(90分) 授業の内容を復習する
6	森沢 知之	<u>回復期理学療法や、呼吸器疾患、がんの理学療法に関連する国内外の最新ガイドラインの講読と討議を通じて、専門的知識や研究遂行技術を学ぶ</u>	演習	【予習】(90分) <u>回復期理学療法について予習する</u> 【復習】(90分) 授業の内容を復習する
7	森沢 知之	<u>回復期理学療法や、呼吸器疾患、がんの理学療法に関連する国内外の最新ガイドラインの講読と討議を通じて、専門的知識や研究遂行技術を学ぶ</u>	演習	【予習】(90分) <u>回復期理学療法について予習する</u> 【復習】(90分) 授業の内容を復習する
8	森沢 知之	<u>回復期理学療法や、呼吸器疾患、がんの理学療法に関連する国内外の最新ガイドラインの講読と討議を通じて、専門的知識や研究遂行技術を学ぶ</u>	演習	【予習】(90分) <u>回復期理学療法について予習する</u> 【復習】(90分) 授業の内容を復習する
9	森沢 知之	<u>回復期理学療法や、呼吸器疾患、がんの理学療法に関連する国内外の最新ガイドラインの講読と討議を通じて、専門的知識や研究遂行技術を学ぶ</u>	演習	【予習】(90分) <u>回復期理学療法について予習する</u> 【復習】(90分) 授業の内容を復習する
10	森沢 知之	<u>回復期理学療法や、呼吸器疾患、がんの理学療法に関連する国内外の最新ガイドラインの講読と討議を通じて、専門的知識や研究</u>	演習	【予習】(90分) <u>回復期理学療法について予習する</u>

別添資料4(旧)

		<u>遂行技術を学ぶ</u>		【復習】(90分) 授業の内容を復習する
11	齊藤 正和	<u>生活期理学療法や、腎臓疾患、サルコペニア・フレイルの理学療法に関連する国内外の最新ガイドラインの講読と討議を通じて、専門的知識や研究遂行技術を学ぶ</u>	演習	【予習】(90分) <u>生活期の理学療法について予習する</u> 【復習】(90分) 授業の内容を復習する
12	齊藤 正和	<u>生活期理学療法や、腎臓疾患、サルコペニア・フレイルの理学療法に関連する国内外の最新ガイドラインの講読と討議を通じて、専門的知識や研究遂行技術を学ぶ</u>	演習	【予習】(90分) <u>生活期の理学療法について予習する</u> 【復習】(90分) 授業の内容を復習する
13	齊藤 正和	<u>生活期理学療法や、腎臓疾患、サルコペニア・フレイルの理学療法に関連する国内外の最新ガイドラインの講読と討議を通じて、専門的知識や研究遂行技術を学ぶ</u>	演習	【予習】(90分) <u>生活期の理学療法について予習する</u> 【復習】(90分) 授業の内容を復習する
14	齊藤 正和	<u>生活期理学療法や、腎臓疾患、サルコペニア・フレイルの理学療法に関連する国内外の最新ガイドラインの講読と討議を通じて、専門的知識や研究遂行技術を学ぶ</u>	演習	【予習】(90分) <u>生活期の理学療法について予習する</u> 【復習】(90分) 授業の内容を復習する
15	齊藤 正和	<u>生活期理学療法や、腎臓疾患、サルコペニア・フレイルの理学療法に関連する国内外の最新ガイドラインの講読と討議を通じて、専門的知識や研究遂行技術を学ぶ</u>	演習	【予習】(90分) <u>生活期の理学療法について予習する</u> 【復習】(90分) 授業の内容を復習する

## 別添資料4(旧)

科目名	神経・運動制御理学療法学特別研究		授業形態	演習
英語科目名	Doctoral Research on Physical Therapy for Neuroscience and Motor control		開講学期	通年
対象学年	1～3年		単位数	4
代表教員	藤原俊之			
担当教員	藤原俊之、松田雅弘、春山幸志郎、高橋容子、藤野雄次			
授業概要（全体内容）	<p>理学療法とそれをめぐる課題、臨床的問題等を取り上げた理学療法学研究の指導を行う。本科目では、主研究指導教員と副研究指導教員の2名体制によって、理学療法学研究の指導を行う。主副2名の研究指導教員は、同一分野の教員が当たる。主研究指導教員は、研究のオリジナリティー、背景因子の探索、テーマ決定、研究計画の立案、研究実施、学会発表、論文執筆等を一貫して指導する。副研究指導教員は専門的見地から研究の幅を広げるための補助的指導を行う。研究課題に係わる国内外での学会に参加して専門分野の学識を深め、国内外の専門家との積極的に交流することを目標とする。また、学会発表や論文公表等により研究結果を公表するとともに、博士論文としてまとめ、発表を行う。</p>			
達成目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>研究課題に係わる国内外での学会に参加して専門家との積極的に交流することができる</li> <li>学会発表や論文公表等により研究結果を公表することができる</li> <li>博士論文をまとめることができる</li> <li>理学療法領域の発展や専門知識・技術の向上・開発を図るために、科学的思考・論理的思考に基づき独創的な研究活動を行うことができる。</li> <li>研究を推進するに当たり、研究者に必要な研究倫理の公理に基づいて実施できる。</li> </ul>			
ディプロマ・ポリシー（学位授与の方針）との関連	理学 DP-2、理学 DP-3			
履修上の注意、履修要件	研究指導スケジュールに沿って研究を計画通りに進捗させること。			
成績評価の方法	博士論文作成（50%）、口頭試問（50%）			
試験・課題等に対するフィードバック方法	学生個人へメールや連絡システムを用いてフィードバックする。			
テキスト・参考文献	指定しない			
連絡先・オフィスアワー	<p>各担当教員がメールで連絡を受け付け、随時対応する。</p> <p>藤原 (t-fujiwara@juntendo.ac.jp)、松田 (t.matsuda.ye@juntendo.ac.jp)、春山 (k.haruyama.us@juntendo.ac.jp) 高橋 (y.takahashi.jk@juntendo.ac.jp)、藤野 (y.fujino.pb@juntendo.ac.jp)。</p>			
授業計画【授業内容と授業時間外の指導等】				
授業回	担当者	授業内容	授業方法	予習・復習・レポート課題等と学習時間
1	藤原俊之 松田雅弘 春山幸志郎 高橋容子	研究課題の文献考証	演習	<p>【予習】(90分)</p> <p>研究課題に関わる文献をまとめておく。</p> <p>【復習】(90分)</p>

別添資料4(旧)

	藤野雄次			まとめた文献についてアブストラクトテーブルを作成する。
2	藤原俊之 松田雅弘 春山幸志郎 高橋容子 藤野雄次	研究課題の文献考証	演習	【予習】(90分) 研究課題に関わる文献をまとめておく。 【復習】(90分) まとめた文献についてアブストラクトテーブルを作成する。
3	藤原俊之 松田雅弘 春山幸志郎 高橋容子 藤野雄次	研究課題の文献考証	演習	【予習】(90分) 研究課題に関わる文献をまとめておく。 【復習】(90分) まとめた文献についてアブストラクトテーブルを作成する。
4	藤原俊之 松田雅弘 春山幸志郎 高橋容子 藤野雄次	研究課題の文献考証	演習	【予習】(90分) 研究課題に関わる文献をまとめておく。 【復習】(90分) まとめた文献についてアブストラクトテーブルを作成する。
5	藤原俊之 松田雅弘 春山幸志郎 高橋容子 藤野雄次	博士後期課程研究計画書作成	演習	【予習】(90分) 研究デザイン、方法、解析方法等を考察すること。 【復習】(90分) 作成した計画書に対するフィードバックを基に修正する。
6	藤原俊之 松田雅弘 春山幸志郎 高橋容子 藤野雄次	研究課題の文献考証	演習	【予習】(90分) 計画書に対するフィードバックを基に研究課題に関わる文献を再度まとめる。 【復習】(90分) アブストラクトテーブルおよび計画書を修正する。
7	藤原俊之 松田雅弘 春山幸志郎 高橋容子 藤野雄次	研究課題の文献考証	演習	【予習】(90分) 計画書に対するフィードバックを基に研究課題に関わる文献を再度まとめる。 【復習】(90分) アブストラクトテーブルおよび計画書を修正する。
8	藤原俊之	倫理委員会申請書作成	演習	【予習】(90分)

## 別添資料4(旧)

	松田雅弘 春山幸志郎 高橋容子 藤野雄次			計画書を基に、倫理委員会申請書案を作成する。 【復習】(90分) フィードバックを基に修正する。
9	藤原俊之 松田雅弘 春山幸志郎 高橋容子 藤野雄次	倫理委員会申請書作成	演習	【予習】(90分) 計画書を基に、倫理委員会申請書案を作成する。 【復習】(90分) フィードバックを基に修正する。
10	藤原俊之 松田雅弘 春山幸志郎 高橋容子 藤野雄次	倫理委員会申請書作成	演習	【予習】(90分) 計画書を基に、倫理委員会申請書案を作成する。 【復習】(90分) フィードバックを基に修正する。
11	藤原俊之 松田雅弘 春山幸志郎 高橋容子 藤野雄次	調査・実験を遂行。収集したデータを解析し考察する。	演習	【予習】(90分) 計画書を基に、遂行に向けた準備を行う。 【復習】(90分) 収集したデータをまとめる。
12	藤原俊之 松田雅弘 春山幸志郎 高橋容子 藤野雄次	調査・実験を遂行。収集したデータを解析し考察する。	演習	【予習】(90分) 計画書を基に、遂行に向けた準備を行う。 【復習】(90分) 収集したデータをまとめる。
13	藤原俊之 松田雅弘 春山幸志郎 高橋容子 藤野雄次	調査・実験を遂行。収集したデータを解析し考察する。	演習	【予習】(90分) 計画書を基に、遂行に向けた準備を行う。 【復習】(90分) 収集したデータをまとめる。
14	藤原俊之 松田雅弘 春山幸志郎 高橋容子 藤野雄次	調査・実験を遂行。収集したデータを解析し考察する。	演習	【予習】(90分) 計画書を基に、遂行に向けた準備を行う。 【復習】(90分) 収集したデータをまとめる。
15	藤原俊之 松田雅弘 春山幸志郎 高橋容子	調査・実験を遂行。収集したデータを解析し考察する。	演習	【予習】(90分) 計画書を基に、遂行に向けた準備を行う。 【復習】(90分)

別添資料4(旧)

	藤野雄次			収集したデータをまとめる。
16	藤原俊之 松田雅弘 春山幸志郎 高橋容子 藤野雄次	研究進捗状況報告書作成	演習	【予習】(90分) ここまでの研究進捗状況をまとめ、報告書案を作成する。 【復習】(90分) フィードバックを基に修正する。
17	藤原俊之 松田雅弘 春山幸志郎 高橋容子 藤野雄次	調査・実験を遂行。収集したデータを解析し考察する。	演習	【予習】(90分) 計画書を基に、遂行に向けた準備を行う。 【復習】(90分) 収集したデータをまとめる。
18	藤原俊之 松田雅弘 春山幸志郎 高橋容子 藤野雄次	調査・実験を遂行。収集したデータを解析し考察する。	演習	【予習】(90分) 計画書を基に、遂行に向けた準備を行う。 【復習】(90分) 収集したデータをまとめる。
19	藤原俊之 松田雅弘 春山幸志郎 高橋容子 藤野雄次	調査・実験を遂行。収集したデータを解析し考察する。	演習	【予習】(90分) 計画書を基に、遂行に向けた準備を行う。 【復習】(90分) 収集したデータをまとめる。
20	藤原俊之 松田雅弘 春山幸志郎 高橋容子 藤野雄次	調査・実験を遂行。収集したデータを解析し考察する。	演習	【予習】(90分) 計画書を基に、遂行に向けた準備を行う。 【復習】(90分) 収集したデータをまとめる。
21	藤原俊之 松田雅弘 春山幸志郎 高橋容子 藤野雄次	調査・実験を遂行。収集したデータを解析し考察する。	演習	【予習】(90分) 計画書を基に、遂行に向けた準備を行う。 【復習】(90分) 収集したデータをまとめる。
22	藤原俊之 松田雅弘 春山幸志郎 高橋容子 藤野雄次	研究進捗状況報告書作成 研究経過発表会(中間発表会)で報告	演習	【予習】(90分) ここまでの研究進捗状況をまとめ、報告書案を作成する。 【復習】(90分) フィードバックを基に修正し、研究経過発表会に向けた資料を作成する。
23	藤原俊之 松田雅弘	調査・実験を遂行。収集したデータを解析し考察する。	演習	【予習】(90分) 計画書を基に、遂行に向けた準備

別添資料4(旧)

	春山幸志郎 高橋容子 藤野雄次			備を行う。 【復習】(90分) 収集したデータをまとめる。
24	藤原俊之 松田雅弘 春山幸志郎 高橋容子 藤野雄次	調査・実験を遂行。収集したデータを解析し 考察する。	演習	【予習】(90分) 計画書を基に、遂行に向けた準備 を行う。 【復習】(90分) 収集したデータをまとめる。
25	藤原俊之 松田雅弘 春山幸志郎 高橋容子 藤野雄次	予備審査会で発表する 単位の取得見込み状況、国内外の学会での 発表及び学術誌への投稿状況、研究の進捗 状況と論文作成状況を説明する	演習	【予習】(90分) 予備審査会に向けた発表資料 を作成する。 【復習】(90分) 予備審査会で受けたフィード バックを基に博士論文の準備 を行う。
26	藤原俊之 松田雅弘 春山幸志郎 高橋容子 藤野雄次	考察を深め博士論文としてまとめる。学会 発表・論文投稿の準備	演習	【予習】(90分) 博士論文を作成する。 【復習】(90分) フィードバックを基に博士論 文を修正し、作成を進める。
27	藤原俊之 松田雅弘 春山幸志郎 高橋容子 藤野雄次	考察を深め博士論文としてまとめる。学会 発表・論文投稿の準備	演習	【予習】(90分) 博士論文を作成する。 【復習】(90分) フィードバックを基に博士論 文を修正し、作成を進める。
28	藤原俊之 松田雅弘 春山幸志郎 高橋容子 藤野雄次	考察を深め博士論文としてまとめる。学位 論文の審査を受ける	演習	【予習】(90分) 博士論文を作成する。 【復習】(90分) フィードバックを基に博士論 文を修正し、作成を進める。
29	藤原俊之 松田雅弘 春山幸志郎 高橋容子 藤野雄次	最終試験(口頭試問)を受ける	演習	【予習】(90分) 最終試験に向けた準備を行う。 【復習】(90分) フィードバックを基に博士論 文を修正し、完成させる。
30	藤原俊之 松田雅弘 春山幸志郎 高橋容子 藤野雄次	博士論文発表会で発表する	演習	【予習】(90分) 博士論文発表会に向けた準備 を行う。 【復習】(90分) フィードバックを基に博士論 文を修正し、完成させる。

## 別添資料4(旧)

科目名	運動器・スポーツ理学療法学特別研究	授業形態	演習	
英語科目名	Doctoral Research on Physical Therapy for Musculoskeletal and Sports Disorders	開講学期	通年	
対象学年	1～3年	単位数	4	
代表教員	相澤純也			
担当教員	池田浩、相澤純也、飛山義憲、宮森隆行			
<b>授業概要（全体内容）</b>				
<p>運動器・スポーツ理学療法に関わる課題、臨床の問題等を取り上げた理学療法学研究の指導を行う。本科目では、主研究指導教員と副研究指導教員の2名体制によって、理学療法学研究の指導を行う。主副2名の研究指導教員は、同一分野の教員が当たる。主研究指導教員は、研究のオリジナリティー、背景因子の探索、テーマ決定、研究計画の立案、研究実施、学会発表、論文執筆等を一貫して指導する。副研究指導教員は専門の見地から研究の幅を広げるための補助的指導を行う。研究課題に係わる国内外での学会に参加して専門分野の学識を深め、国内外の専門家との積極的に交流することを目標とする。また、学会発表や論文公表等により研究結果を公表するとともに、博士論文としてまとめ、発表を行う。</p>				
<b>達成目標</b>				
<ul style="list-style-type: none"> <li>・研究課題に係わる国内外での学会に参加して専門家との積極的に交流することができる。</li> <li>・学会発表や論文公表等により研究結果を公表することができる。</li> <li>・博士論文をまとめることができる。</li> <li>・理学療法領域の発展や専門知識・技術の向上・開発を図るために、科学的思考・論理的思考に基づき独創的な研究活動を行うことができる。</li> <li>・研究を推進するに当たり、研究者に必要な研究倫理の公理に基づいて実施できる。</li> </ul>				
<b>ディプロマ・ポリシー（学位授与の方針）との関連</b>				
理学 DP-2、理学 DP-3				
<b>履修上の注意、履修要件</b>				
研究指導スケジュールに沿って研究を計画通りに進捗させること。				
<b>成績評価の方法</b>				
博士論文作成（50%）、口頭試問（50%）				
<b>試験・課題等に対するフィードバック方法</b>				
学生個人へメールや Juntendo Passport を用いてフィードバックする。				
<b>テキスト・参考文献</b>				
指定しない				
<b>連絡先・オフィスアワー</b>				
<p>事前メールにて随時対応。</p> <p>池田浩メールアドレス：hi-ikeda@juntendo.ac.jp</p> <p>相澤純也メールアドレス：j.aizawa.ue@juntendo.ac.jp</p> <p>飛山義憲メールアドレス：y.hiyama.cj@juntendo.ac.jp</p> <p>宮森隆行メールアドレス：t.miyamori.hi@juntendo.ac.jp</p>				
<b>授業計画【授業内容と授業時間外の指導等】</b>				
授業回	担当者	授業内容	授業方法	予習・復習・レポート課題等と学習時間
1	池田浩	<u>研究課題の文献考証</u>	演習	【予習】(90分)

別添資料4(旧)

	相澤純也 飛山義憲 宮森隆行			研究課題に関わる文献をまとめておく。 【復習】(90分) まとめた文献についてアブストラクトテーブルを作成する。
2	池田浩 相澤純也 飛山義憲 宮森隆行	研究課題の文献考証	演習	【予習】(90分) 研究課題に関わる文献をまとめておく。 【復習】(90分) まとめた文献についてアブストラクトテーブルを作成する。
3	池田浩 相澤純也 飛山義憲 宮森隆行	研究課題の文献考証	演習	【予習】(90分) 研究課題に関わる文献をまとめておく。 【復習】(90分) まとめた文献についてアブストラクトテーブルを作成する。
4	池田浩 相澤純也 飛山義憲 宮森隆行	研究課題の文献考証	演習	【予習】(90分) 研究課題に関わる文献をまとめておく。 【復習】(90分) まとめた文献についてアブストラクトテーブルを作成する。
5	池田浩 相澤純也 飛山義憲 宮森隆行	博士後期課程研究計画書作成	演習	【予習】(90分) 研究デザイン、方法、解析方法等を考察すること。 【復習】(90分) 作成した計画書に対するフィードバックを基に修正する。
6	池田浩 相澤純也 飛山義憲 宮森隆行	研究課題の文献考証	演習	【予習】(90分) 計画書に対するフィードバックを基に研究課題に関わる文献を再度まとめる。 【復習】(90分) アブストラクトテーブルおよび計画書を修正する。
7	池田浩 相澤純也 飛山義憲 宮森隆行	研究課題の文献考証	演習	【予習】(90分) 計画書に対するフィードバックを基に研究課題に関わる文献を再度まとめる。 【復習】(90分)

別添資料4(旧)

				アブストラクトテーブルおよび計画書を修正する。
8	池田浩 相澤純也 飛山義憲 宮森隆行	倫理委員会申請書作成	演習	【予習】(90分) 計画書を基に、倫理委員会申請書案を作成する。 【復習】(90分) フィードバックを基に修正する。
9	池田浩 相澤純也 飛山義憲 宮森隆行	倫理委員会申請書作成	演習	【予習】(90分) 計画書を基に、倫理委員会申請書案を作成する。 【復習】(90分) フィードバックを基に修正する。
10	池田浩 相澤純也 飛山義憲 宮森隆行	倫理委員会申請書作成	演習	【予習】(90分) 計画書を基に、倫理委員会申請書案を作成する。 【復習】(90分) フィードバックを基に修正する。
11	池田浩 相澤純也 飛山義憲 宮森隆行	調査・実験を遂行。収集したデータを解析し考察する。	演習	【予習】(90分) 計画書を基に、遂行に向けた準備を行う。 【復習】(90分) 収集したデータをまとめる。
12	池田浩 相澤純也 飛山義憲 宮森隆行	調査・実験を遂行。収集したデータを解析し考察する。	演習	【予習】(90分) 計画書を基に、遂行に向けた準備を行う。 【復習】(90分) 収集したデータをまとめる。
13	池田浩 相澤純也 飛山義憲 宮森隆行	調査・実験を遂行。収集したデータを解析し考察する。	演習	【予習】(90分) 計画書を基に、遂行に向けた準備を行う。 【復習】(90分) 収集したデータをまとめる。
14	池田浩 相澤純也 飛山義憲 宮森隆行	調査・実験を遂行。収集したデータを解析し考察する。	演習	【予習】(90分) 計画書を基に、遂行に向けた準備を行う。 【復習】(90分) 収集したデータをまとめる。
15	池田浩	調査・実験を遂行。収集したデータを解析し	演習	【予習】(90分)

別添資料4(旧)

	相澤純也 飛山義憲 宮森隆行	考察する。		計画書を基に、遂行に向けた準備を行う。 【復習】(90分) 収集したデータをまとめる。
16	池田浩 相澤純也 飛山義憲 宮森隆行	研究進捗状況報告書作成	演習	【予習】(90分) ここまでの研究進捗状況をまとめ、報告書案を作成する。 【復習】(90分) フィードバックを基に修正する。
17	池田浩 相澤純也 飛山義憲 宮森隆行	調査・実験を遂行。収集したデータを解析し考察する。	演習	【予習】(90分) 計画書を基に、遂行に向けた準備を行う。 【復習】(90分) 収集したデータをまとめる。
18	池田浩 相澤純也 飛山義憲 宮森隆行	調査・実験を遂行。収集したデータを解析し考察する。	演習	【予習】(90分) 計画書を基に、遂行に向けた準備を行う。 【復習】(90分) 収集したデータをまとめる。
19	池田浩 相澤純也 飛山義憲 宮森隆行	調査・実験を遂行。収集したデータを解析し考察する。	演習	【予習】(90分) 計画書を基に、遂行に向けた準備を行う。 【復習】(90分) 収集したデータをまとめる。
20	池田浩 相澤純也 飛山義憲 宮森隆行	調査・実験を遂行。収集したデータを解析し考察する。	演習	【予習】(90分) 計画書を基に、遂行に向けた準備を行う。 【復習】(90分) 収集したデータをまとめる。
21	池田浩 相澤純也 飛山義憲 宮森隆行	調査・実験を遂行。収集したデータを解析し考察する。	演習	【予習】(90分) 計画書を基に、遂行に向けた準備を行う。 【復習】(90分) 収集したデータをまとめる。
22	池田浩 相澤純也 飛山義憲 宮森隆行	研究進捗状況報告書作成 研究経過発表会(中間発表会)で報告	演習	【予習】(90分) ここまでの研究進捗状況をまとめ、報告書案を作成する。 【復習】(90分) フィードバックを基に修正し、研究経過発表会に向けた資料

別添資料4(旧)

				を作成する。
23	池田浩 相澤純也 飛山義憲 宮森隆行	調査・実験を遂行。収集したデータを解析し 考察する。	演習	【予習】(90分) 計画書を基に、遂行に向けた準備 を行う。 【復習】(90分) 収集したデータをまとめる。
24	池田浩 相澤純也 飛山義憲 宮森隆行	調査・実験を遂行。収集したデータを解析し 考察する。	演習	【予習】(90分) 計画書を基に、遂行に向けた準備 を行う。 【復習】(90分) 収集したデータをまとめる。
25	池田浩 相澤純也 飛山義憲 宮森隆行	予備審査会で発表する。 単位の取得見込み状況、国内外の学会での 発表及び学術誌への投稿状況、研究の進捗 状況と論文作成状況を説明する。	演習	【予習】(90分) 予備審査会に向けた発表資料 を作成する。 【復習】(90分) 予備審査会で受けたフィード バックを基に博士論文の準備 を行う。
26	池田浩 相澤純也 飛山義憲 宮森隆行	考察を深め博士論文としてまとめる。学会 発表・論文投稿の準備を行う。	演習	【予習】(90分) 博士論文を作成する。 【復習】(90分) フィードバックを基に博士論 文を修正し、作成を進める。
27	池田浩 相澤純也 飛山義憲 宮森隆行	考察を深め博士論文としてまとめる。学会 発表・論文投稿の準備を行う。	演習	【予習】(90分) 博士論文を作成する。 【復習】(90分) フィードバックを基に博士論 文を修正し、作成を進める。
28	池田浩 相澤純也 飛山義憲 宮森隆行	考察を深め博士論文としてまとめる。学位 論文の審査を受ける。	演習	【予習】(90分) 博士論文を作成する。 【復習】(90分) フィードバックを基に博士論 文を修正し、作成を進める。
29	池田浩 相澤純也 飛山義憲 宮森隆行	最終試験(口頭試問)を受ける。	演習	【予習】(90分) 最終試験に向けた準備を行う。 【復習】(90分) フィードバックを基に博士論 文を修正し、完成させる。
30	池田浩 相澤純也 飛山義憲	博士論文発表会で発表する。	演習	【予習】(90分) 博士論文発表会に向けた準備 を行う。

## 別添資料4(旧)

	宮森隆行			【復習】(90分) フィードバックを基に博士論文を修正し、完成させる。
--	------	--	--	--

## 別添資料4(旧)

科目名	内部機能障害理学療法学特別研究		授業形態	演習
英語科目名	Doctoral Research on Physical Therapy for Internal Disorders		開講学期	通年
対象学年	1～3年		単位数	4
代表教員	高橋哲也			
<b>担当教員</b>				
高橋哲也、森沢知之、齊藤正和				
<b>授業概要（全体内容）</b>				
<p>理学療法とそれをめぐる課題、臨床的問題等を取り上げた理学療法学研究の指導を行う。本科目では、主研究指導教員と副研究指導教員の2名体制によって、理学療法学研究の指導を行う。主副2名の研究指導教員は、同一分野の教員が当たる。主研究指導教員は、研究のオリジナリティー、背景因子の探索、テーマ決定、研究計画の立案、研究実施、学会発表、論文執筆等を一貫して指導する。副研究指導教員は専門的見地から研究の幅を広げるための補助的指導を行う。研究課題に係わる国内外での学会に参加して専門分野の学識を深め、国内外の専門家との積極的に交流することを目標とする。また、学会発表や論文公表等により研究結果を公表するとともに、博士論文としてまとめ、発表を行う。</p>				
<b>達成目標</b>				
<ul style="list-style-type: none"> <li>研究課題に係わる国内外での学会に参加して専門家との積極的に交流することができる</li> <li>学会発表や論文公表等により研究結果を公表することができる</li> <li>博士論文をまとめることができる</li> <li>理学療法領域の発展や専門知識・技術の向上・開発を図るために、科学的思考・論理的思考に基づき独創的な研究活動を行うことができる。</li> <li>研究を推進するに当たり、研究者に必要な研究倫理の公理に基づいて実施できる。</li> </ul>				
<b>ディプロマ・ポリシー（学位授与の方針）との関連</b>				
理学 DP-2、理学 DP-3				
<b>履修上の注意、履修要件</b>				
研究指導スケジュールに沿って研究を計画通りに進捗させること。				
<b>成績評価の方法</b>				
博士論文作成（50%）、口頭試問（50%）				
<b>試験・課題等に対するフィードバック方法</b>				
学生個人へメールや連絡システムを用いてフィードバックする。				
<b>テキスト・参考文献</b>				
指定しない				
<b>連絡先・オフィスアワー</b>				
<ul style="list-style-type: none"> <li>事前メールにて随時対応。</li> </ul> <p>高橋哲也メールアドレス：te-takakashi@juntendo.ac.jp          森沢知之メールアドレス：t.morisawa.ul@juntendo.ac.jp          齊藤正和メールアドレス：m.saito.tl@juntendo.ac.jp</p>				
<b>授業計画【授業内容と授業時間外の指導等】</b>				
授業回	担当者	授業内容	授業方法	予習・復習・レポート課題等と学習時間
1	高橋哲也 森沢知之 齊藤正和	研究課題の文献考証	演習	<p>【予習】（90分） 研究課題に関わる文献をまとめておく。</p> <p>【復習】（90分）</p>

別添資料4(旧)

				まとめた文献についてアブストラクトテーブルを作成する。
2	高橋哲也 森沢知之 齊藤正和	研究課題の文献考証	演習	【予習】(90分) 研究課題に関わる文献をまとめておく。 【復習】(90分) まとめた文献についてアブストラクトテーブルを作成する。
3	高橋哲也 森沢知之 齊藤正和	研究課題の文献考証	演習	【予習】(90分) 研究課題に関わる文献をまとめておく。 【復習】(90分) まとめた文献についてアブストラクトテーブルを作成する。
4	高橋哲也 森沢知之 齊藤正和	研究課題の文献考証	演習	【予習】(90分) 研究課題に関わる文献をまとめておく。 【復習】(90分) まとめた文献についてアブストラクトテーブルを作成する。
5	高橋哲也 森沢知之 齊藤正和	博士後期課程研究計画書作成	演習	【予習】(90分) 研究デザイン、方法、解析方法等を考察すること。 【復習】(90分) 作成した計画書に対するフィードバックを基に修正する。
6	高橋哲也 森沢知之 齊藤正和	研究課題の文献考証	演習	【予習】(90分) 計画書に対するフィードバックを基に研究課題に関わる文献を再度まとめる。 【復習】(90分) アブストラクトテーブルおよび計画書を修正する。
7	高橋哲也 森沢知之 齊藤正和	研究課題の文献考証	演習	【予習】(90分) 計画書に対するフィードバックを基に研究課題に関わる文献を再度まとめる。 【復習】(90分) アブストラクトテーブルおよび計画書を修正する。
8	高橋哲也	倫理委員会申請書作成	演習	【予習】(90分)

## 別添資料4(旧)

	森沢知之 齊藤正和			計画書を基に、倫理委員会申請書案を作成する。 【復習】(90分) フィードバックを基に修正する。
9	高橋哲也 森沢知之 齊藤正和	倫理委員会申請書作成	演習	【予習】(90分) 計画書を基に、倫理委員会申請書案を作成する。 【復習】(90分) フィードバックを基に修正する。
10	高橋哲也 森沢知之 齊藤正和	倫理委員会申請書作成	演習	【予習】(90分) 計画書を基に、倫理委員会申請書案を作成する。 【復習】(90分) フィードバックを基に修正する。
11	高橋哲也 森沢知之 齊藤正和	調査・実験を遂行。収集したデータを解析し考察する。	演習	【予習】(90分) 計画書を基に、遂行に向けた準備を行う。 【復習】(90分) 収集したデータをまとめる。
12	高橋哲也 森沢知之 齊藤正和	調査・実験を遂行。収集したデータを解析し考察する。	演習	【予習】(90分) 計画書を基に、遂行に向けた準備を行う。 【復習】(90分) 収集したデータをまとめる。
13	高橋哲也 森沢知之 齊藤正和	調査・実験を遂行。収集したデータを解析し考察する。	演習	【予習】(90分) 計画書を基に、遂行に向けた準備を行う。 【復習】(90分) 収集したデータをまとめる。
14	高橋哲也 森沢知之 齊藤正和	調査・実験を遂行。収集したデータを解析し考察する。	演習	【予習】(90分) 計画書を基に、遂行に向けた準備を行う。 【復習】(90分) 収集したデータをまとめる。
15	高橋哲也 森沢知之 齊藤正和	調査・実験を遂行。収集したデータを解析し考察する。	演習	【予習】(90分) 計画書を基に、遂行に向けた準備を行う。 【復習】(90分)

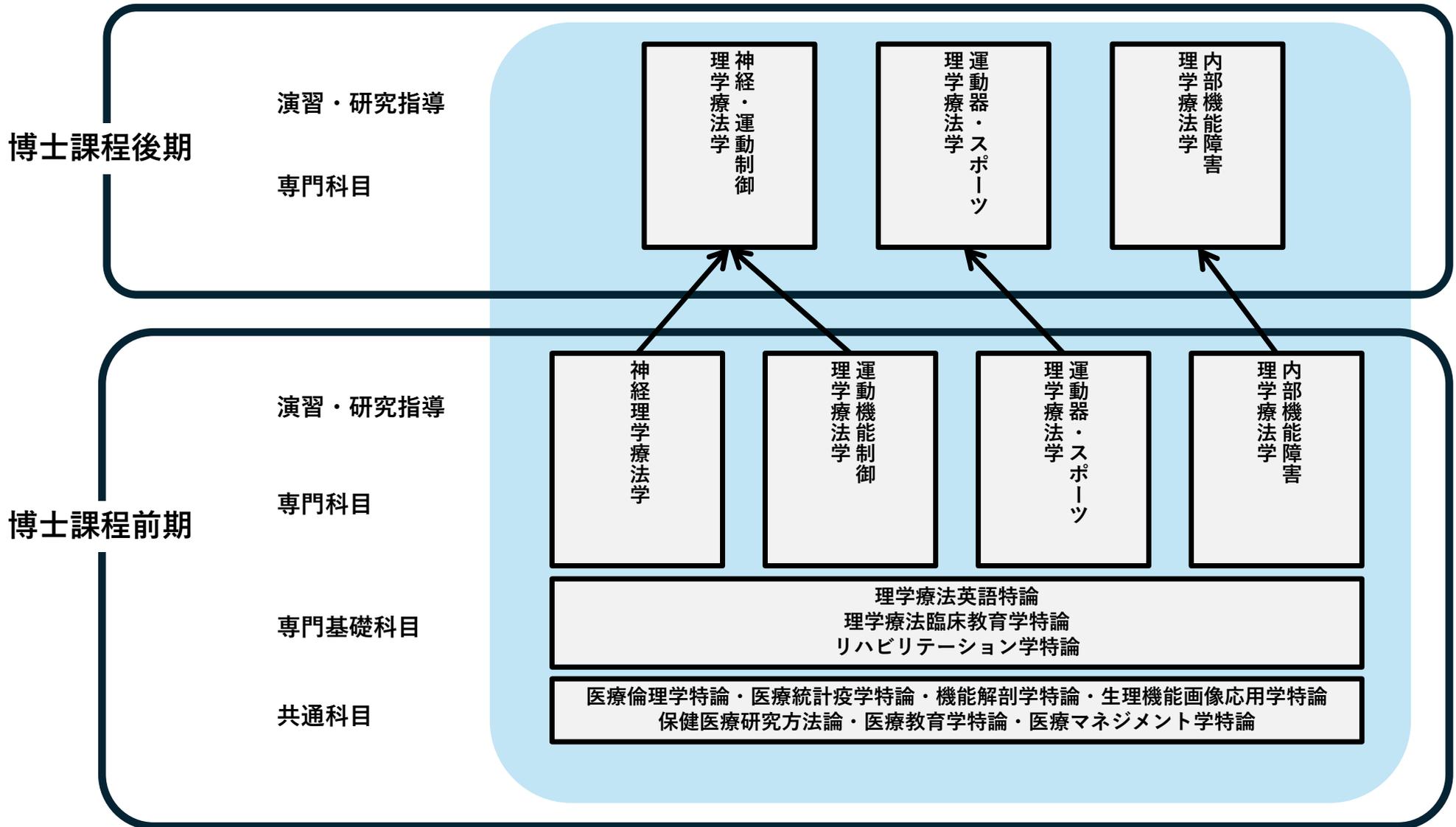
## 別添資料4(旧)

				収集したデータをまとめる。
16	高橋哲也 森沢知之 齊藤正和	研究進捗状況報告書作成	演習	【予習】(90分) ここまでの研究進捗状況をまとめ、報告書案を作成する。 【復習】(90分) フィードバックを基に修正する。
17	高橋哲也 森沢知之 齊藤正和	調査・実験を遂行。収集したデータを解析し考察する。	演習	【予習】(90分) 計画書を基に、遂行に向けた準備を行う。 【復習】(90分) 収集したデータをまとめる。
18	高橋哲也 森沢知之 齊藤正和	調査・実験を遂行。収集したデータを解析し考察する。	演習	【予習】(90分) 計画書を基に、遂行に向けた準備を行う。 【復習】(90分) 収集したデータをまとめる。
19	高橋哲也 森沢知之 齊藤正和	調査・実験を遂行。収集したデータを解析し考察する。	演習	【予習】(90分) 計画書を基に、遂行に向けた準備を行う。 【復習】(90分) 収集したデータをまとめる。
20	高橋哲也 森沢知之 齊藤正和	調査・実験を遂行。収集したデータを解析し考察する。	演習	【予習】(90分) 計画書を基に、遂行に向けた準備を行う。 【復習】(90分) 収集したデータをまとめる。
21	高橋哲也 森沢知之 齊藤正和	調査・実験を遂行。収集したデータを解析し考察する。	演習	【予習】(90分) 計画書を基に、遂行に向けた準備を行う。 【復習】(90分) 収集したデータをまとめる。
22	高橋哲也 森沢知之 齊藤正和	研究進捗状況報告書作成 研究経過発表会(中間発表会)で報告	演習	【予習】(90分) ここまでの研究進捗状況をまとめ、報告書案を作成する。 【復習】(90分) フィードバックを基に修正し、研究経過発表会に向けた資料を作成する。
23	高橋哲也 森沢知之	調査・実験を遂行。収集したデータを解析し考察する。	演習	【予習】(90分) 計画書を基に、遂行に向けた準備

別添資料4(旧)

	齊藤正和			備を行う。 【復習】(90分) 収集したデータをまとめる。
24	高橋哲也 森沢知之 齊藤正和	調査・実験を遂行。収集したデータを解析し 考察する。	演習	【予習】(90分) 計画書を基に、遂行に向けた準備 を行う。 【復習】(90分) 収集したデータをまとめる。
25	高橋哲也 森沢知之 齊藤正和	予備審査会で発表する 単位の取得見込み状況、国内外の学会での 発表及び学術誌への投稿状況、研究の進捗 状況と論文作成状況を説明する	演習	【予習】(90分) 予備審査会に向けた発表資料 を作成する。 【復習】(90分) 予備審査会で受けたフィード バックを基に博士論文の準備 を行う。
26	高橋哲也 森沢知之 齊藤正和	考察を深め博士論文としてまとめる。学会 発表・論文投稿の準備	演習	【予習】(90分) 博士論文を作成する。 【復習】(90分) フィードバックを基に博士論 文を修正し、作成を進める。
27	高橋哲也 森沢知之 齊藤正和	考察を深め博士論文としてまとめる。学会 発表・論文投稿の準備	演習	【予習】(90分) 博士論文を作成する。 【復習】(90分) フィードバックを基に博士論 文を修正し、作成を進める。
28	高橋哲也 森沢知之 齊藤正和	考察を深め博士論文としてまとめる。学位 論文の審査を受ける	演習	【予習】(90分) 博士論文を作成する。 【復習】(90分) フィードバックを基に博士論 文を修正し、作成を進める。
29	高橋哲也 森沢知之 齊藤正和	最終試験(口頭試問)を受ける	演習	【予習】(90分) 最終試験に向けた準備を行う。 【復習】(90分) フィードバックを基に博士論 文を修正し、完成させる。
30	高橋哲也 森沢知之 齊藤正和	博士論文発表会で発表する	演習	【予習】(90分) 博士論文発表会に向けた準備 を行う。 【復習】(90分) フィードバックを基に博士論 文を修正し、完成させる。

# 保健医療学研究科理学療法学専攻



# 保健医療学研究科

